

令和7年度

「マイスター・ハイスクールネットワーク構築にかかる支援及び専門高校の産学連携に関する調査研究事業」調査研究事業

マイスター・ハイスクール事業、マイスター・ハイスクール普及促進事業 事業実施校における産学連携に関する実態調査、 及び成果検証 (マイスター事業アンケート調査 (1. 単純集計))

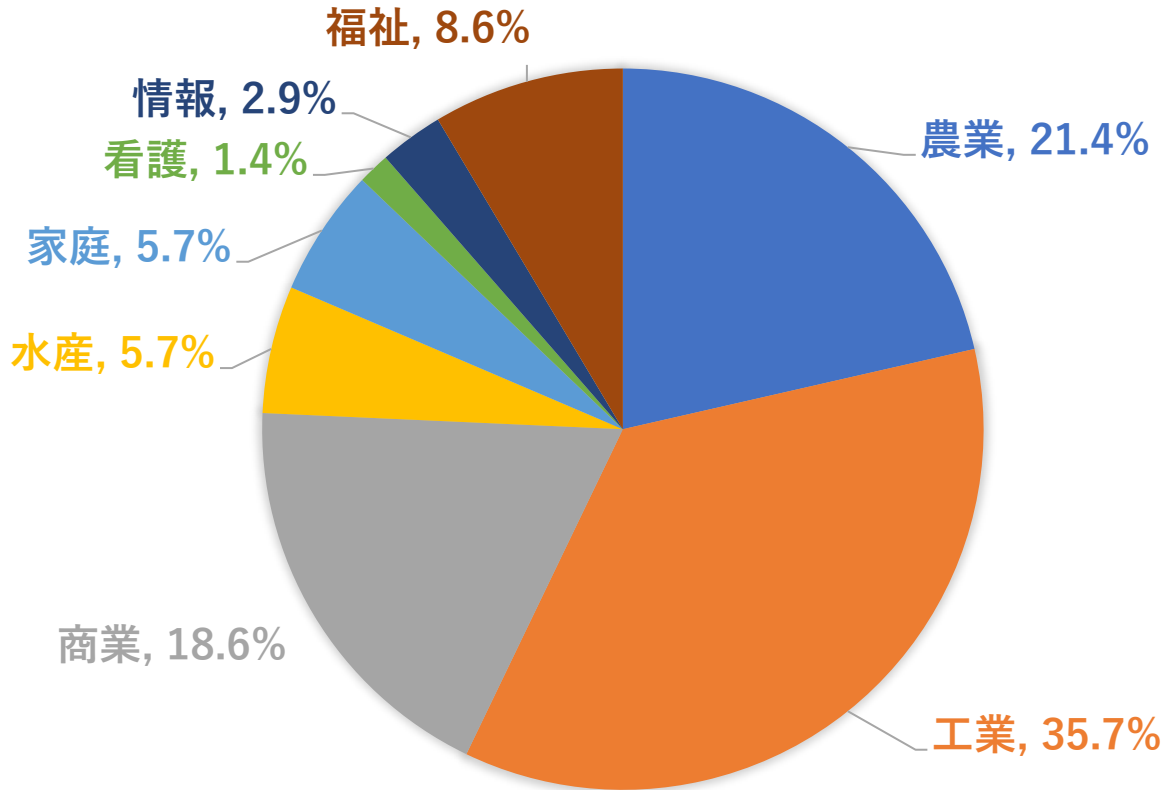
株式会社内田洋行 教育総合研究所

- 調査概要
- 結果(単純集計)
 - 学校用アンケート
 - 生徒用アンケート
 - 教員用アンケート
 - 自治体用アンケート
 - 産業界用アンケート

調査概要

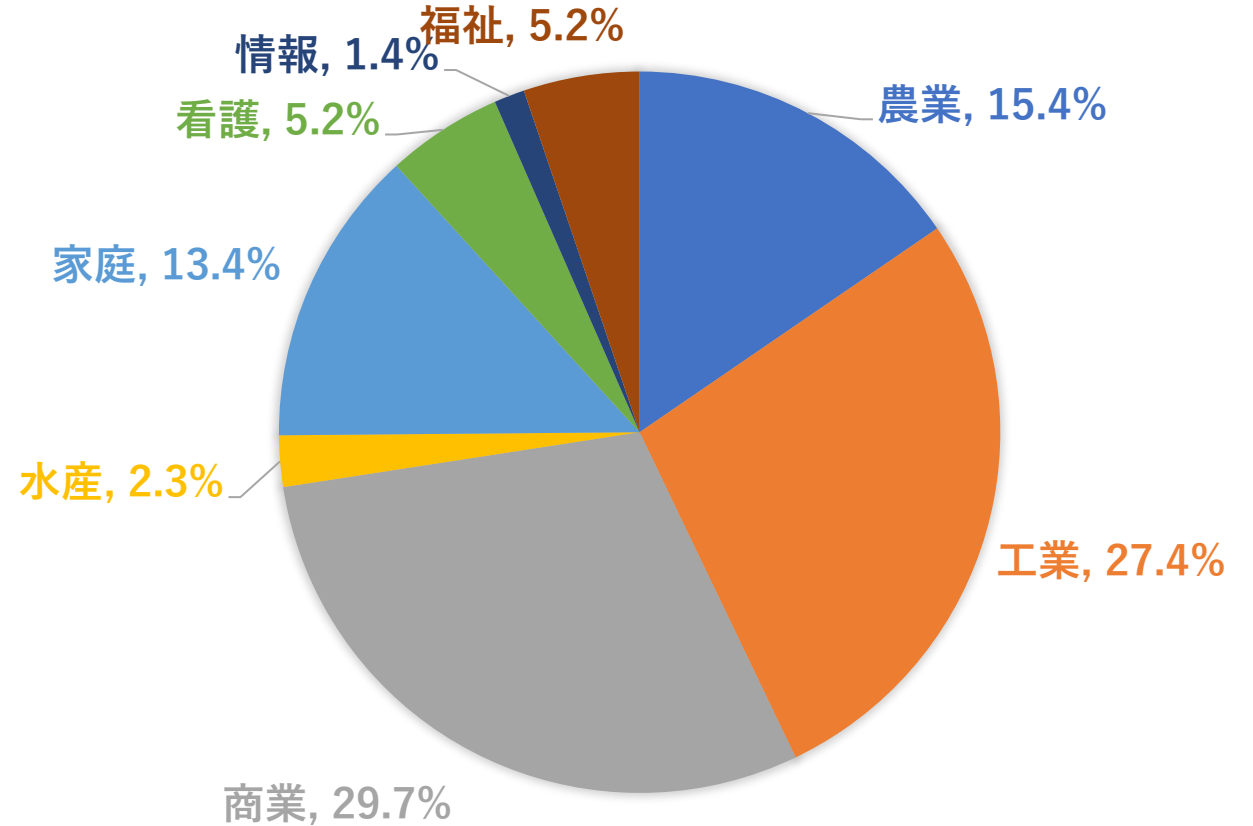
項目	内容
目的	当事業における専門高校と産業界等の連携について、取組内容や体制等の実態を把握するとともに、産学連携および事業の成果を把握する。
対象	マイスター・ハイスクール事業、マイスター・ハイスクール普及促進事業の事業実施校(学校・生徒・教員)、産業界、自治体 ※自治体には管理機関と基礎自治体を含む
方法	Webアンケート調査
期間	2025/11/4～2025/12/18
回答データ数	学校 53校(1校1人) 生徒 6,698人(1年生 1,977人、2年生 2,354人、3年生 2,367人) 教員 411人 産業界 63人 自治体 34人(管理機関 14人、管理機関以外 20人)

マイスター・ハイスクール事業参画校(計70大学科)



※これに加え、総合学科1学科、普通科2学科が参画。

参考:全国(計1826大学科)



※参考文献:学校基本調査(令和7年度)

(うち、高等学校学科数 (全日制(または全定併設)専門高校数)の情報)
[学校基本調査 令和7年度 初等中等教育機関・専修学校・各種学校 学校調査・学校通信教育調査\(高等学校\) 学校調査票\(高等学校 全日制・定時制\) | ファイル | 統計データを探す | 政府統計の総合窓口](#)

質問項目一覧(学校用アンケート)

各質問項目は、「調査指標」に記載の内容を意図して作成。

UCHIDA

ID	カテゴリ	調査指標	質問項目
q1	フェイスシート	学校名	貴校の学校名を教えてください。
q2	フェイスシート	担当者の属性	貴校で産学連携の取組の計画に関わっている方について、当てはまるものをすべて選択してください。
q3	フェイスシート	産学連携歴	貴校では、教育課程の一環として産学連携を継続的に組み込んだ教育活動は、いつから実施していますか？
q4	フェイスシート	産学連携の目的	貴校が産学連携に取り組む目的について、最も大きな理由を1つ選択してください。
q5	具体的な取組	産学連携の取組種別	今年度、産業界(企業や団体等)と協働して行った産学連携の取組の内容を教えてください。当てはまるものを全て選択してください。 ※これから実施予定のものも含めてお答えください。
q6	フェイスシート	学校規模	貴校の全校生徒数を教えてください。
q7	校内体制	校長のマネジメントの在り方	産学連携を推進するにあたり、貴校において校長はどのように推進・管理していますか。当てはまるものを全て選択してください。
q8	協働体制	ネットワークング	産学連携において、新たな連携先を開拓しているのは誰ですか。当てはまるものを全て選択してください。
q9	校内体制	負担軽減	産学連携を推進するにあたり、産学連携担当教員の負担軽減のため行っている取組を全て選択してください。
q10	協働体制	産学連携に関わる企業・団体数	今年度実施した産学連携に関わっている企業や団体等の数を教えてください。 ※これから実施予定のものも含めてお答えください。
q11	協働体制	産学連携に関わる団体種別	今年度の産学連携に関わった企業や団体等の種類を全て選択してください。
q12	協働体制	産学連携に関わる団体の属性	連携している企業・団体等について、当てはまるものを全て選択してください。
q13	協働体制	産業界との連携パターン	企業や団体等とどのような形で連携していますか？あてはまるものを全て選択してください。
q14	協働体制	伴走者の機能	今年度の事業を進める上で、伴走支援事業者(株式会社ソフィア)による伴走支援の中で特に有効だったと思うものを教えてください。
q15	産学連携の成果	産学連携の学校目標・ビジョンへの貢献度	産学連携の活動が、貴校の目標やビジョンに対してどれくらい貢献していると感じますか？
q16	産学連携の成果	産学連携の効果	産学連携の取組を通じて、貴校として実感しているメリットを教えてください。
q17	協働体制	取組の検討主体	産学連携の取組は、主にどの組織が中心となって検討を進めていますか。
q18	全般	産学連携に関する課題	産学連携において、貴校が抱えている課題があれば教えてください。
q19	自治体の支援体制	基礎自治体との連携の深さ	学校の所在する基礎自治体と連携した取組を実施していますか。
q20	産学連携の予算とその獲得	基礎自治体からの資源提供	学校の所在する基礎自治体から、資金や人材の提供(生徒の活動場所の提供も含む)等を受けていますか。

質問項目一覧(学校用アンケート)

各質問項目は、「調査指標」に記載の内容を意図して作成。

UCHIDA

ID	カテゴリ	調査指標	質問項目
q21	学校と産業界の関係構築プロセス	連携先の理解1	連携している企業等の産学連携の目的を十分に理解している。
q22	学校と産業界の関係構築プロセス	連携先の理解2	企業等と連携してどのような取組ができるのか、十分に把握できている。
q23	学校と産業界の関係構築プロセス	連携先からの理解	貴校の産学連携の目的は、連携先の企業等に十分伝わっている。
q24	学校と産業界の関係構築プロセス	課題感の反映	現在の取組は、学校と企業の双方の課題を踏まえた内容になっている。
q25	学校と産業界の関係構築プロセス	共通ビジョンの検討	学校と企業の双方の課題を踏まえた共通のビジョンを協議する場があった。
q26	学校と産業界の関係構築プロセス	企業の貢献度	産学連携と一緒に取り組んでいる企業は、活動において企業としての役割を十分に果たしていると感じますか。
q27	学校と産業界の関係構築プロセス	継続性(学校側)	貴校の担当者が変わっても、産学連携の取組を今後も継続できる。
q28	学校と産業界の関係構築プロセス	継続性(連携先側)	産業界側の担当者が変わっても、産学連携の取組を今後も継続できる。
q29	取組や体制の在り方に大きく影響を与える要素	産学関係の深まり	<p>貴校が連携している企業や団体等との関係について、最も適切なものを選択してください。</p> <p>※複数の組織と連携している場合は、最も多く該当する関係をお答えください。</p> <p>①一方のニーズに応えている関係 主に、学校や企業・団体等のどちらか一方のニーズに基づいて活動が行われている段階。 企業等側の課題やニーズを十分に理解できていない。</p> <p>②協力しあっている関係 学校と企業・団体等が互いに理解を深めながら、協力して活動している段階。 協力できる分野や活動についてある程度の共通認識があるが、活動内容はどちらか一方のニーズが優先されやすい。</p> <p>③共通のビジョンに基づいて協働している関係 学校と企業・団体等がそれぞれの課題や目指す方向を共有し、共通の目的やビジョンを持って活動を行っている。 学校と企業等との関係は互恵的で、双方が取組から恩恵を受けている。</p> <p>④安定して取組を継続していける関係 学校と企業・団体等の中で、長期的で安定した協働関係が確立されている。 共通の目的やビジョンが明確に共有され、計画から実施、評価まで一貫したプロセスに基づいて行われている。 担当者が変わっても、信頼関係や取組が維持できる体制が整っている。</p>
q30	取組の実施プロセス	産業界との連携の必要性検討	学校の中で、産業界との連携の必要性を検討する機会
q31	取組の実施プロセス	課題の産業界への共有	学校が抱える課題を産業界に伝える機会
q32	取組の実施プロセス	産業界の目的や必要性の理解	産業界側の産学連携の目的や連携の必要性について知る機会
q33	取組の実施プロセス	学校と産業界の議論の場1	学校と産業界が対等な立場で議論する機会
q34	取組の実施プロセス	学校と産業界の議論の場2	学校と産業界が協力して、学校のカリキュラムを検討・改善する機会

質問項目一覧(学校用アンケート)

各質問項目は、「調査指標」に記載の内容を意図して作成。

UCHIDA

ID	カテゴリ	調査指標	質問項目
q35	全般	負担に見合う成果	貴校で行っている産学連携は、負担に見合った成果を得ていますか。
q36	全般	継続推進のキーパーソン	貴校における産学連携を継続していくうえで、最も中心的な役割を果たしているのは誰ですか。
q37	産学連携の成果	進路	貴校における令和6年度卒業生の進路状況を教えてください。 ※産学連携の取組を行った関連産業への就職者数は、産学連携の取組を行っていない場合や、集計等を行っていない場合は回答不要です。 ※進学者数は、大学、短期大学、高等学校専攻科、専修学校・各種学校、公共職業能力開発施設等入学者を含めてください。
q38	産学連携の成果	産業界と生徒の協働の魅力・可能性	産業界と生徒の協働にどのような魅力・可能性を感じていますか。 (印象に残ったこと、その時に感じたことなどを書いてください)
q39	産学連携の成果	産業界と教員の協働の魅力・可能性	産業界と教員の協働にどのような魅力・可能性を感じていますか。 (印象に残ったこと、その時に感じたことなどを書いてください)

質問項目一覧(生徒用アンケート)

各質問項目は、「調査指標」に記載の内容を意図して作成。

ID	カテゴリ	調査指標	質問項目
q1	フェイスシート	学校名	学校名をお答えください。
q2	フェイスシート	学科	所属している学科をお答えください
q3	フェイスシート	学年	学年を選んでください。
q4	具体的な取組	将来の進路に関する情報	あなたは、将来の勉強や仕事の種類について知るために、次のようなことをしたことはありますか。
q5	具体的な取組	産学連携の取組種別(生徒版)	今年度、あなたが経験したことについて教えてください。当てはまるものを全て選択してください。
q6	具体的な取組	産学連携の取組頻度(授業・実習)	今年度、学校での授業や実習の中で、企業や地域の人が講義をしたり、手伝ったりしたことは、どれぐらいありましたか。
q7	具体的な取組	産学連携の取組頻度(学校行事・イベント)	今年度、学校行事やイベント(授業や実習以外)で、企業や地域の人が話をしたり一緒に活動したりしたことは、どれぐらいありましたか。
q8	具体的な取組	産学連携の経験(課題研究やグループワーク)	今年度、企業や地域の人に関わっている課題研究やグループワークに参加した経験はありますか。
q9	具体的な取組	産学連携の経験(企業見学・インターンシップ等)	今年度、企業や地域の施設を訪問する活動(見学やインターンシップなど)に参加した経験はありますか。
q10	具体的な取組	産学連携の評価	企業や地域の人提供した学びの機会(授業・実習・イベント等)は、自分の興味関心に合っていましたか。
q11	具体的な取組	産学連携の評価	企業や地域の人提供した学びの機会(授業・実習・イベント等)からは、大人たちの熱意が伝わってきましたか。
q12	具体的な取組	将来の進路に関する見通し	学校を出た後の社会人としての生き方については、あまり教わらなかった。
q13	具体的な取組	将来の進路に関する見通し	学校は、仕事に役立つことを教えてくれた。
q14	産学連携の成果	知識・技術を学ぶ意欲	授業で学んでいる知識や技術について、もっと知りたいと思った。
q15	産学連携の成果	知識・技術の理解	仕事や社会の中で使われている知識や技術について、理解できた。
q16	産学連携の成果	知識・技術の活用意欲	仕事や社会で使われている知識や技術を、普段の生活の中で役立てたいと思った。
q17	産学連携の成果	知識・技術と実社会の関連付け	仕事や社会の中で使われている知識や技術を学ぶことで、学校の授業がなぜ大切か分かった。
q18	産学連携の成果	知識・技術とキャリアの関連付け	企業や地域の人から学ぶことは、将来の進路を考えるのに役立つと思った。
q19	産学連携の成果	地元企業の理解	地域の企業や産業について、進路を考えるための情報を十分に知ることができた。
q20	産学連携の成果	地元就職への意欲	地元の企業に就職したいと思った(進学する場合は卒業後に)。
q21	産学連携の成果	地元貢献への意欲	地元の発展に貢献したいと思った。
q22	産学連携の成果	将来の目標	将来の目標を考え、それを実現するために努力したいと思った。
q23	産学連携の成果	将来の展望	将来に対して希望を持てた。
q24	産学連携の成果	内発的動機付け	もっと地域の活性化について考える授業を受けたいと思った。
q25	産学連携の成果	内発的動機付け	もっと企業や地域の人のお話を聞きたいと思った。

質問項目一覧(生徒用アンケート)

各質問項目は、「調査指標」に記載の内容を意図して作成。

ID	カテゴリ	調査指標	質問項目
q26	産学連携の成果	主体性	やるべきことに対して、積極的に取り組むことができた。
q27	産学連携の成果	働きかけ力	目標を達成するために、周りの人の力を借りながら取り組むことができた。
q28	産学連携の成果	実行力	失敗を恐れず、行動に移すことができた。
q29	産学連携の成果	課題発見力	目標を達成するために、解決すべき問題を見つけることができた。
q30	産学連携の成果	計画力	何かの課題に取り組むとき、必要な手順について優先順位を決められた。
q31	産学連携の成果	創造力	何かの課題に取り組むとき、解決策の選択肢をいくつか挙げて検討することができた。
q32	産学連携の成果	発信力	話し相手に対して、自分の意見を分かりやすく伝えることができた。
q33	産学連携の成果	傾聴力	話し相手の意見や主張を正確に聞き取ることができた。
q34	産学連携の成果	柔軟性	相手の立場や意見を尊重することができた。
q35	産学連携の成果	状況把握力	グループで活動するとき、何をすればよいか、自分の役割を理解できた。
q36	産学連携の成果	規律性	集団や社会生活の規則やルールを守ることができた。
q37	産学連携の成果	ストレスコントロール力	困難な問題に直面しても、諦めずに前向きに取り組むことができた。
q38	産学連携の成果	授業や実習等において感じたこと	企業や地域社会の方から学ぶ授業や実習等について、どのように感じていますか。 (印象に残ったこと、その時に感じたことなどを書いてください)

質問項目一覧(教員用アンケート)

各質問項目は、「調査指標」に記載の内容を意図して作成。

ID	カテゴリ	調査指標	質問項目
q1	フェイスシート	学校名	学校名を教えてください
q2	フェイスシート	職務	あなたの職名を教えてください。
q3	フェイスシート	担当学科	あなたが授業を担当している学科(大学科)を教えてください。
q4	学校と産業界の関係構築プロセス	産学連携の必要性の理解	学校が産学連携に取り組む必要性を、あなたは十分に理解していると思いますか。
q5	学校と産業界の関係構築プロセス	学校目標との整合性	産学連携の取組が、学校の目標に合っていると思いますか。
q6	産学連携の成果	(生徒評価)思考力・判断力・表現力1	生徒は、課題に対して粘り強く考えることができた。
q7	産学連携の成果	(生徒評価)思考力・判断力・表現力2	生徒は、課題に対して他者と協力することができた。
q8	産学連携の成果	(生徒評価)思考力・判断力・表現力3	生徒は、自分の意見や考えを分かりやすく伝えることができた。
q9	産学連携の成果	(生徒評価)知識・技術を学ぶ意欲	生徒は、授業で学んでいる知識や技術に興味を持っていた。
q10	産学連携の成果	(生徒評価)知識・技術の理解	生徒は、仕事や社会の中で使われている知識や技術について理解できた。
q11	産学連携の成果	(生徒評価)知識・技術の活用意欲	生徒は、普段の生活の中で、仕事や社会で使われている知識や技術を役立てたいと思っていた。
q12	産学連携の成果	(生徒評価)知識・技術と実社会の関連付け	生徒は、仕事や社会の中で使われている知識や技術を学ぶことで、学校の授業の大切さを理解していた。
q13	産学連携の成果	(生徒評価)知識・技術とキャリアの関連付け	生徒は、企業や地域の人から学ぶことが、将来の進路を考えるのに役立つと思っていた。
q14	産学連携の成果	(生徒評価)地元企業の理解	生徒は、地域の企業や産業について、進路を考えるための十分な情報を得ていた。
q15	産学連携の成果	(生徒評価)地元就職への意欲1	生徒は、地元の企業への就職(進学する場合は卒業後に)について前向きに考えていた。
q16	産学連携の成果	(生徒評価)地元貢献への意欲2	生徒は、地元への貢献意識を高めていた。
q17	産学連携の成果	学習機会の提供	生徒には、地域の課題に直接触れる機会がある。
q18	産学連携の成果	地域産業・企業への理解	地域の産業や企業について理解している。
q19	産学連携の成果	関心に合った学習機会の提供	生徒の関心に合った学習の機会を提供できている。
q20	フェイスシート	産学連携への関与状況	今年度、マイスター・ハイスクール事業にどのように関わっていますか？ あなたの関わり方について教えてください。
q21	産学連携の成果	目指す生徒像の再考	産業界や地域社会との連携が、学校として目指す生徒像を再考するきっかけになった。
q22	産学連携の成果	専門性の向上	産業界や地域社会との連携により、自身の専門性や指導力が高まった。
q23	産学連携の成果	地元産業の理解	産業界や地域社会との連携により、地域を支える産業や職業について、進路指導を行うに十分な理解が深まった。
q24	産学連携の成果	指導方法・カリキュラム改善	産業界や地域社会との連携により、授業の指導方法やカリキュラムを改善する必要性を感じた。
q25	産学連携の成果	生徒に必要な資質能力の検討	生徒に必要な資質や能力について、産業界や地域社会と対話しながら決定するようになった。
q26	産学連携の成果	授業・単元計画の検討	産業界や地域社会と連携して、授業や単元の計画を検討するようになった。
q27	産学連携の成果	学びの評価に基づく改善	産業界や地域社会と協働して取り組んだ学びの評価を共有し、それを基に改善に取り組んだ。
q28	産学連携の成果	創造的で効率的な教育活動の実施	産業界や地域社会との連携により、創造的で効率的な教育活動が展開された。
q29	産学連携の成果	学校の魅力化・教育活動の活性化	産業界や地域社会との連携が、学校の魅力向上や教育活動の活性化につながった。
q30	校内体制における成果	校内の組織化	学校内で組織化が図られたことにより、産業界や地域社会との連携に前向きに取り組めた。
q31	校内体制における成果	学校外の相談先の存在	相談できる学校外の関係機関やコーディネーターがいることで、産業界や地域社会と連携しやすくなった。
q32	校内体制	教員の心理的安全性の確保	管理職として、産学連携において、担当者が産業界に自由に意見を述べたり、活動したりできる環境を整えることを心がけましたか。
q33	校内体制	教員の心理的安全性の状況	事業担当者として、産学連携において、産業界側の担当者に対して自由に意見を述べたり、活動したりできましたか。
q34	産学連携の成果	産業界と生徒の協働の魅力・可能性	産業界と生徒の協働にどのような魅力・可能性を感じていますか。 (印象に残ったこと、その時に感じたことなどを書いてください)

質問項目一覧(産業界用アンケート)

各質問項目は、「調査指標」に記載の内容を意図して作成。

ID	カテゴリ	調査指標	質問項目
q1	フェイスシート	団体名	貴団体名を教えてください。
q2	フェイスシート	担当者の属性	このアンケートに回答している方の職務を教えてください。当てはまるものを選択してください。
q3	フェイスシート	対象高校名	貴団体が連携している高等学校の名称を教えてください。
q4	フェイスシート	産学連携歴	貴団体では、いつから産学連携の取組を実施していますか？
q5	フェイスシート	産学連携の目的	貴団体が産学連携に取り組む目的について、最も大きな理由を1つ選択してください。
q6	フェイスシート	産学連携目的の重要性	前の質問で選んだ目的について、どのくらい重要だと考えていますか。
q7	産学連携の成果	産学連携による企業・団体目標やビジョンへの貢献度	産学連携の活動が、貴団体の目標やビジョンに対してどれくらい貢献していると感じますか。
q8	産学連携の成果	産学連携の効果	産学連携の取組を通じて、貴団体として実感しているメリットを全て選択してください。
q9	産学連携の成果	採用活動のしやすさ	学校が産学連携に取り組むようになったことで、学校に対する採用活動がやりやすくなったと思いますか。
q10	産学連携の成果	産学連携の継続意欲	今後も産学連携の取組を続けたいと考えていますか。
q11	産学連携の成果	産学連携意義・必要性の認識	あなたは、産業界と学校との連携の意義や必要性をどの程度感じていますか。
q12	産学連携の成果	担当者の意識や行動の変化	学校教育に関わったことによって、担当者の意識や行動になにか変化はありましたか。当てはまる項目を全て選択してください。
q13	学校と産業界の関係構築プロセス	互恵関係の成立	貴団体は、連携している学校と、互いに利益を得られる関係(互恵関係)にあると思いますか？最も当てはまるものを選択してください。
q14	学校と産業界の関係構築プロセス	連携意義・必要性の認識	連携している学校の産学連携の目的を十分に理解している
q15	学校と産業界の関係構築プロセス	連携先への理解	学校と連携してどのような取組ができるのか、十分に把握できている
q16	学校と産業界の関係構築プロセス	連携先からの理解	貴団体としての産学連携の目的が、連携先の学校に十分伝わっている
q17	学校と産業界の関係構築プロセス	良好な関係性	産学連携の取組内容について、学校に対して積極的に提案している。
q18	学校と産業界の関係構築プロセス	課題感の反映	現在の取組は、学校と企業・団体の双方の課題を踏まえた内容になっている。
q19	学校と産業界の関係構築プロセス	双方の課題を踏まえたビジョン協議	学校と企業・団体の双方の課題を踏まえた共通のビジョンを協議する場があった。
q20	学校と産業界の関係構築プロセス	適切な役割分担	産学連携の取組を進める中で、貴団体が担う役割は適切だと思う。
q21	学校と産業界の関係構築プロセス	継続性(企業・団体側)	貴団体の担当者が変わっても、産学連携の取組を今後も継続できる。
q22	学校と産業界の関係構築プロセス	継続性(学校側)	学校側の担当者が変わっても、産学連携の取組を今後も継続できる。
q23	産学連携の成果	生徒との連携の魅力・可能性	生徒との連携を通して、どのような魅力・可能性を感じていますか。 (印象に残ったこと、その時に感じたことなどを書いてください)

質問項目一覧(自治体用アンケート)

各質問項目は、「調査指標」に記載の内容を意図して作成。

ID	カテゴリ	調査指標	質問項目
q1	フェイスシート	自治体名	貴自治体名を教えてください。
q2	フェイスシート	部署名	貴自治体において、学校の産学連携を主に担当している部署名を教えてください。
q3	フェイスシート	対象高校名	貴自治体が連携している高等学校の名称を教えてください。
q4	フェイスシート	産学連携歴	貴自治体は、対象の学校と企業などが連携して行う教育活動(産学連携)に、いつから関わっていますか。
q5	フェイスシート	産学連携の目的	貴自治体が産学連携に取り組む最も大きな理由を1つ選択してください。
q6	フェイスシート	産学連携目的の重要性	前の質問で挙げた目的について、どのくらい重要だと考えていますか。
q7	産学連携の成果	産学連携の自治体目標・ビジョンへの貢献度	産学連携の活動が、貴自治体の目標やビジョンに対してどれくらい貢献していると感じますか？
q8	産学連携の成果	産学連携の効果	産学連携の取組を通じて、貴自治体として実感しているメリットを教えてください。
q9	産学連携の成果	産学連携の継続意欲	今後も産学連携の取組を続けたいと考えていますか。
q10	産学連携の成果	産学連携意義・必要性の認識	あなたは、産業界と学校との連携の意義や必要性をどの程度感じていますか。
q11	産学連携の成果	議会等からの理解	学校の産学連携を支援した結果、貴自治体の首長や議会等において、産学連携への理解は高まりましたか。
q12	学校と産業界の関係構築プロセス	連携先(学校)からの理解	貴自治体としての産学連携の目的が、連携先の学校に十分伝わっている
q13	学校と産業界の関係構築プロセス	連携先(学校)への理解	学校としての産学連携の目的を十分に理解している
q14	学校と産業界の関係構築プロセス	連携先(産業界)への理解	産業界としての産学連携の目的を十分に理解している
q15	学校と産業界の関係構築プロセス	連携先(産学)への理解	学校と産業界が連携してどのような取組ができるのか、十分に把握できている
q16	学校と産業界の関係構築プロセス	学校への積極提案	産学連携の取組内容について、学校に対して積極的に提案している。
q17	学校と産業界の関係構築プロセス	課題感の反映	現在の取組は、学校・産業界・自治体、それぞれの課題を踏まえた内容になっている。
q18	学校と産業界の関係構築プロセス	共通ビジョンの検討	学校と産業界、自治体の課題を踏まえた共通のビジョンを協議する場があった。
q19	学校と産業界の関係構築プロセス	適切な役割分担	産学連携の取組を進める中で、貴自治体が担う役割は適切だと思う。
q20	学校と産業界の関係構築プロセス	継続性(自治体側)	貴自治体の担当者が変わっても、産学連携の取組を今後も継続できる。
q21	学校と産業界の関係構築プロセス	継続性(連携先側)	学校や産業界側の担当者が変わっても、産学連携の取組を今後も継続できる。
q22	フェイスシート	区分	貴自治体は、マイスター・ハイスクール事業(普及促進事業含む)における「管理機関」ですか。
q23	自治体の支援体制	中核人材の確保	(教育委員会の場合、)産学連携において中核となる教員の育成・確保のため、実施している取組を教えてください。
q24	協働体制	伴走者の機能	(教育委員会の場合、)今年度の事業を進める上で、伴走支援事業者(株式会社ソフィア)による伴走支援の中で特に有効だったと思うものを教えてください。
q25	産学連携の成果	産業界と生徒の協働の魅力・可能性	産業界と生徒との協働をご覧になり(あるいは実際に接して)、どのような魅力・可能性を感じていますか。(印象に残ったこと、その時に感じたことなどを書いてください)

参考:質問項目一覧(全国アンケート)

ID	カテゴリ	調査指標	質問項目
q1	全般	産学連携の深さ	貴学科では今年度、産学連携の取組を実施していますか。
q2		産学連携の深さ 補足	貴学科が、産学連携を実施していない理由を教えてください。
q3		産学連携の深さ 補足	貴学科で、産学連携を教育課程の一環として組み込んでいない理由を教えてください。
q4		産学連携歴	貴学科では、教育課程の一環として産学連携を継続的に組み込んだ教育活動は、いつから実施していますか？
q5		きっかけ	産学連携に取り組んだきっかけを教えてください
q6		目的	貴学科が産学連携に取り組む目的について、最も大きな理由を1つ選択してください。
q7		産学連携目的の重要性	前の質問で選んだ目的について、どのくらい重要だと考えていますか。
q8	具体的な取組	取組内容	今年度、産業界(企業や団体等)と協働して行った産学連携の取組の内容を教えてください。当てはまるものを全て選択してください。 ※これから実施予定のものも含めてお答えください。
q9	産学連携の成果	産学連携の学科目標・ビジョンへの貢献度	産学連携の活動が、貴学科の目標やビジョンに対してどれくらい貢献していると感じますか？
q10	取組や体制の在り方に大きく影響を与える要素	産学関係の深まり	貴学科が連携している企業や団体等との関係について、最も適切なものを選択してください。 ※複数の組織と連携している場合は、最も多く該当する関係をお答えください。 ①一方のニーズに応えている関係 主に、学校や企業・団体等のどちらか一方のニーズに基づいて活動が行われている段階。 企業等側の課題やニーズを十分に理解できていない。 ②協力しあっている関係 学校と企業・団体等が互いに理解を深めながら、協力して活動している段階。 協力できる分野や活動についてある程度の共通認識があるが、活動内容はどちらか一方のニーズが優先されやすい。 ③共通のビジョンに基づいて協働している関係 学校と企業・団体等がそれぞれの課題や目指す方向を共有し、共通の目的やビジョンを持って活動を行っている。 学校と企業等との関係は互恵的で、双方が取組から恩恵を受けている。 ④安定して取組を継続していける関係 学校と企業・団体等の間で、長期的で安定した協働関係が確立されている。 共通の目的やビジョンが明確に共有され、計画から実施、評価まで一貫したプロセスに基づいて行われている。 担当者が変わっても、信頼関係や取組が維持できる体制が整っている。
q11	協働体制	ネットワーキング	産学連携において、新たな連携先を開拓しているのは誰ですか。当てはまるものを全て選択してください。
q12	自治体の支援体制	支出	令和6年度の1年間において、貴校が学校の予算として直接支出した「産学連携に関わる取組」の年間予算額についてお答えください(講師への謝金、交通費、実習に必要な消耗品・教材費、外部人材(コーディネーター)の件費など)。 その際、都道府県や教育委員会が直接支払っている経費(例:外部人材の件費補助)は含めないでください。
q13		広域自治体からの資源提供	都道府県(教育関係部署のみならず産業や地域活性化等の関係部署も含む)から、産学連携に関わる資金や人材の提供(生徒の活動場所の提供も含む)等を受けていますか。
q14		予算獲得に際しての理由	(受けている場合、) 都道府県から産学連携に関わる事業費の提供を受けている場合、その事業がどのような目的で事業化されているか(事業目的)を教えてください。
q15		予算獲得に際しての理由	(受けている場合、) 代表的な事業について、その名称と予算額を記載してください。
q16		基礎自治体からの資源提供	学校の所在する市町村(教育関係部署のみならず産業や地域活性化等の関係部署も含む)から、産学連携に関わる資金や人材の提供(生徒の活動場所の提供も含む)等を受けていますか。
q17		予算獲得に際しての理由	(受けている場合、) 市町村から産学連携に関わる事業費の提供を受けている場合、その事業がどのような目的で事業化されているか(事業目的)を教えてください。
q18		予算獲得に際しての理由	(受けている場合、)代表的な事業について、その名称と予算額を記載してください。

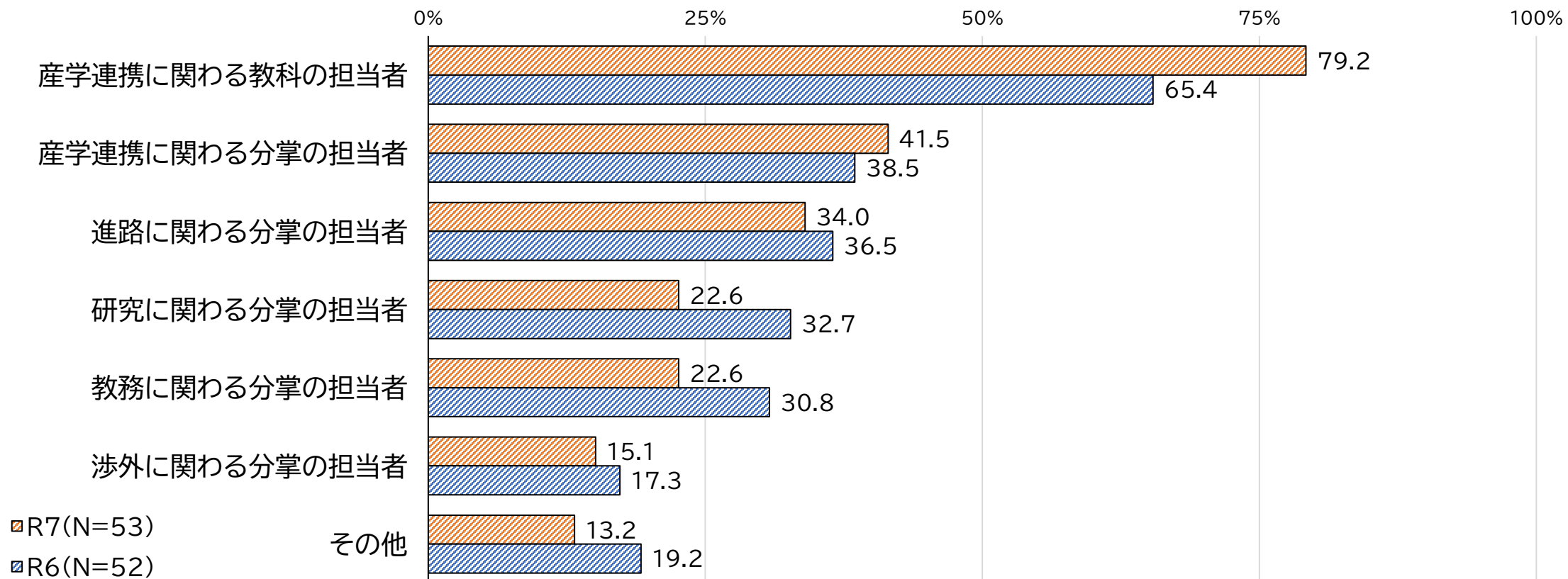
参考:質問項目一覧(全国アンケート)

ID	カテゴリ	調査指標	質問項目
q19	学校と産業界の関係構築プロセス	連携先の理解1	連携している企業等の産学連携の目的を十分に理解している。
q20		連携先の理解2	企業等と連携してどのような取組ができるのか、十分に把握できている。
q21		連携先からの理解	貴校の産学連携の目的は、連携先の企業等に十分伝わっている。
q22		課題感の反映	現在の取組は、学校と企業の双方の課題を踏まえた内容になっている。
q23		共通ビジョンの検討	学校と企業の双方の課題を踏まえた共通のビジョンを協議する場があった。
q24		企業の貢献度	産学連携と一緒に取り組んでいる企業は、活動において企業としての役割を十分に果たしていると感じますか。
q25		継続性(学校側)	貴校の担当者が変わっても、産学連携の取組を今後も継続できる。
q26		継続性(連携先側)	産業界側の担当者が変わっても、産学連携の取組を今後も継続できる。
q27	取組の実施プロセス	産業界との連携の必要性検討	学校の中で、産業界との連携の必要性を検討する機会
q28		課題の産業界への共有	学校が抱える課題を産業界に伝える機会
q29		産業界の目的や必要性の理解	産業界側の産学連携の目的や連携の必要性について知る機会
q30		学校と産業界の議論の場1	学校と産業界が対等な立場で議論する機会
q31		学校と産業界の議論の場2	学校と産業界が協力して、学校のカリキュラムを検討・改善する機会
q32	全般	負担に見合う成果	貴学科で行っている産学連携は、負担に見合った成果を得ていますか。
q33		継続推進のキーパーソン	貴学科における産学連携を継続していくうえで、最も中心的な役割を果たしているのは誰ですか。
q34	産学連携の成果	進路	貴学科における令和6年度卒業生の進路状況を教えてください。 ※産学連携の取組を行った関連産業への就職者数は、産学連携の取組を行っていない場合や、集計等を行っていない場合は回答不要です。 ※進学者数は、大学、短期大学、高等学校専攻科、専修学校・各種学校、公共職業能力開発施設等入学者を含めてください。

1.学校用アンケート

Q2.担当者の属性

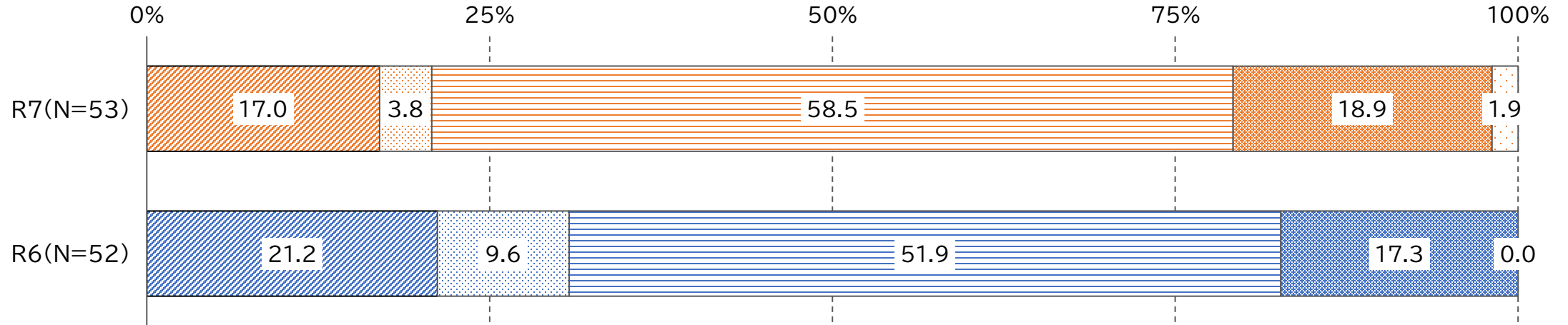
Q2.貴校で産学連携の取組の計画に関わっている方について、当てはまるものをすべて選択してください。(複数選択式)



「その他」の例:教頭等の管理職、学科長・学科主任 等

Q3.産学連携歴

Q3.貴校では、教育課程の一環として産学連携を継続的に組み込んだ教育活動は、いつから実施していますか？
(単一選択式)

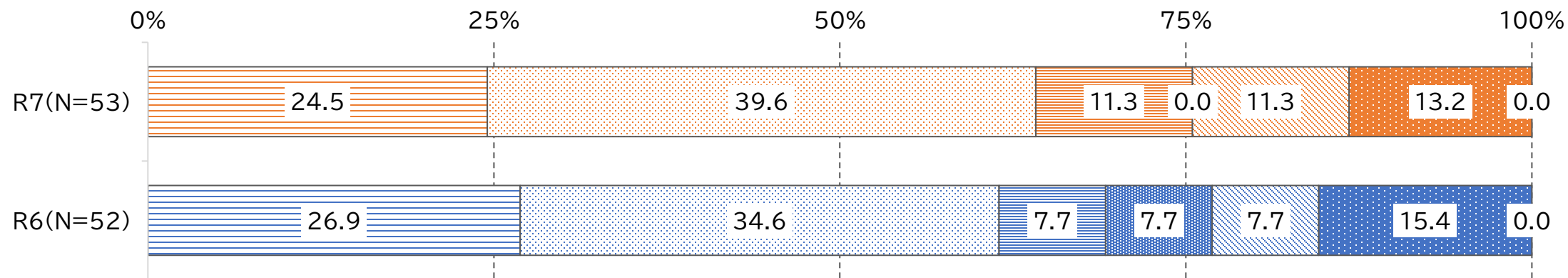


- 2022年以降に実施(現在の学習指導要領のもとで開始、1～3年前から)
- 2018年度～2021年度に実施(現行指導要領施行前に開始、4～6年前から)
- 2017年度以前に実施(7年以上前から継続して実施)
- いつからか不明
- その他

※R6は括弧内が異なり、「2022年度以降から実施(現在の学習指導要領のもとで開始、1～2年前から)」、「2018年度～2021年度から実施(現行指導要領施行前に開始、3～5年前から)」、「2017年度以前から実施(6年以上前から継続して実施)」。

Q4.産学連携の目的

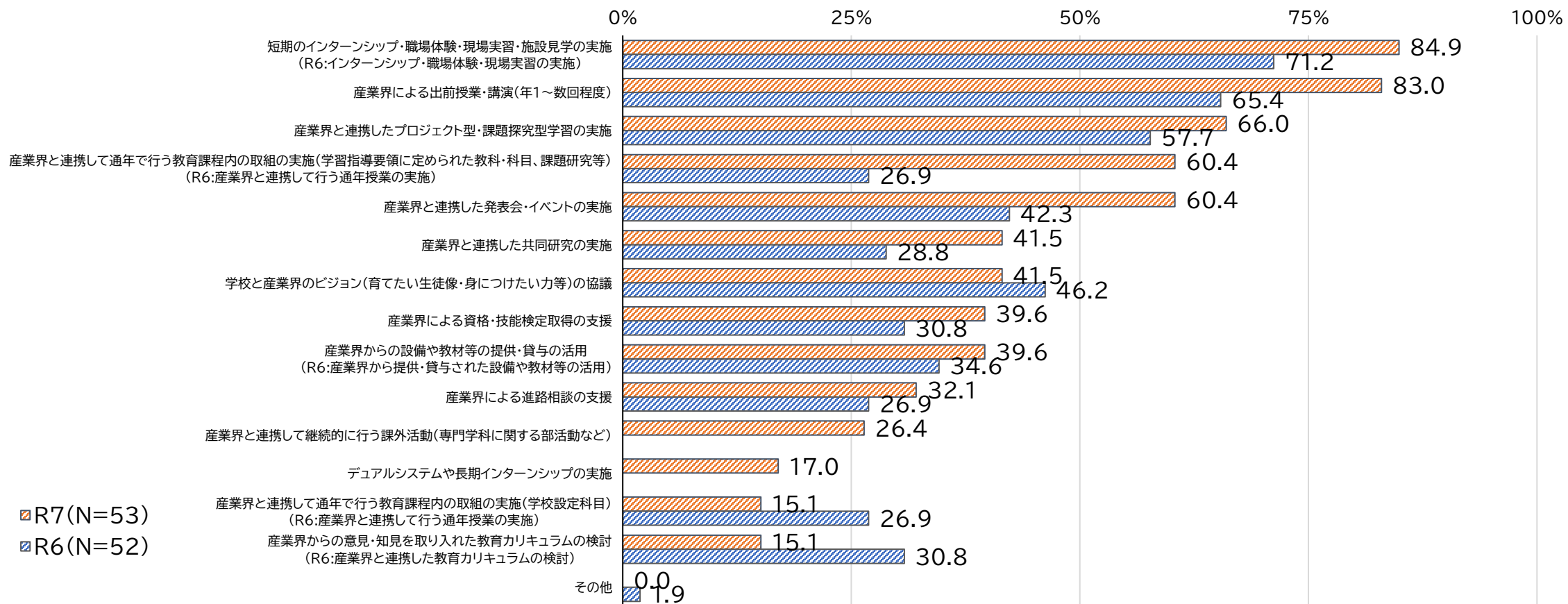
Q4.貴校が産学連携に取り組む目的について、最も大きな理由を1つ選択してください。(N=53)(単一選択式)



- キャリア教育を充実させるため
- 課題解決力を育む学習を充実させるため
- 入学希望者が増えるよう、学校の魅力を高めるため
- その他
- 実践的な知識や技能を習得する学習を充実させるため
- 協働的な学びを充実させるため
- 地域社会が求める人材を育成するため

Q5.産学連携の取組種別

Q5.今年度、産業界(企業や団体等)と協働して行った産学連携の取組の内容を教えてください。当てはまるものを全て選択してください。※これから実施予定のものも含めてお答えください。(複数選択式)



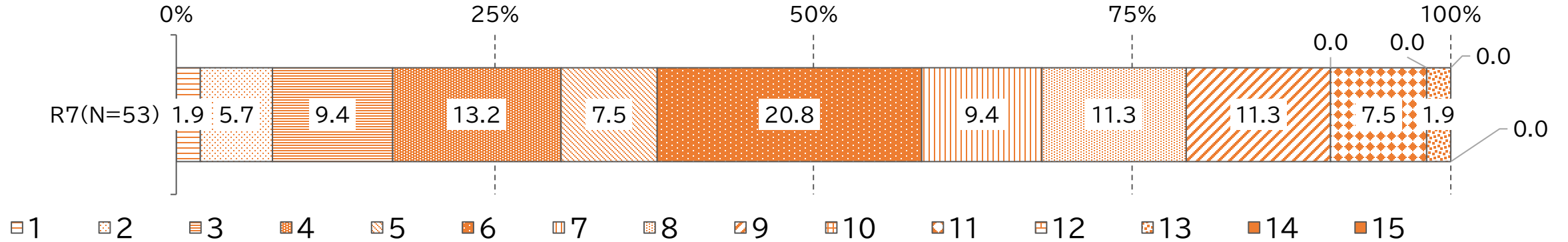
※R7調査時に一部の選択肢は表現を微修正をした(「R6」はR6調査時の選択肢文言)。

※R6「産業界と連携して行う通年授業の実施」は、R7では「産業界と連携して通年で行う教育課程内の取組の実施(学習指導要領に定められた教科・科目、課題研究等)」、「産業界と連携して通年で行う教育課程内の取組の実施(学校設定科目)」として尋ねた。

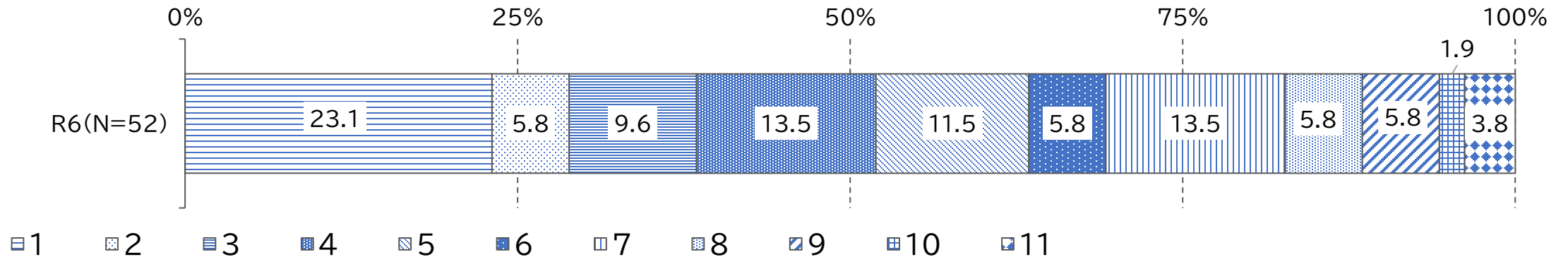
※「産業界と連携して継続的に行う課外活動(専門学科に関する部活動など)」、「デュアルシステムや長期インターンシップの実施」はR7調査で新規追加した。

Q5.産学連携の取組種別(取組数をカウント(最小0、最大15))

Q5.今年度、産業界(企業や団体等)と協働して行った産学連携の取組の内容を教えてください。
 当てはまるものを全て選択してください。※これから実施予定のものも含めてお答えください。(複数選択式)

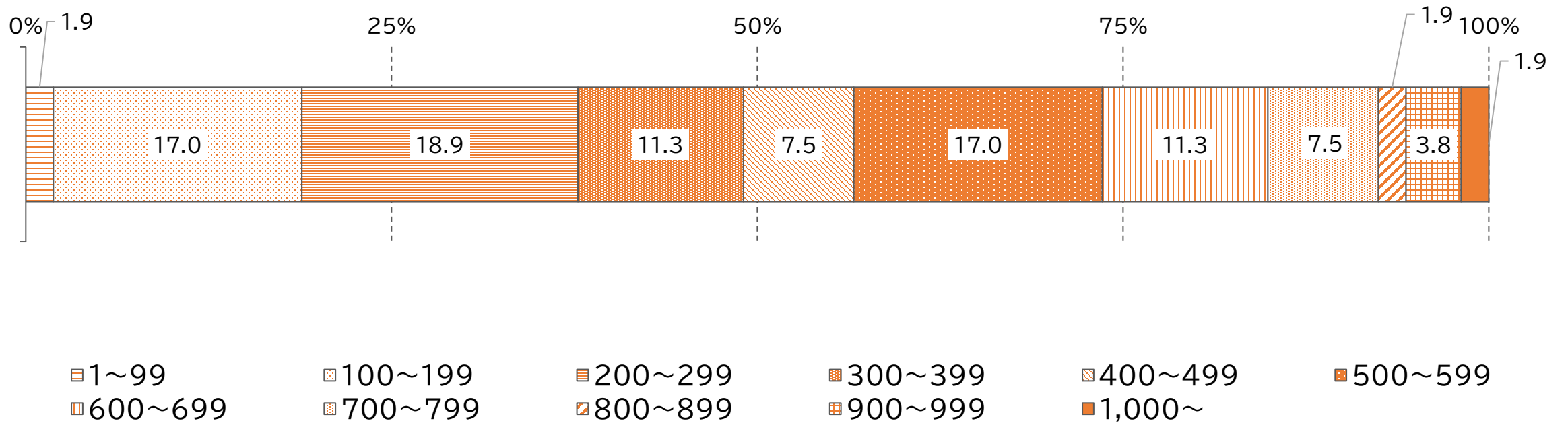


※R6は選択肢の内容及び個数が異なるため、参考値。(最小0、最大11)



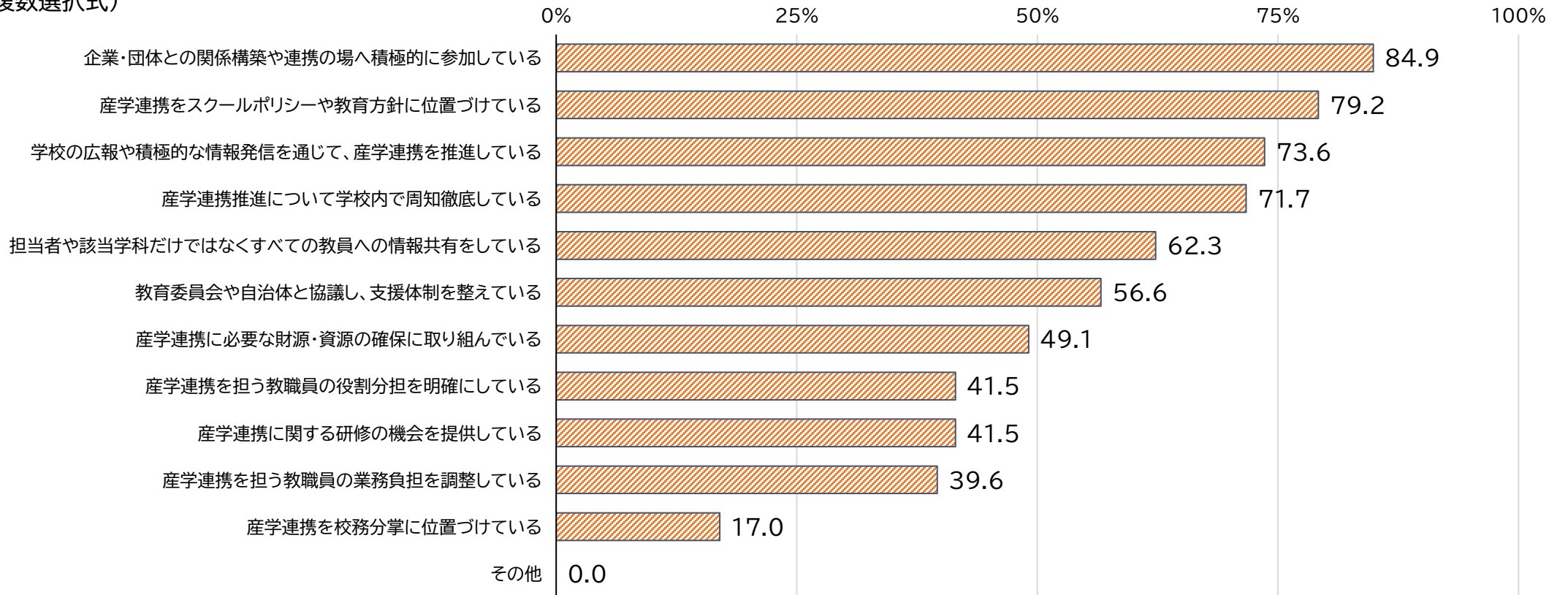
Q6.学校規模

Q6.貴校の全校生徒数を教えてください。(N=53)(短答式)



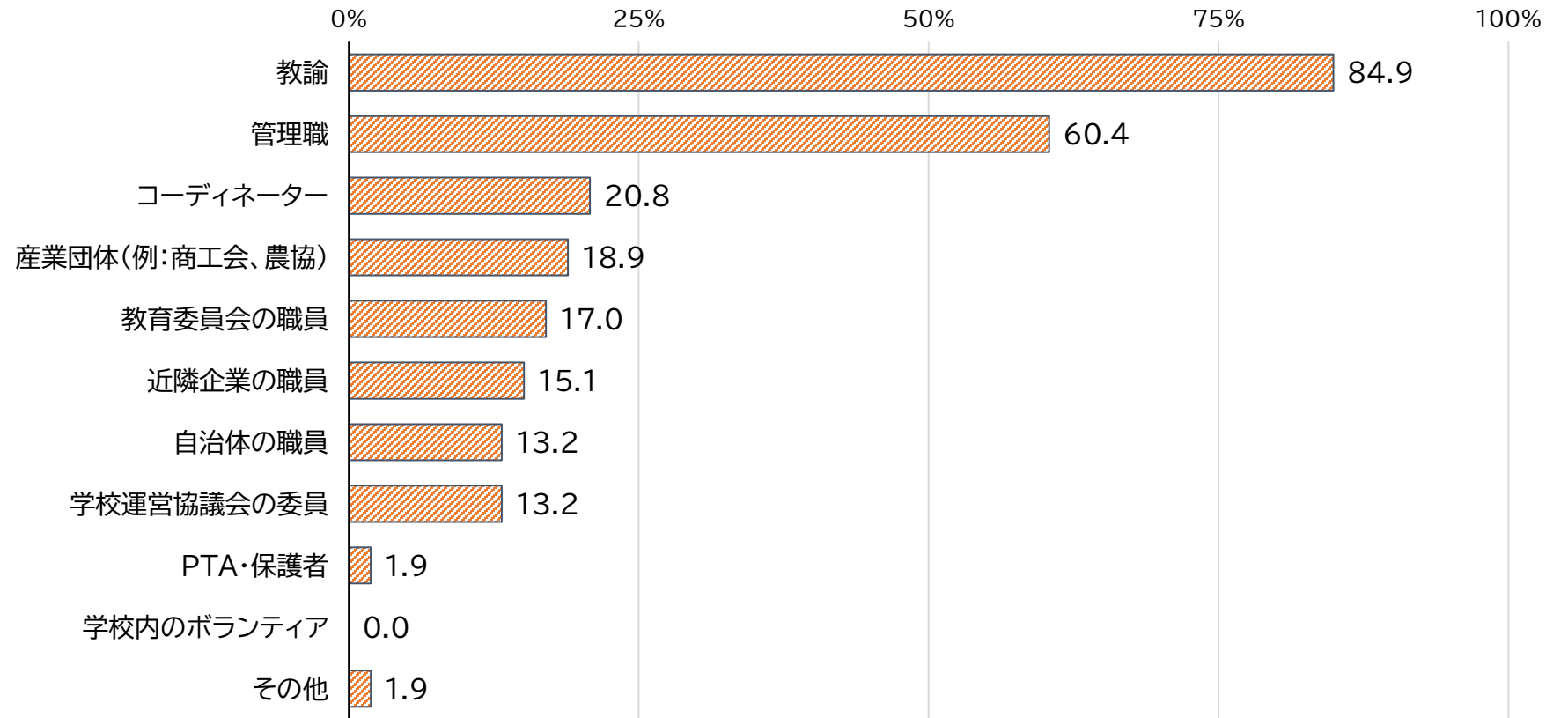
Q7.校長のマネジメントの在り方

Q7.産学連携を推進するにあたり、貴校において校長はどのように推進・管理していますか。当てはまるものを全て選択してください。
(N=53)(複数選択式)



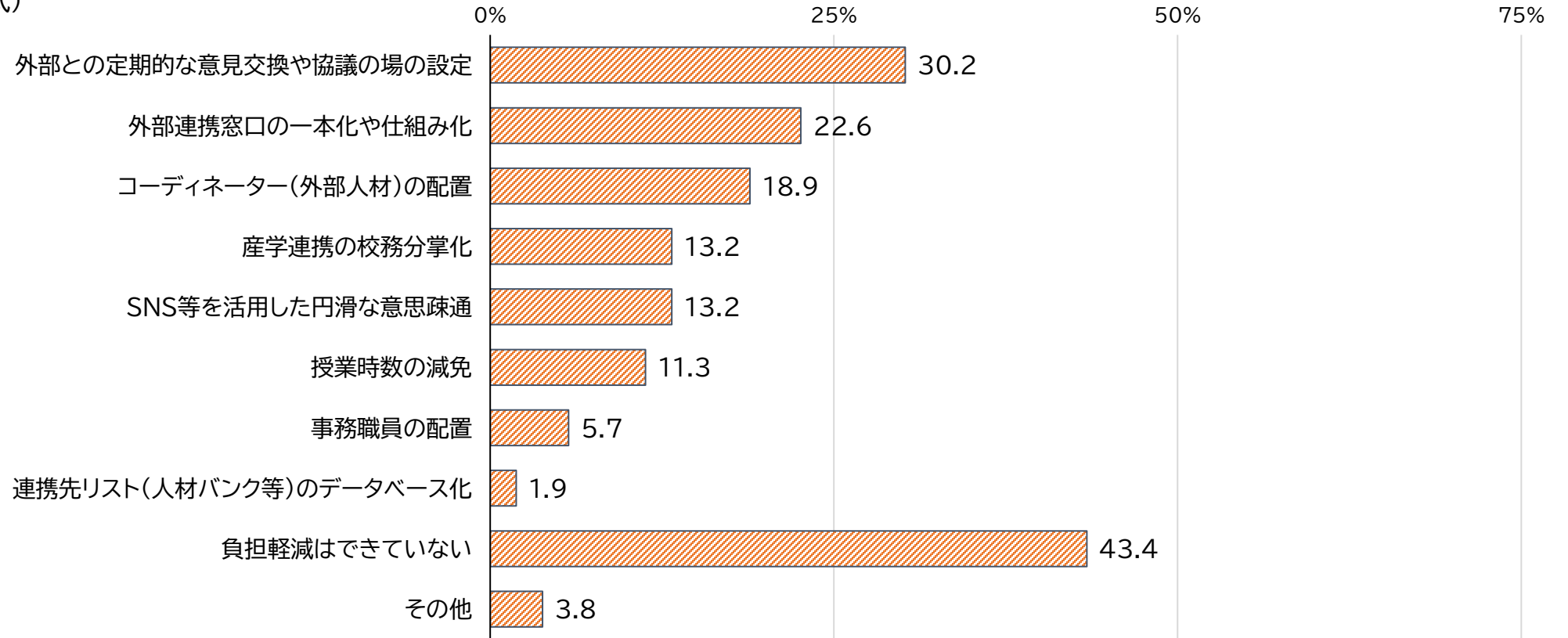
Q8. ネットワーキング

Q8. 産学連携において、新たな連携先を開拓しているのは誰ですか。当てはまるものを全て選択してください。
(N=53)(複数選択式)



Q9.負担軽減

Q9.産学連携を推進するにあたり、産学連携担当教員の負担軽減のため行っている取組を全て選択してください。
(N=53)(複数選択式)

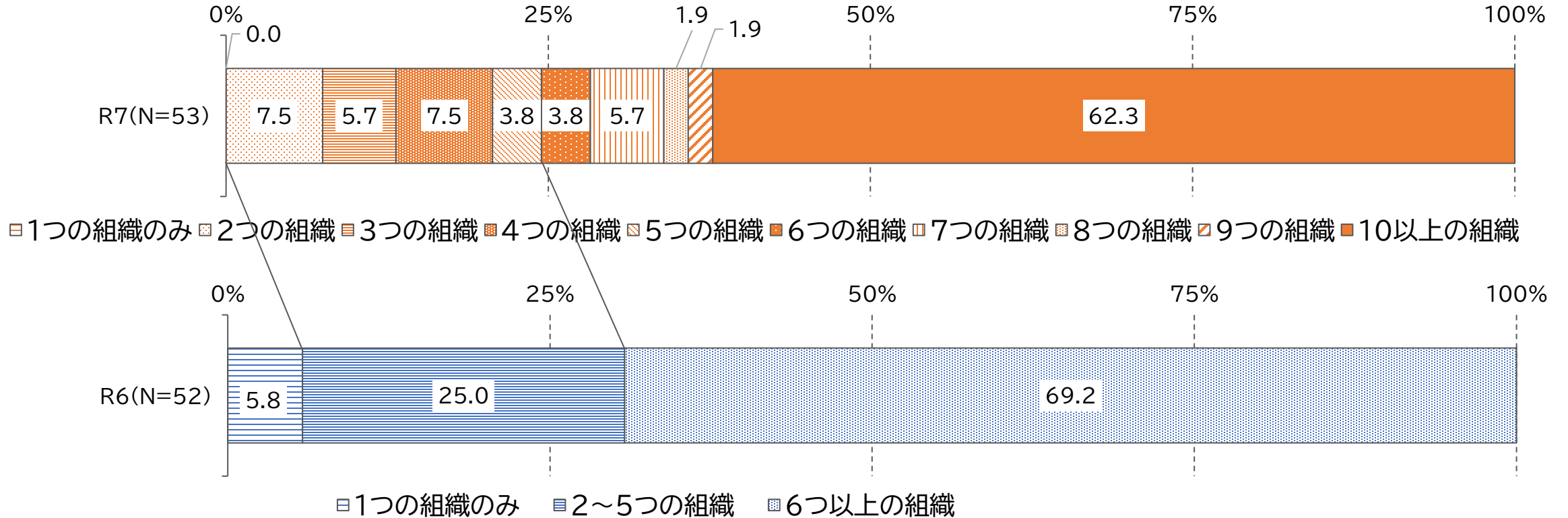


Q10.産学連携に関わる企業・団体数

Q10.今年度実施した産学連携に関わっている企業や団体等の数を教えてください。

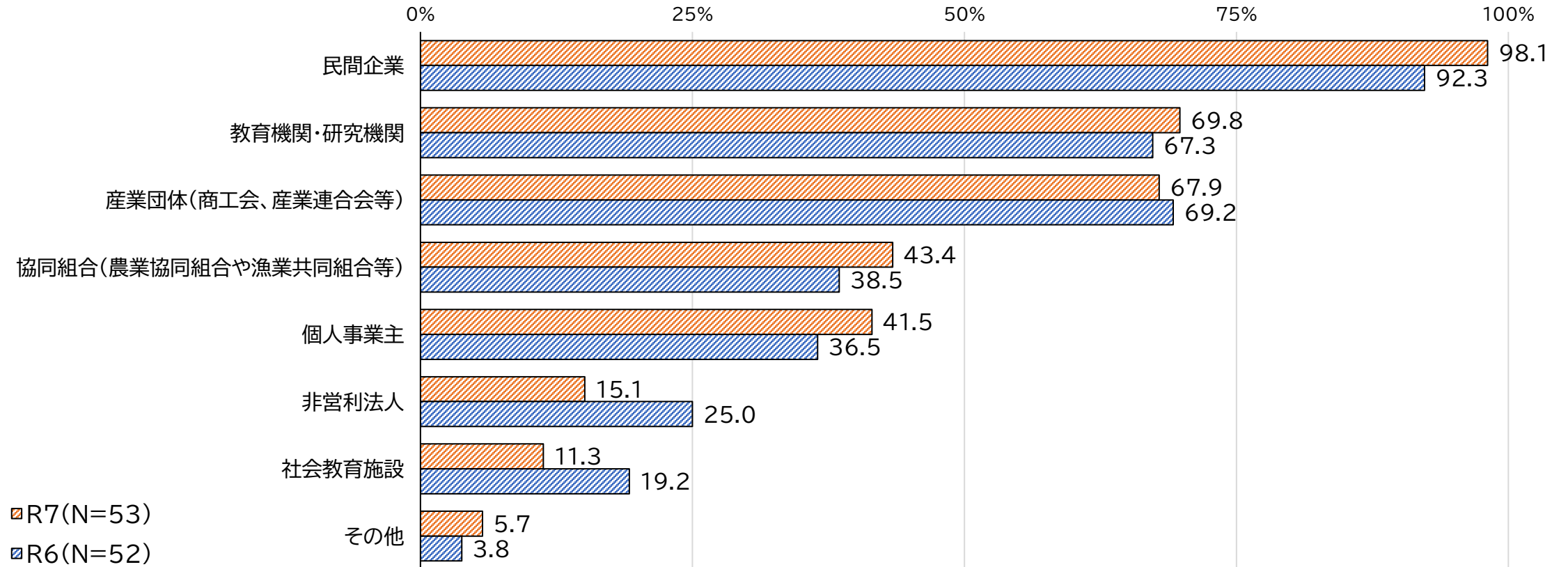
※これから実施予定のものも含めてお答えください。

(単一選択式)



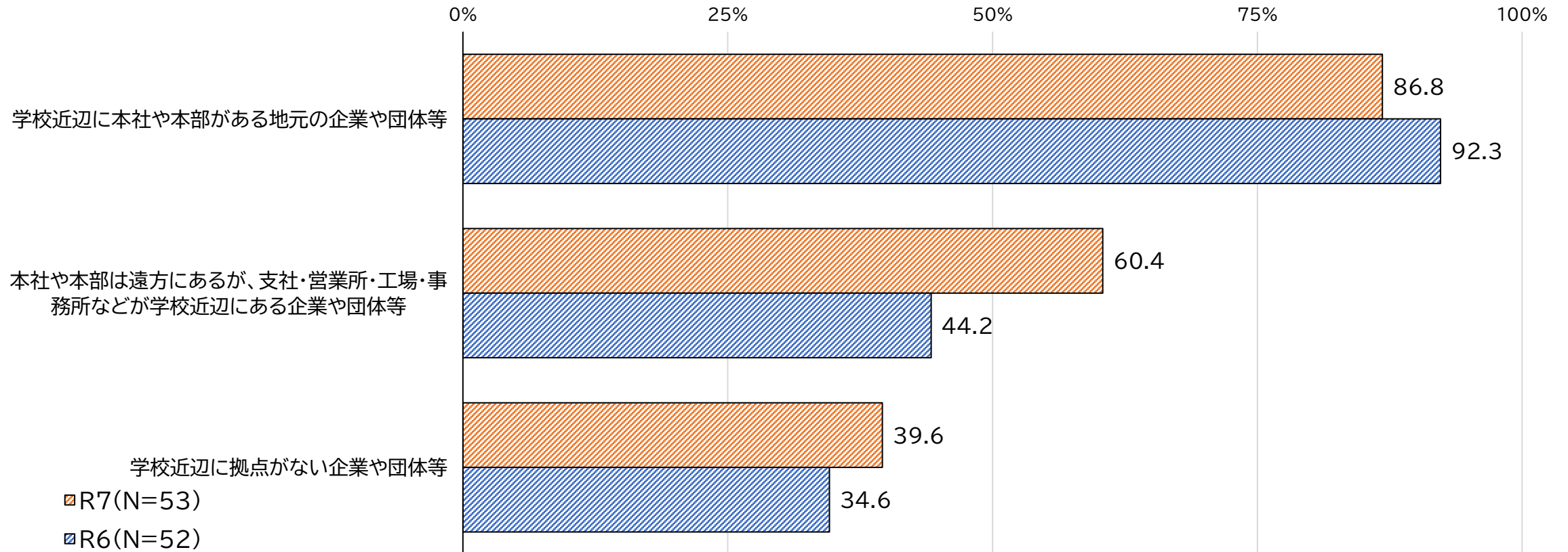
Q11.産学連携に関わる団体種別

Q11.今年度の産学連携に関わった企業や団体等の種類を全て選択してください。(複数選択式)



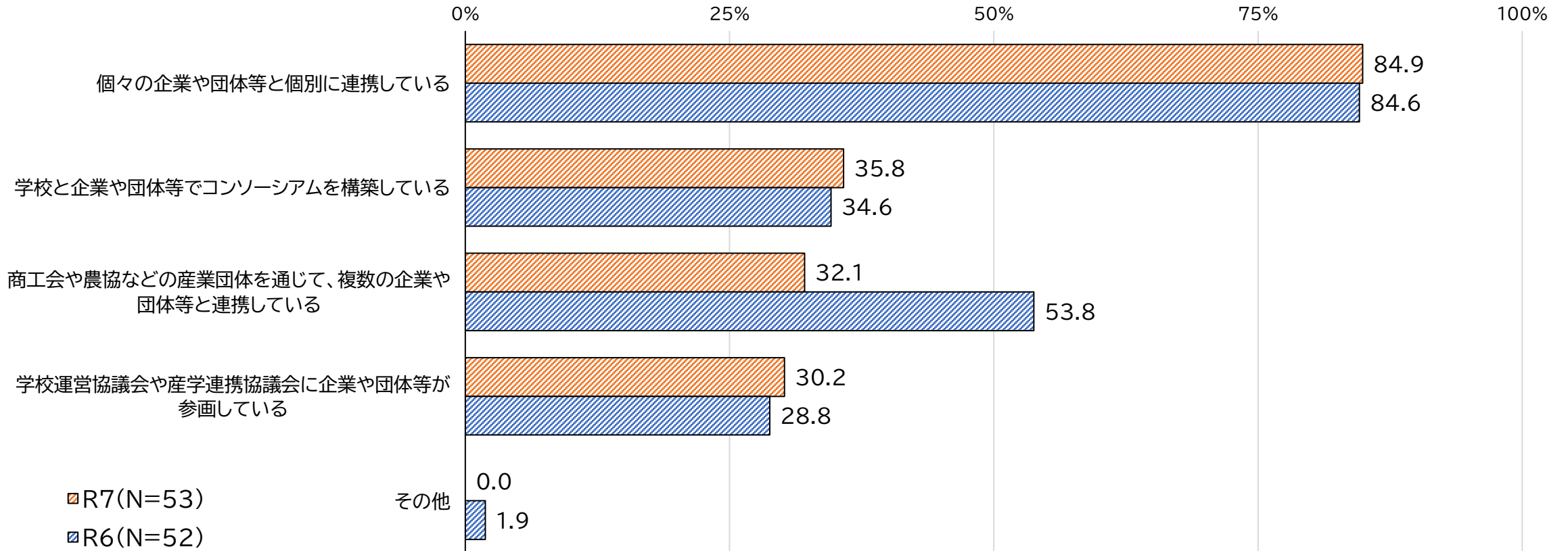
Q12.産学連携に関わる団体の属性

Q12.連携している企業・団体等について、当てはまるものを全て選択してください。(複数選択式)



Q13.産業界との連携パターン

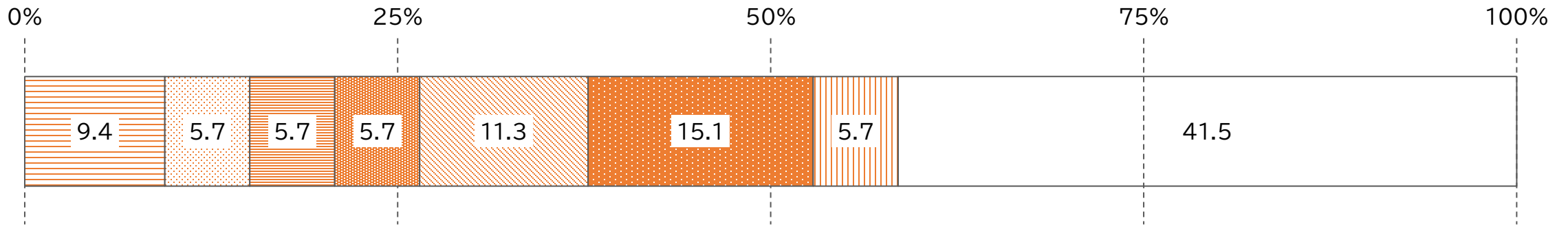
Q13.企業や団体等とどのような形で連携していますか？あてはまるものを全て選択してください。(複数選択式)



「その他」の例: 当事業終了後の自走化、学校・学年行事との兼ね合い 等

Q14. 伴走者の機能

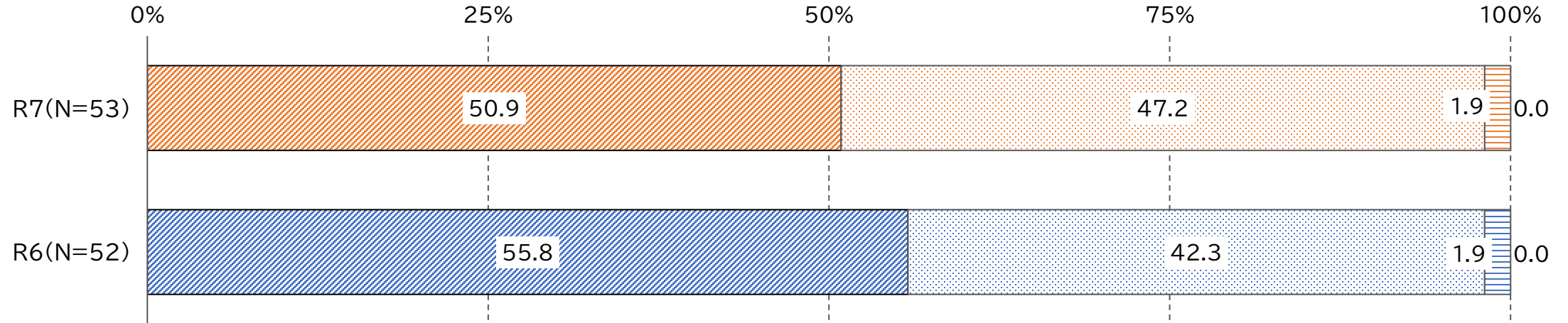
Q14. 今年度の事業を進める上で、伴走支援事業者(株式会社ソフィア)による伴走支援の中で特に有効だったと思うものを教えてください。(N=53)(単一選択式)



- 計画や進捗の確認、次のステップを整理する支援
- 新たな課題や目標を設定するための示唆や問いかけ
- 管理機関や学校が主体的に取り組めるような働きかけ
- その他
- 取組の目的や方向性を見直し、整理する支援
- 他校や地域とのつながりやネットワークづくりの支援
- 特になし
- 伴走支援を受けていない

Q15.産学連携の学校目標・ビジョンへの貢献度

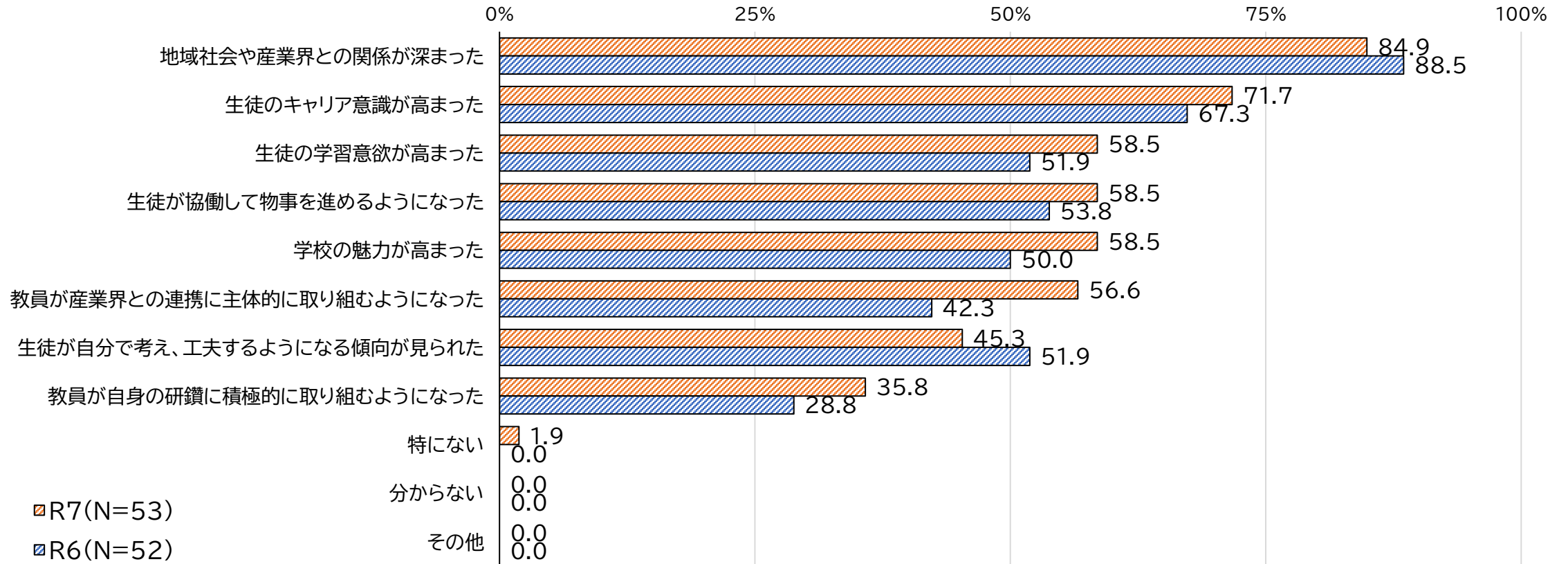
Q15.産学連携の活動が、貴校の目標やビジョンに対してどれくらい貢献していると感じますか？(単一選択式)



■非常に貢献している ■ある程度貢献している ■あまり貢献していない ■全く貢献していない

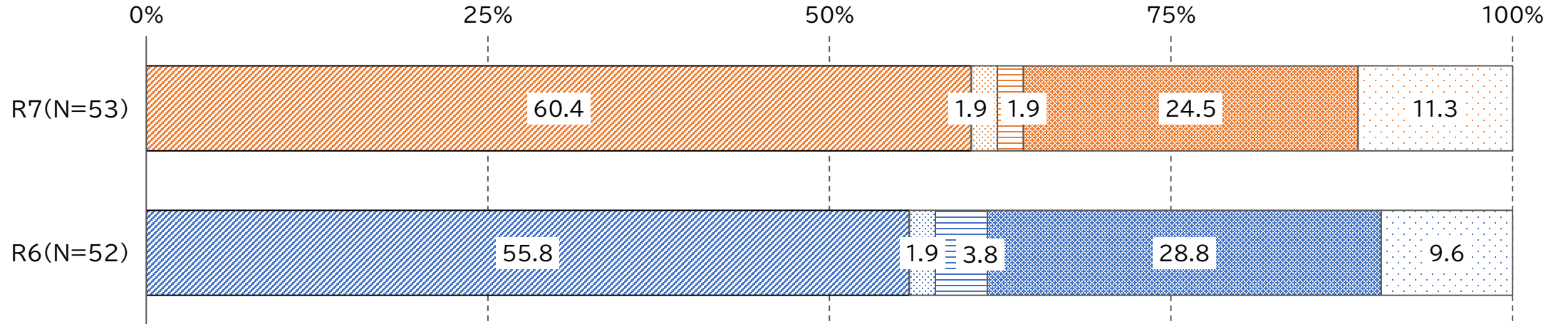
Q16.産学連携の効果

Q16.産学連携の取組を通じて、貴校として実感しているメリットを教えてください。(複数選択式)



Q17.取組の検討主体

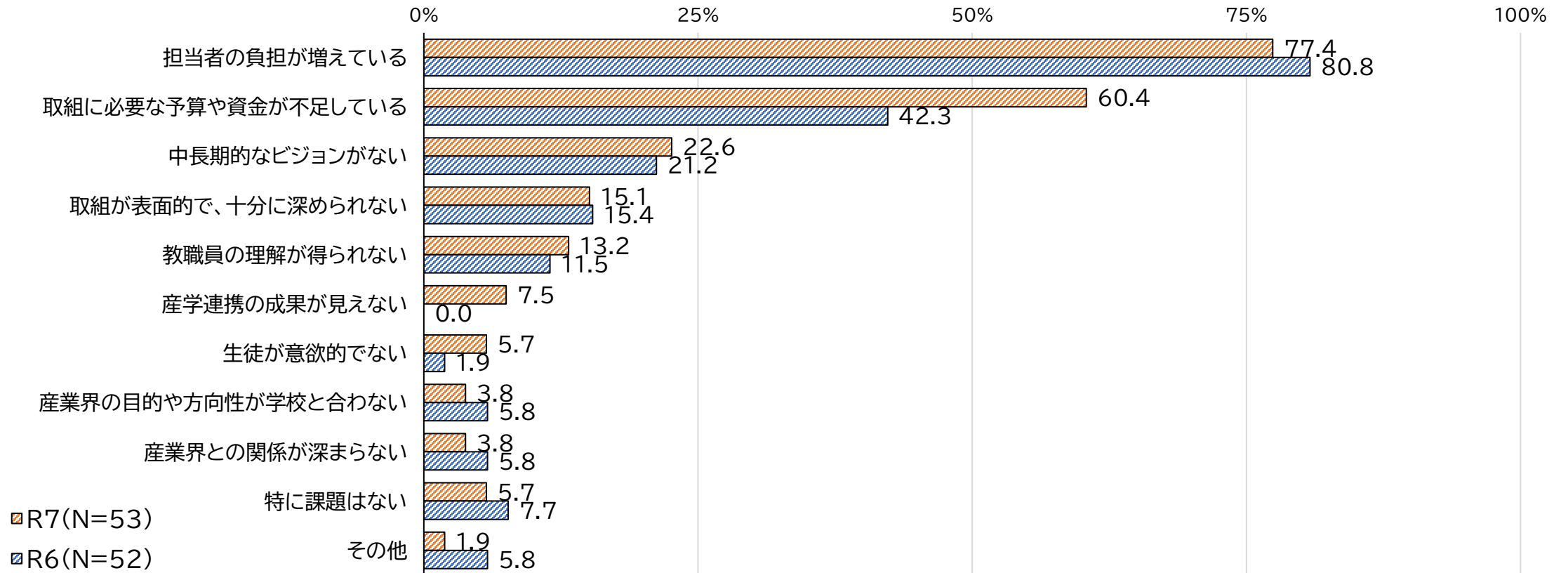
Q17.産学連携の取組は、主にどの組織が中心となって検討を進めていますか。(単一選択式)



- 学校が主体となって検討している
- 企業や団体等が主体となって検討している
- 自治体が主体となって検討している
- 学校と企業・団体等が対等な立場で検討している
- 学校や企業・団体等が参加する組織(コンソーシアム、協議会、委員会等)で検討している

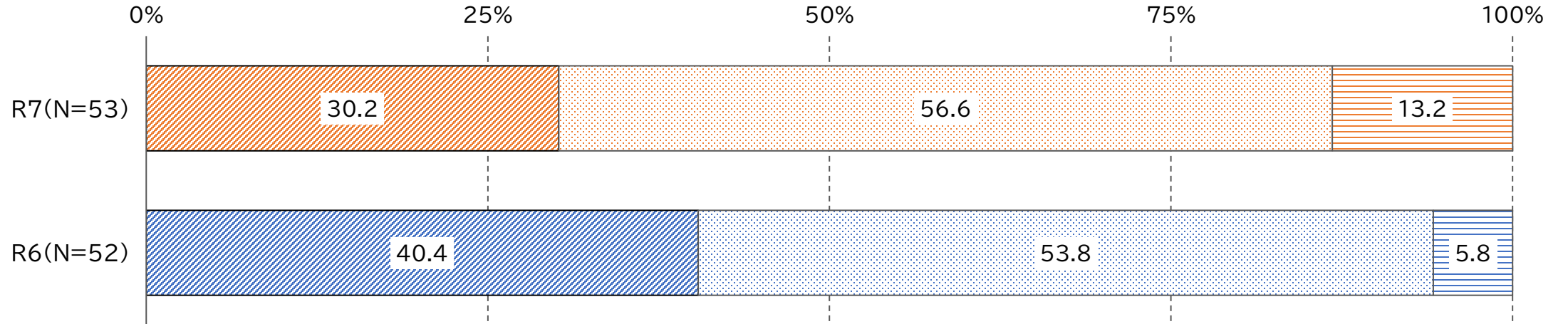
Q18.産学連携に関する課題

Q18.産学連携において、貴校が抱えている課題があれば教えてください。(複数選択式)



Q19.基礎自治体との連携の深さ

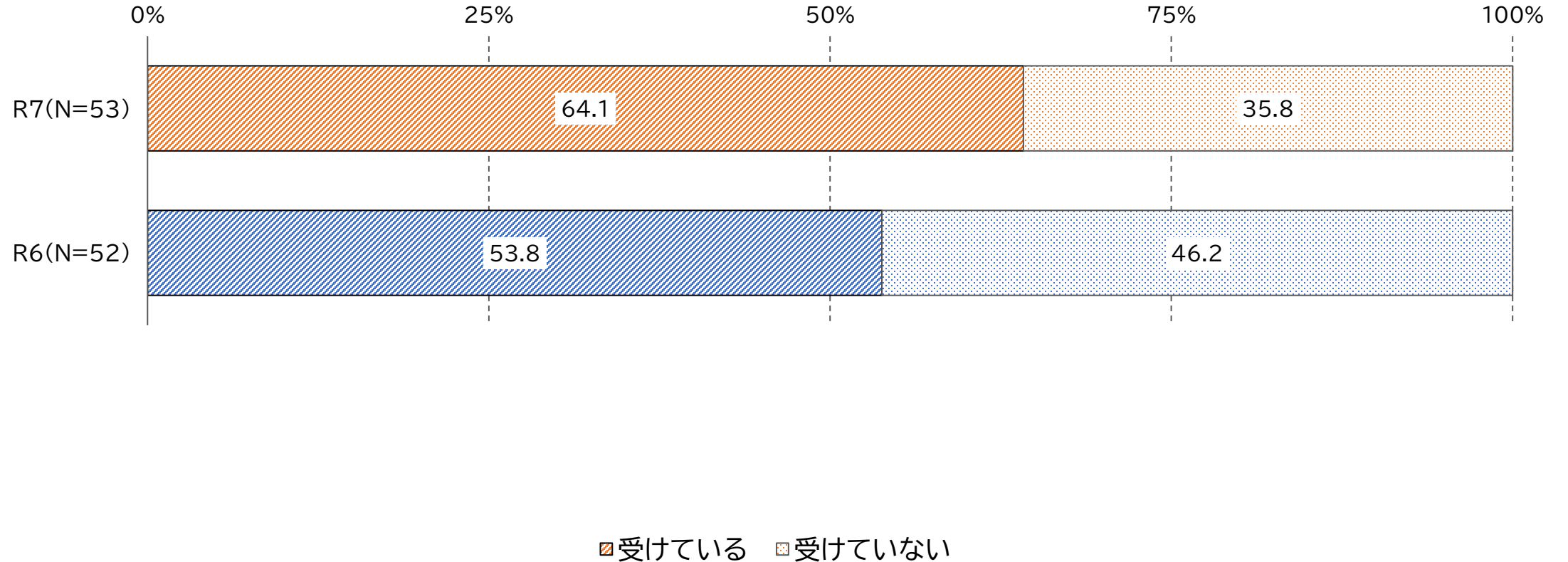
Q19.学校の所在する基礎自治体と連携した取組を実施していますか。(単一選択式)



- 教育課程の一環として基礎自治体との連携を組み込むなど、継続的に実施している
- 年に数回の出前授業やイベント等、単発的な取組を実施している
- 実施していない

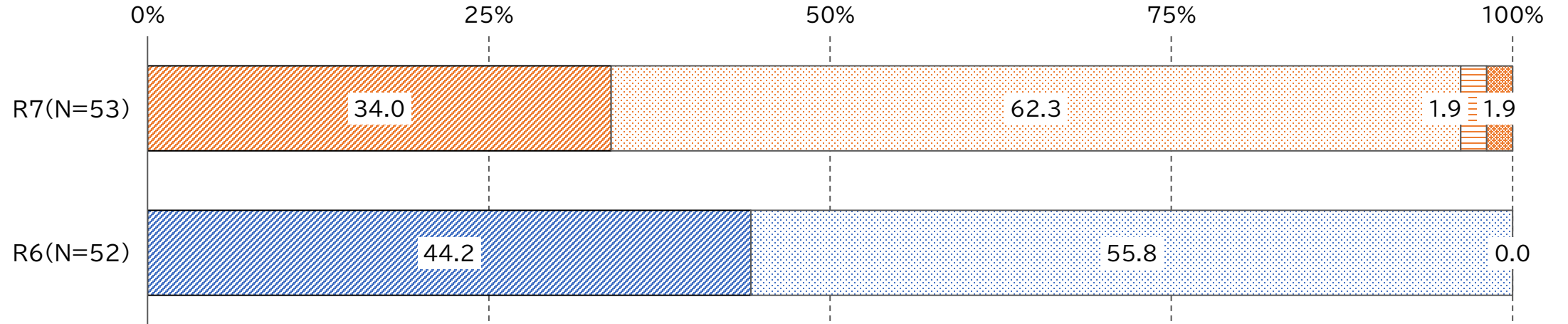
Q20.基礎自治体からの資源提供

Q20.学校の所在する基礎自治体から、資金や人材の提供(生徒の活動場所の提供も含む)等を受けていますか。
(単一選択式)



Q21.連携先の理解1

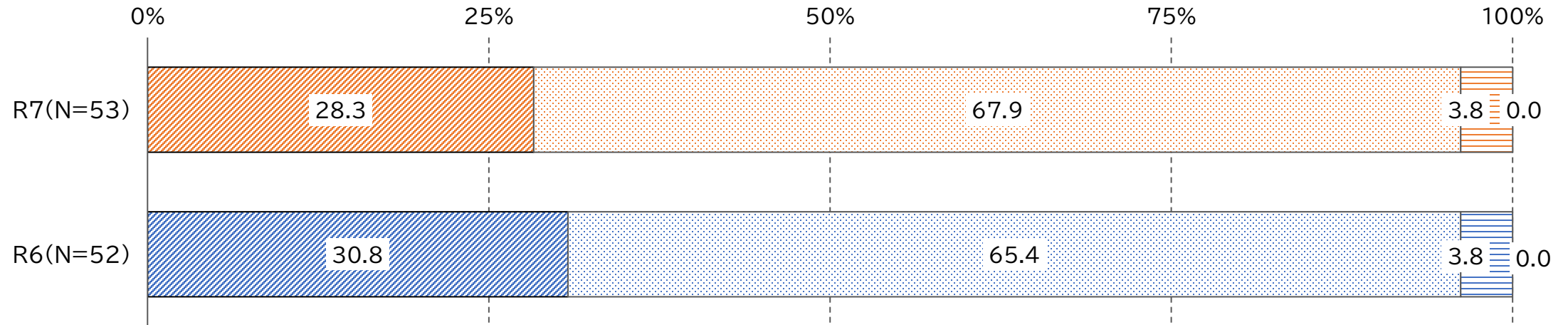
Q21.連携している企業等の産学連携の目的を十分に理解している。(単一選択式)



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

Q22.連携先の理解2

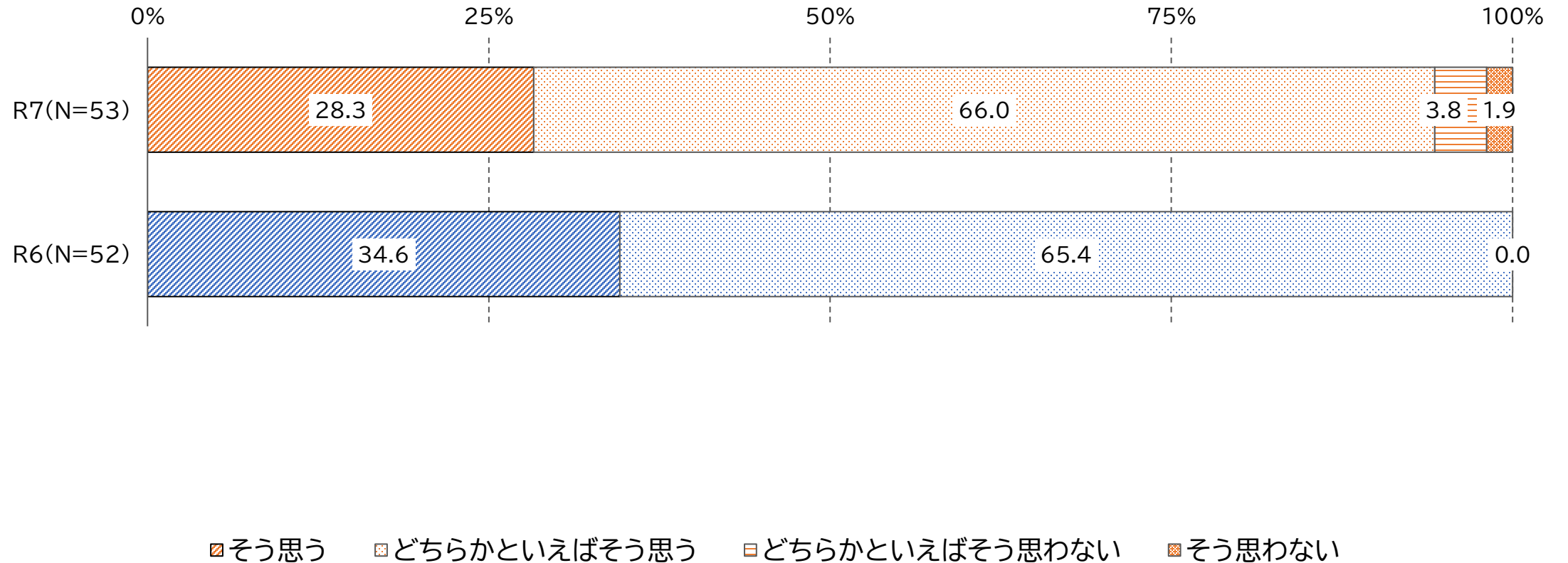
Q22.企業等と連携してどのような取組ができるのか、十分に把握できている。(単一選択式)



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

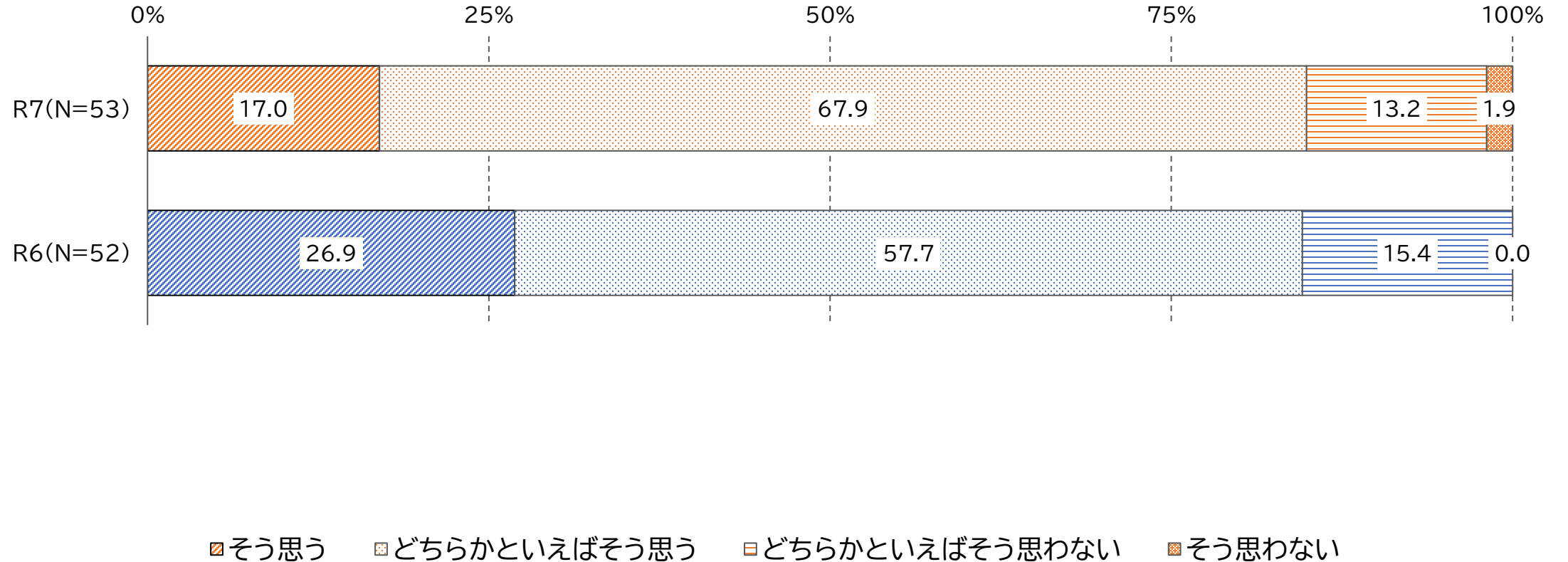
Q23.連携先からの理解

Q23.貴校の産学連携の目的は、連携先の企業等に十分伝わっている。(単一選択式)



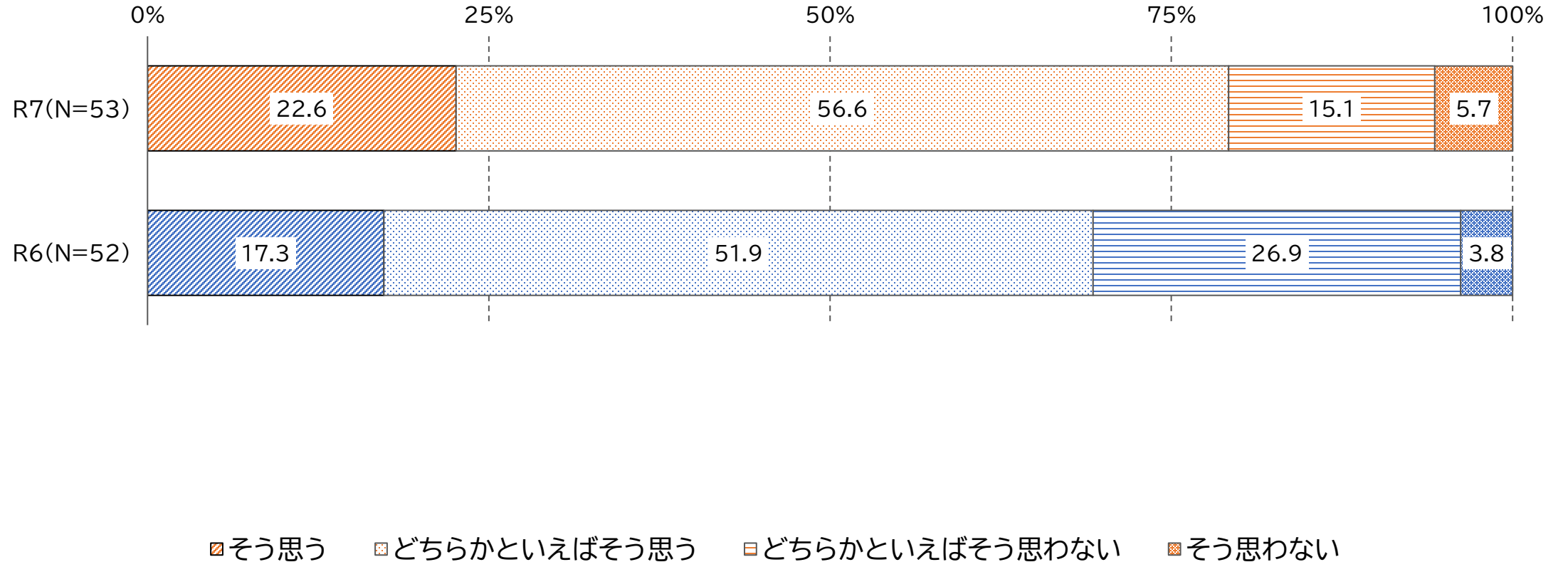
Q24.課題感の反映

Q24.現在の取組は、学校と企業の双方の課題を踏まえた内容になっている。(単一選択式)



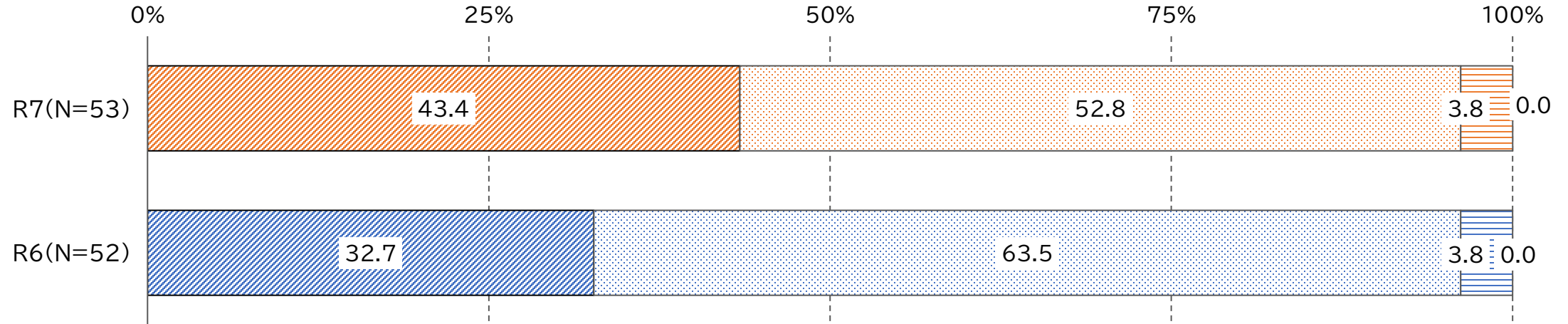
Q25.共通ビジョンの検討

Q25.学校と企業の双方の課題を踏まえた共通のビジョンを協議する場があった。(単一選択式)



Q26.企業の貢献度

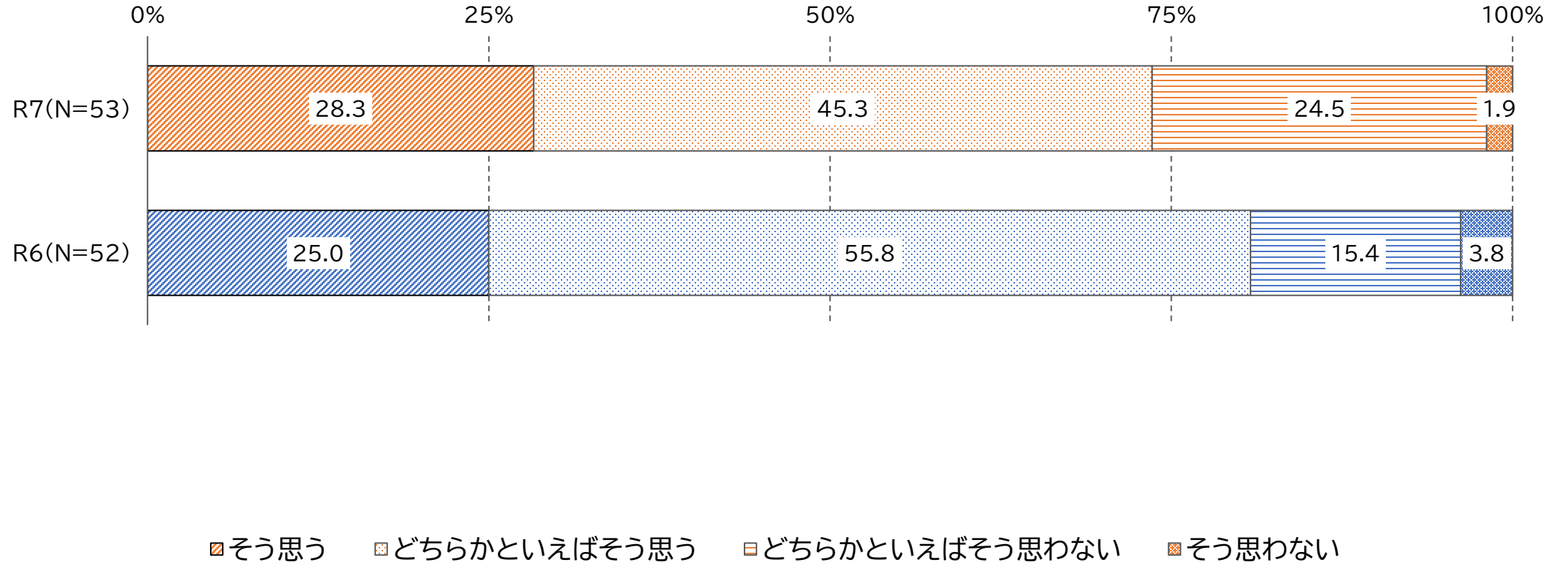
Q26.産学連携と一緒に取り組んでいる企業は、活動において企業としての役割を十分に果たしていると感じますか。(単一選択式)



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

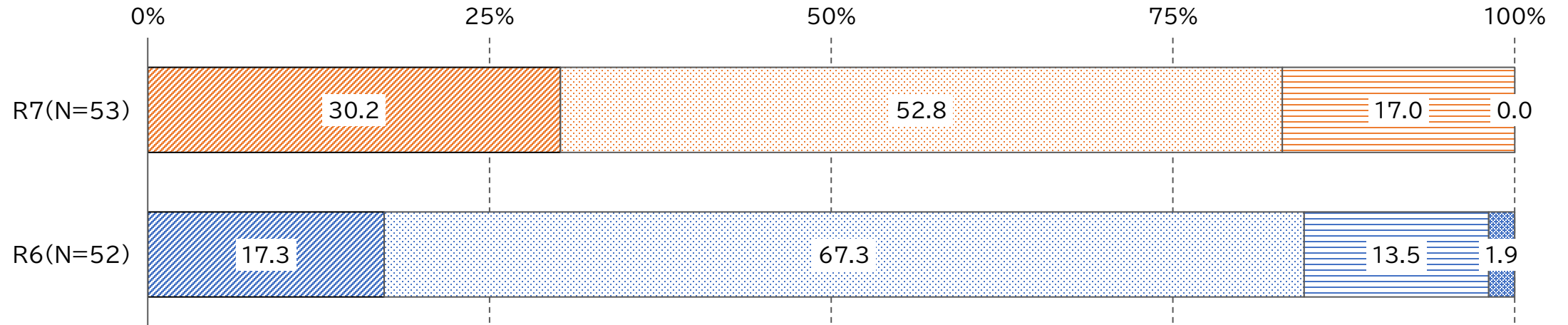
Q27.継続性(学校側)

Q27.貴校の担当者が変わっても、産学連携の取組を今後も継続できる。(単一選択式)



Q28.継続性(連携先側)

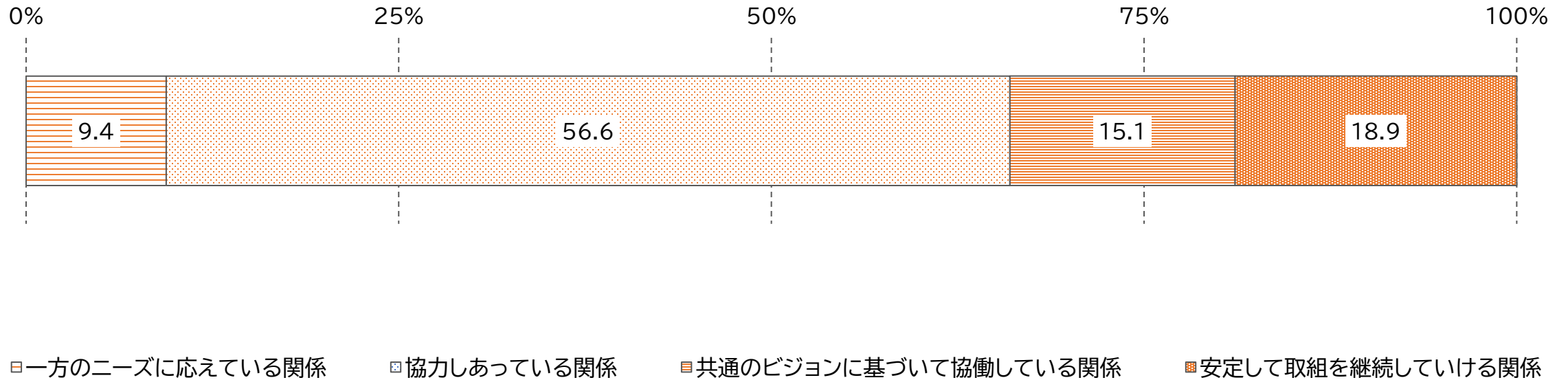
Q28.産業界側の担当者が変わっても、産学連携の取組を今後も継続できる。(単一選択式)



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

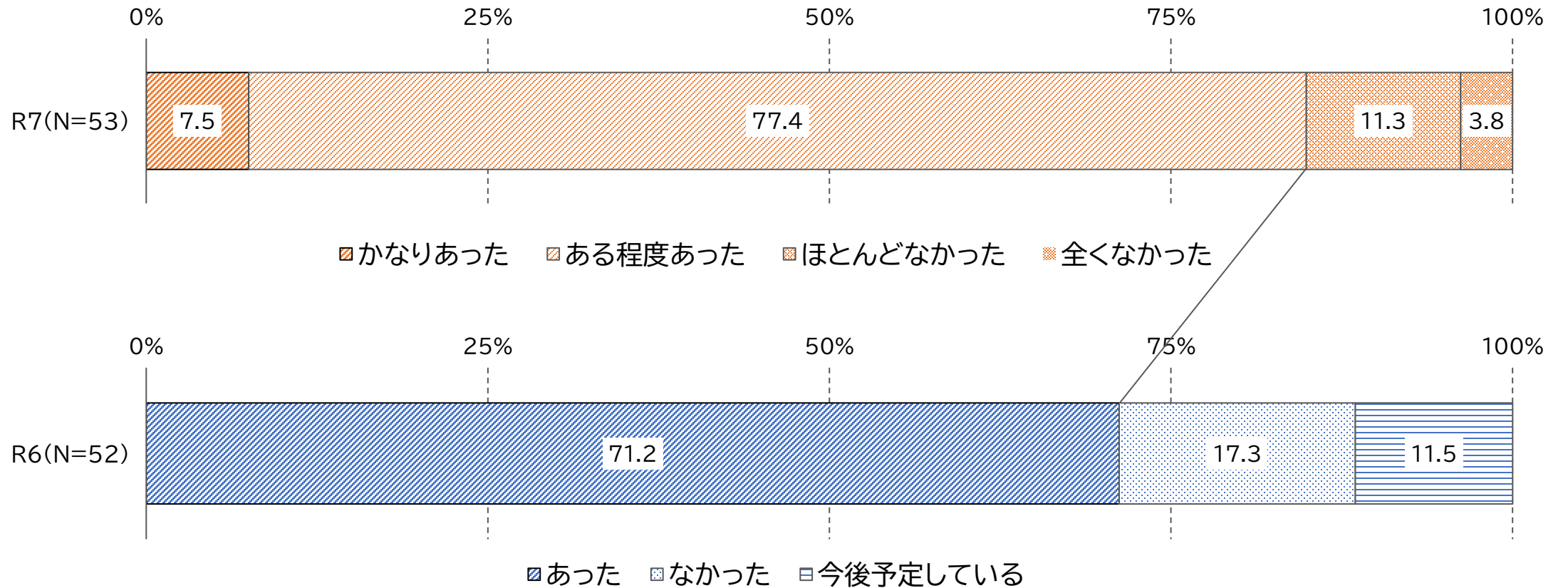
Q29.産学関係の深まり

Q29.貴校が連携している企業や団体等との関係について、最も適切なものを選択してください。
※複数の組織と連携している場合は、最も多く該当する関係をお答えください。(N=53)(単一選択式)



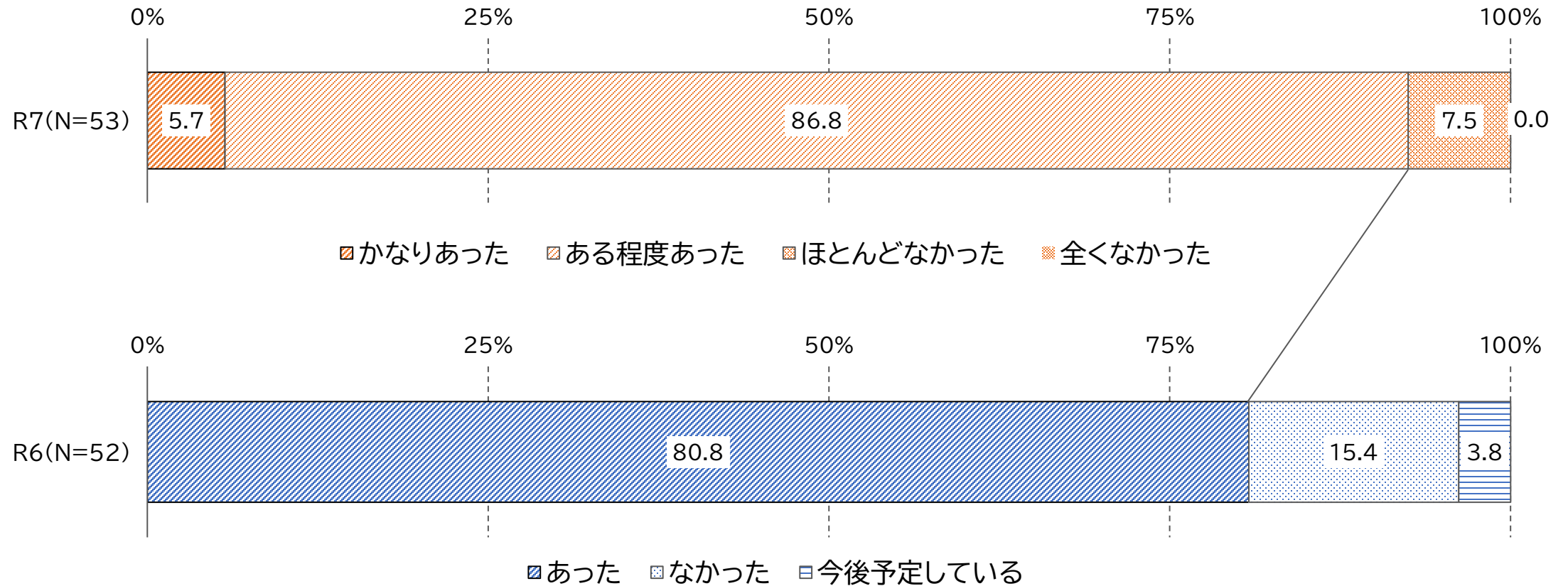
Q30.産業界との連携の必要性検討

Q30.学校の中で、産業界との連携の必要性を検討する機会(単一選択式)



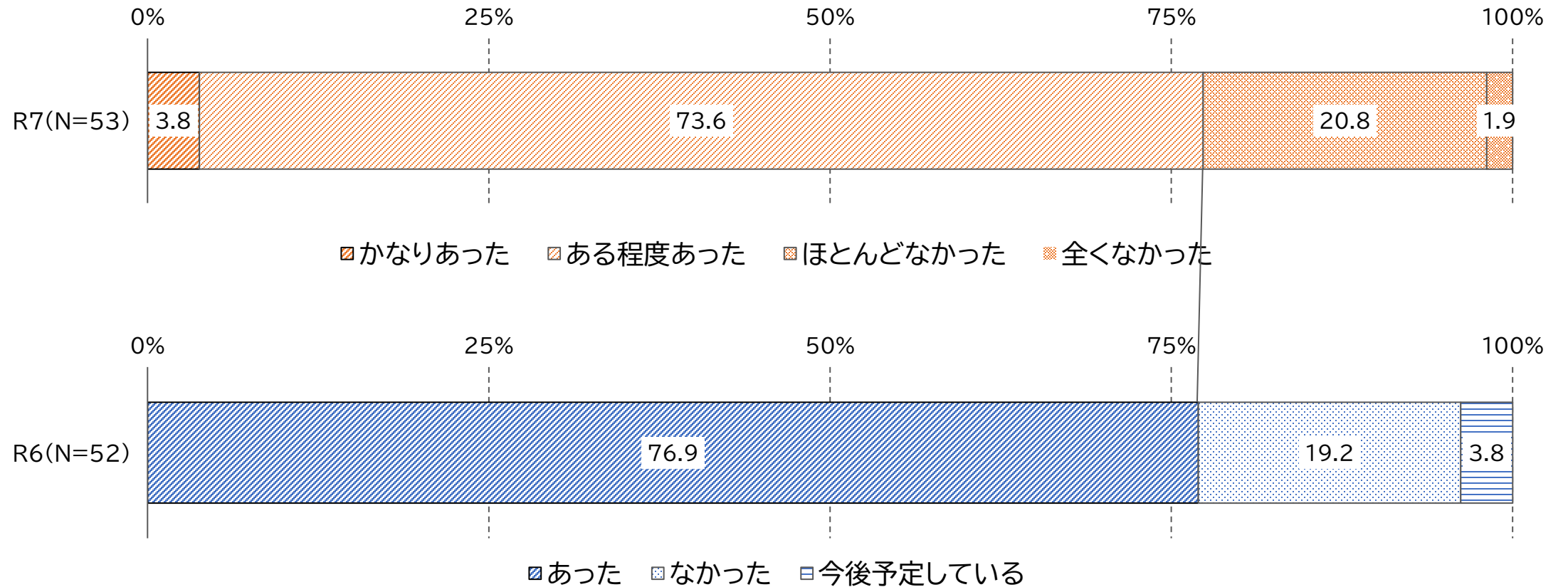
Q31.課題の産業界への共有

Q31.学校が抱える課題を産業界に伝える機会(単一選択式)



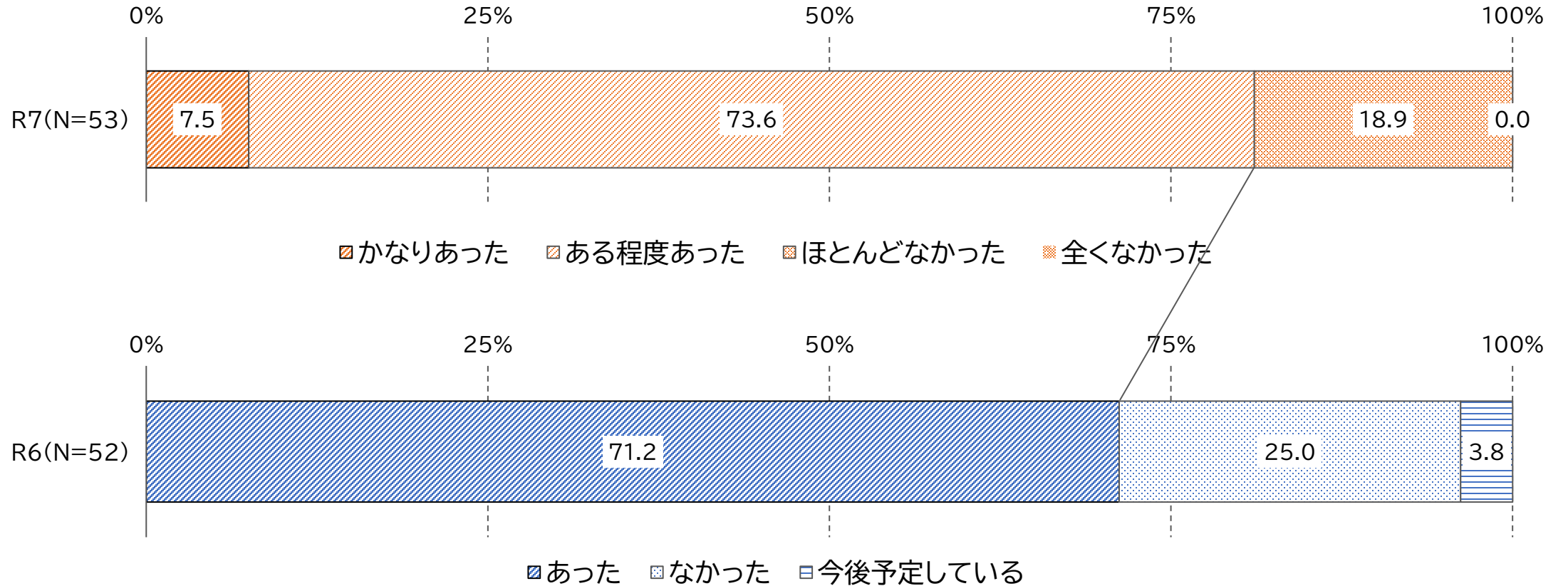
Q32.産業界の目的や必要性の理解

Q32.産業界側の産学連携の目的や連携の必要性について知る機会(単一選択式)



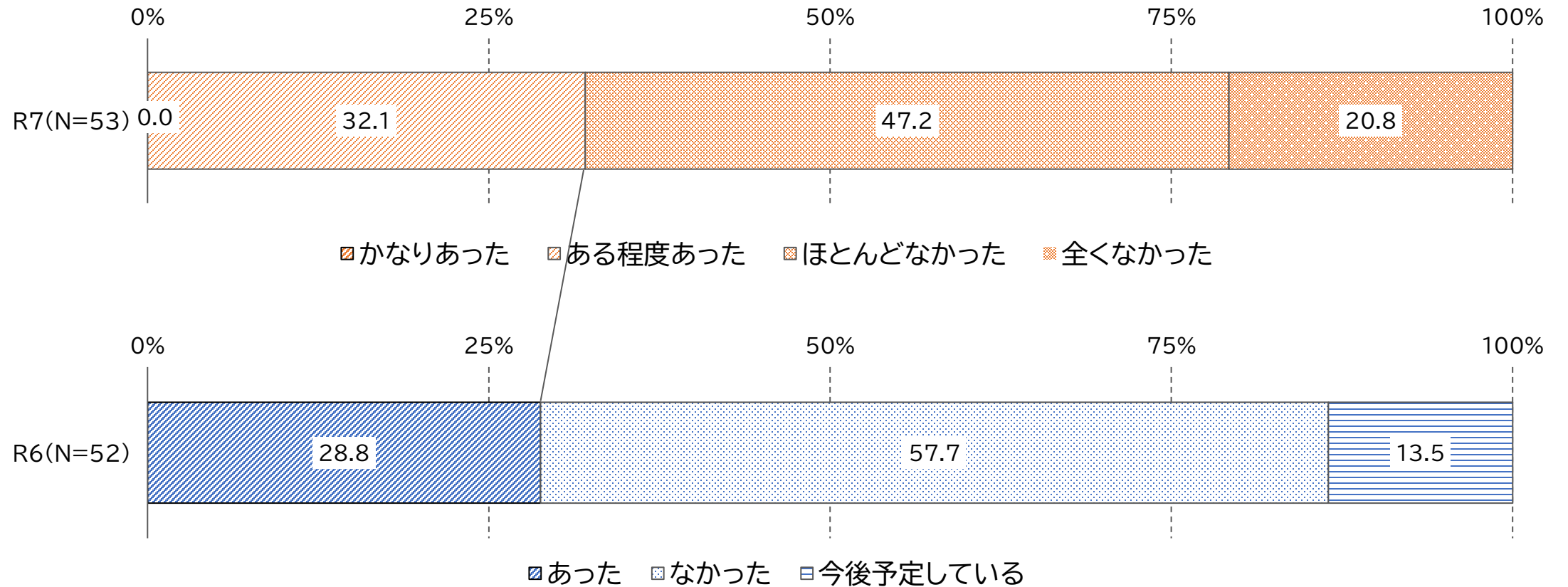
Q33.学校と産業界の議論の場1

Q33.学校と産業界が対等な立場で議論する機会(単一選択式)



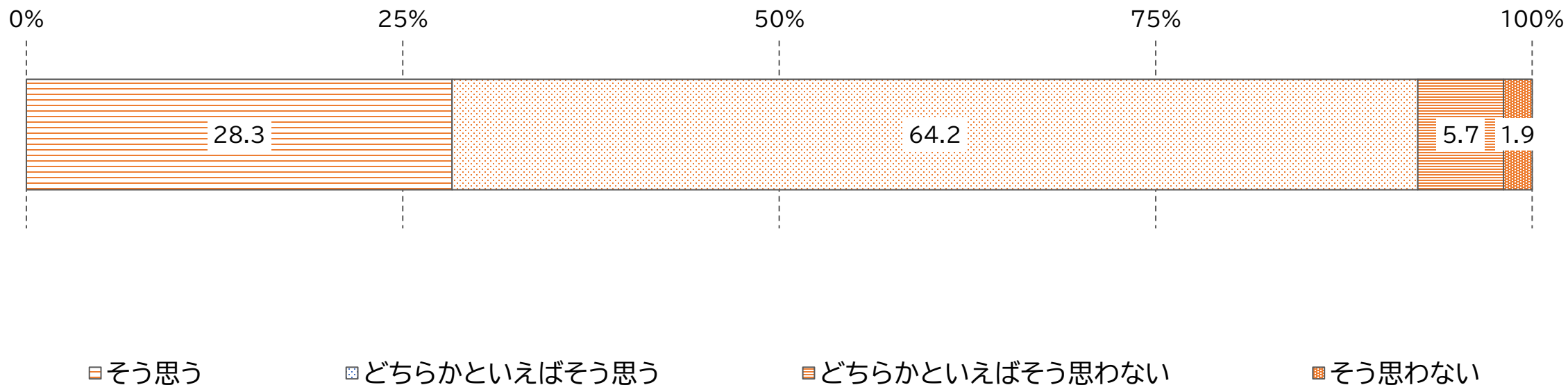
Q34.学校と産業界の議論の場2

Q34.学校と産業界が協力して、学校のカリキュラムを検討・改善する機会(単一選択式)



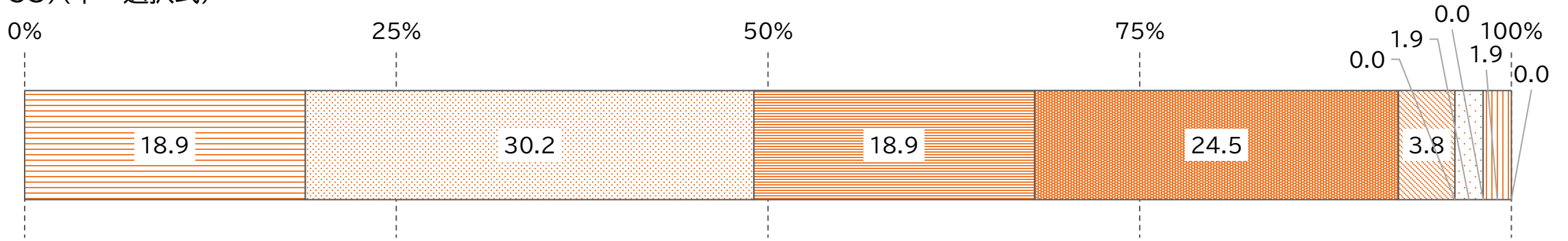
Q35.負担に見合う成果

Q35.貴校で行っている産学連携は、負担に見合った成果を得ていますか。(N=53)(単一選択式)



Q36. 継続推進のキーパーソン

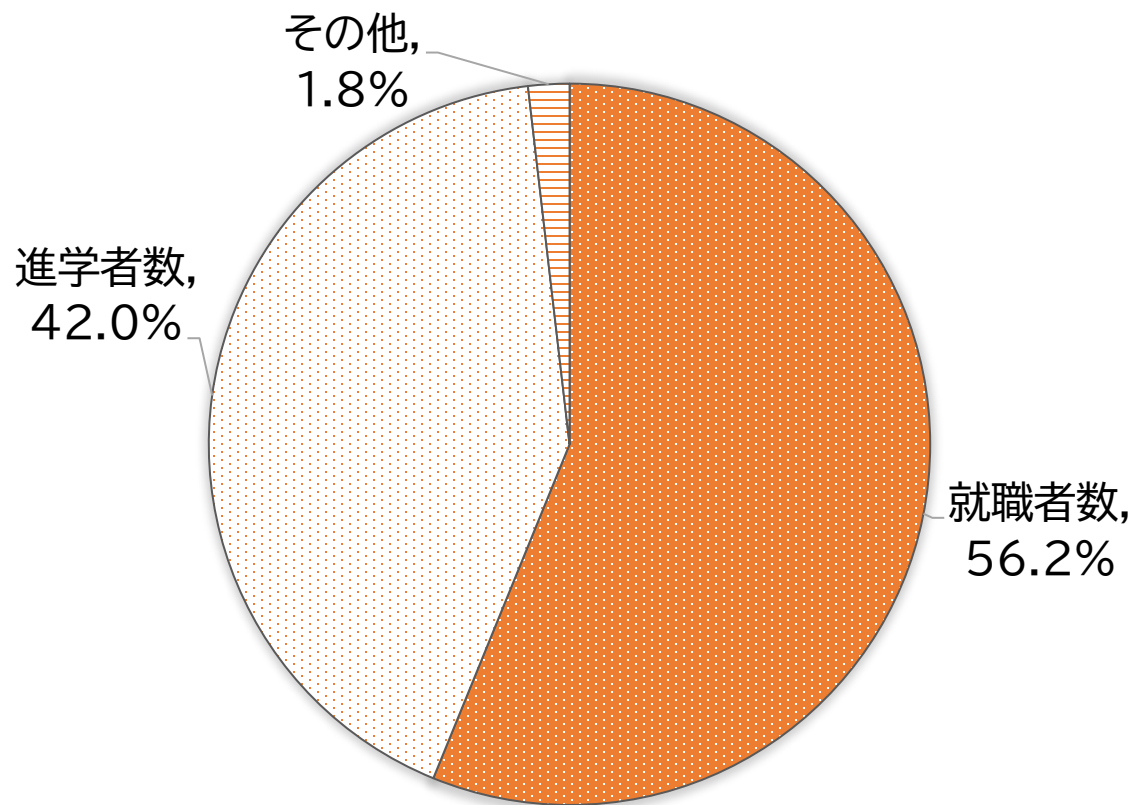
Q36. 貴校における産学連携を継続していくうえで、最も中心的な役割を果たしているのは誰ですか。
(N=53)(単一選択式)



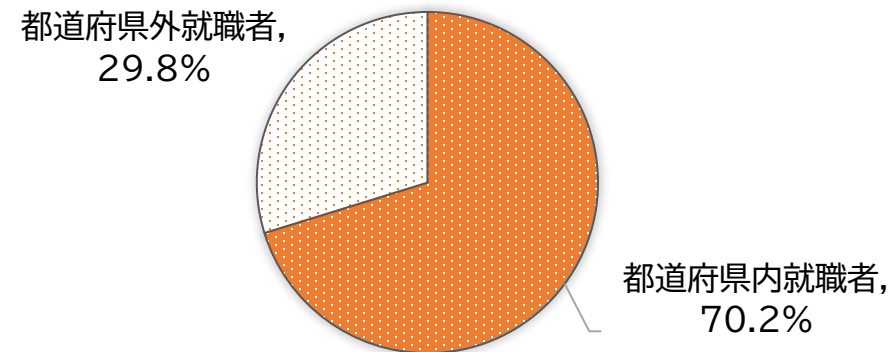
- 校内管理職
- 学科長
- 産学連携を担当する分掌(チーム)
- 産学連携を担当する教員(個人)
- ▨ コーディネーター
- 企業・団体の担当者
- 都道府県教育委員会の担当者
- ▨ 市町村教育委員会の担当者
- ▨ 産業振興系部局(自治体の産業労働部・商工観光課など)の担当者
- ▨ その他

Q37.進路

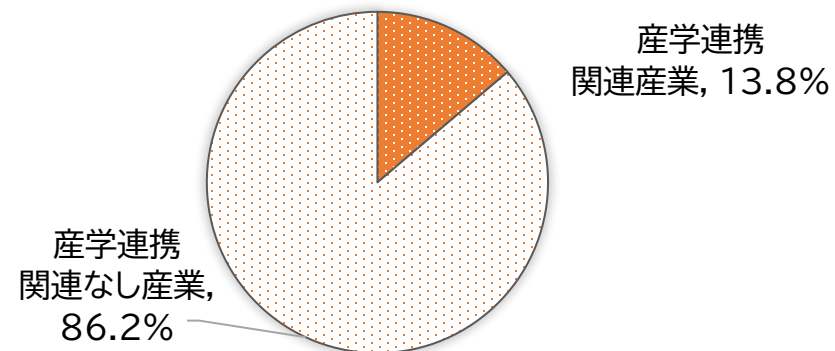
進路(卒業生数を分母とした、就職者数及び進学者数の割合)
(N(卒業生)=7,218, N(学校)=53)



都道府県内就職率
(就職者数を分母とした都道府県内就職者数の割合)
(n(就職者)=4,054, N(学校)=53)



産学連携の取組を行った関連産業への就職率
(就職者数を分母とした「産学連携の取組を行った関連産業への就職者数」の割合※)
(n(就職者)=985, n(学校)=16)



※「産学連携の取組を行った関連産業への就職者数」は任意回答。

相関行列

相関係数(絶対値0.2以上で着色)



		学校用アンケート																				
		Q3	Q10	Q15	Q19	Q20	Q21	Q22	Q23	Q24	Q25	Q26	Q27	Q28	Q29	Q30	Q31	Q32	Q33	Q34	Q35	
学校用アンケート	産学連携歴	Q3	1.00	0.25	-0.12	0.61	0.43	0.11	-0.06	0.14	0.15	0.23	0.06	0.33	0.21	0.22	-0.30	-0.58	-0.10	0.00	0.10	0.06
	産学連携に関わる企業・団体数	Q10	0.25	1.00	0.24	0.53	0.04	0.16	0.06	0.20	0.35	0.00	0.10	0.07	0.01	0.19	-0.07	-0.49	-0.01	-0.11	0.16	0.28
	産学連携の学校目標・ビジョンへの貢献度	Q15	-0.12	0.24	1.00	0.16	0.33	0.51	0.58	0.69	0.47	0.44	0.52	0.52	0.55	0.45	0.20	0.09	0.40	0.21	0.26	0.56
	基礎自治体との連携の深さ	Q19	0.61	0.53	0.16	1.00	0.36	0.29	0.14	0.14	0.28	-0.02	-0.10	0.19	0.01	0.06	0.06	-0.63	-0.18	-0.16	0.11	0.30
	基礎自治体からの資源提供	Q20	0.43	0.04	0.33	0.36	1.00	0.33	0.29	0.43	0.05	0.22	0.05	0.33	0.15	0.24	0.03	-0.11	0.20	0.24	0.06	0.13
	連携先の理解1	Q21	0.11	0.16	0.51	0.29	0.33	1.00	0.87	0.70	0.70	0.62	0.56	0.55	0.52	0.45	0.30	0.38	0.65	0.39	0.41	0.74
	連携先の理解2	Q22	-0.06	0.06	0.58	0.14	0.29	0.87	1.00	0.66	0.51	0.44	0.46	0.40	0.38	0.66	0.23	0.43	0.53	0.26	0.44	0.64
	連携先からの理解	Q23	0.14	0.20	0.69	0.14	0.43	0.70	0.66	1.00	0.71	0.49	0.82	0.49	0.40	0.56	0.01	0.18	0.74	0.54	0.17	0.77
	課題感の反映	Q24	0.15	0.35	0.47	0.28	0.05	0.70	0.51	0.71	1.00	0.57	0.67	0.29	0.31	0.21	0.13	0.14	0.51	0.29	0.27	0.75
	共通ビジョンの検討	Q25	0.23	0.00	0.44	-0.02	0.22	0.62	0.44	0.49	0.57	1.00	0.61	0.44	0.62	0.29	0.33	0.32	0.57	0.48	0.46	0.44
	企業の貢献度	Q26	0.06	0.10	0.52	-0.10	0.05	0.56	0.46	0.82	0.67	0.61	1.00	0.46	0.46	0.42	-0.07	0.24	0.70	0.62	0.10	0.72
	継続性(学校側)	Q27	0.33	0.07	0.52	0.19	0.33	0.55	0.40	0.49	0.29	0.44	0.46	1.00	0.85	0.42	-0.05	0.10	0.40	0.30	0.16	0.38
	継続性(連携先側)	Q28	0.21	0.01	0.55	0.01	0.15	0.52	0.38	0.40	0.31	0.62	0.46	0.85	1.00	0.39	0.12	0.26	0.40	0.28	0.11	0.41
	産学関係の深まり	Q29	0.22	0.19	0.45	0.06	0.24	0.45	0.66	0.56	0.21	0.29	0.42	0.42	0.39	1.00	0.09	0.17	0.50	0.30	0.36	0.44
	産業界との連携の必要性検討	Q30	-0.30	-0.07	0.20	0.06	0.03	0.30	0.23	0.01	0.13	0.33	-0.07	-0.05	0.12	0.09	1.00	0.48	0.37	0.33	0.46	0.26
	課題の産業界への共有	Q31	-0.58	-0.49	0.09	-0.63	-0.11	0.38	0.43	0.18	0.14	0.32	0.24	0.10	0.26	0.17	0.48	1.00	0.58	0.50	0.13	0.19
産業界の目的や必要性の理解	Q32	-0.10	-0.01	0.40	-0.18	0.20	0.65	0.53	0.74	0.51	0.57	0.70	0.40	0.40	0.50	0.37	0.58	1.00	0.77	0.26	0.52	
学校と産業界の議論の場1	Q33	0.00	-0.11	0.21	-0.16	0.24	0.39	0.26	0.54	0.29	0.48	0.62	0.30	0.28	0.30	0.33	0.50	0.77	1.00	0.11	0.40	
学校と産業界の議論の場2	Q34	0.10	0.16	0.26	0.11	0.06	0.41	0.44	0.17	0.27	0.46	0.10	0.16	0.11	0.36	0.46	0.13	0.26	0.11	1.00	0.17	
負担度合い	Q35	0.06	0.28	0.56	0.30	0.13	0.74	0.64	0.77	0.75	0.44	0.72	0.38	0.41	0.44	0.26	0.19	0.52	0.40	0.17	1.00	

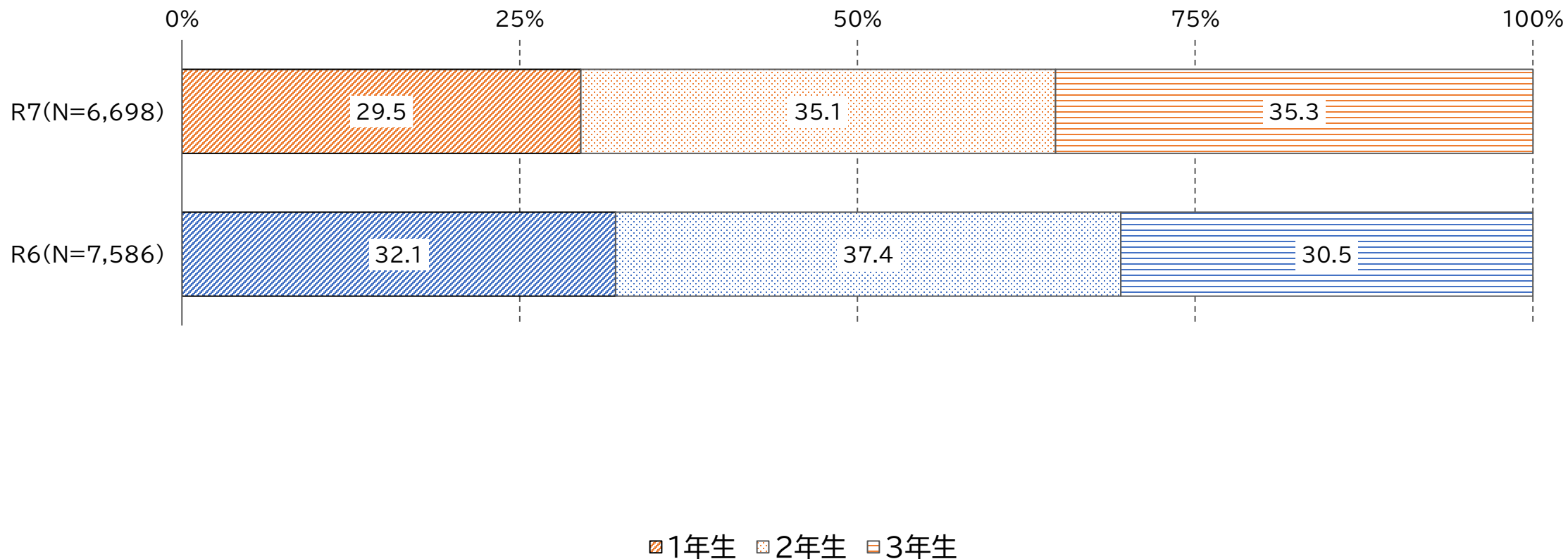
※いずれもポリコリック相関係数として算出。

※黄色:成果に相当する項目

2.生徒用アンケート

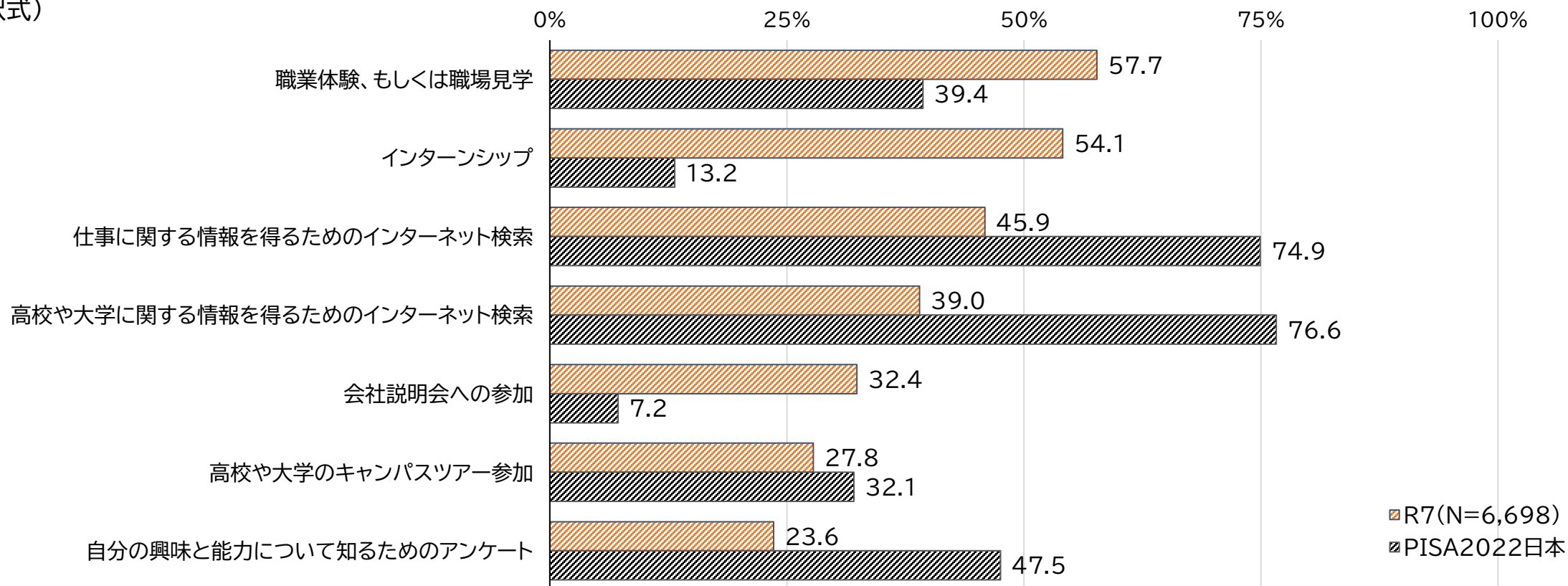
Q3.学年

Q3.学年を選んでください。(単一選択式)



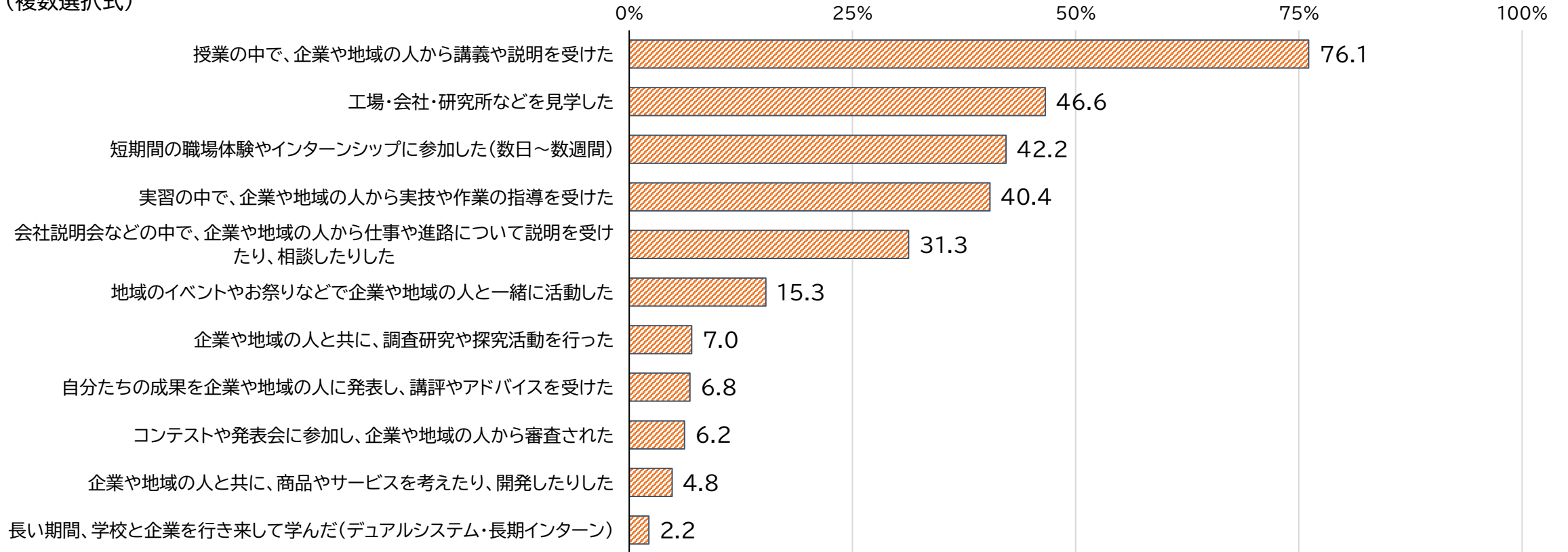
Q4.将来の進路に関する情報

Q4.あなたは、将来の勉強や仕事の種類について知るために、次のようなことをしたことはありますか。(N=6,565)
(複数選択式)



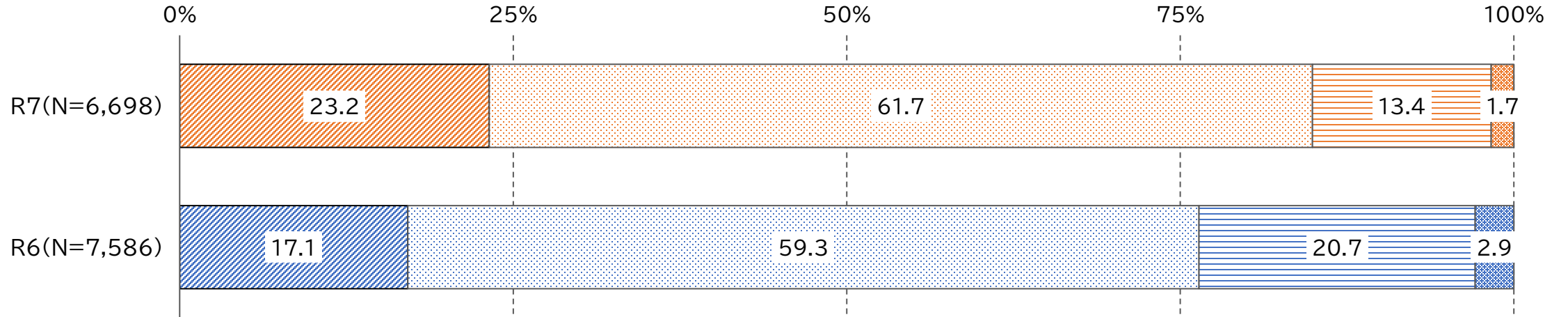
Q5.産学連携の取組種別(生徒版)

Q5.今年度、あなたが経験したことについて教えてください。当てはまるものを全て選択してください。(N=6,352)
(複数選択式)



Q6.産学連携の取組頻度(授業・実習)

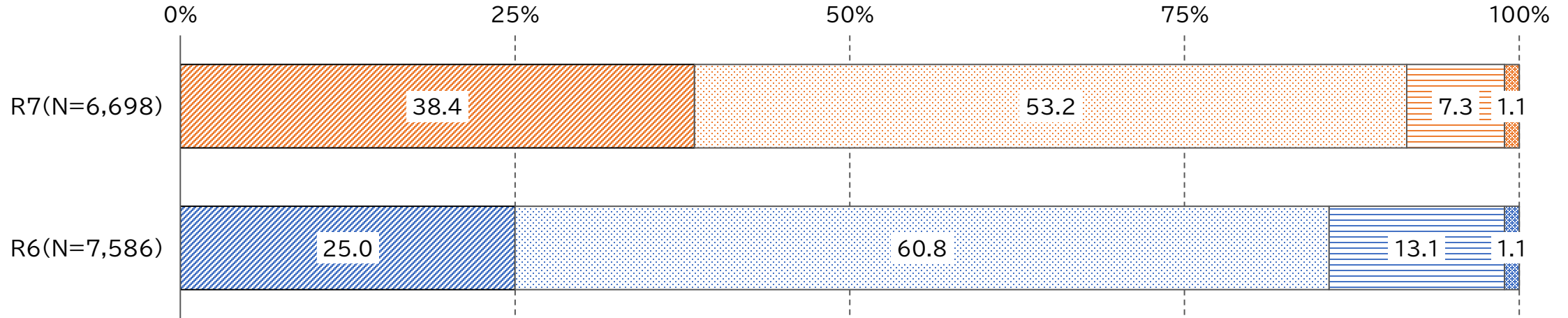
Q6.今年度、学校での授業や実習の中で、企業や地域の方が講義をしたり、手伝ったりしたことは、どれぐらいありましたか。(単一選択式)



■ 一度もない ■ 月1回未満 ■ 月1回から週1回の間 ■ 週1回以上

Q7.産学連携の取組頻度(学校行事・イベント)

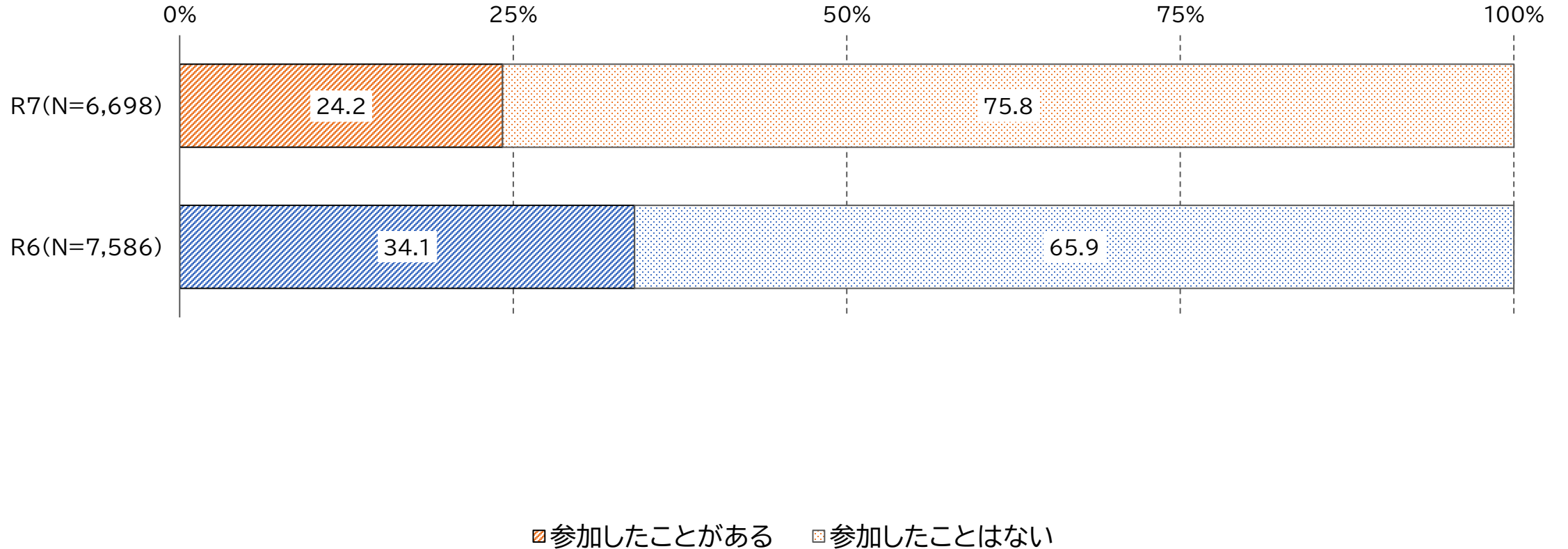
Q7.今年度、学校行事やイベント(授業や実習以外)で、企業や地域の人と話をしたり一緒に活動したりしたことは、どれぐらいありましたか。(単一選択式)



■ 一度もない ■ 月1回未満 ■ 月1回から週1回の間 ■ 週1回以上

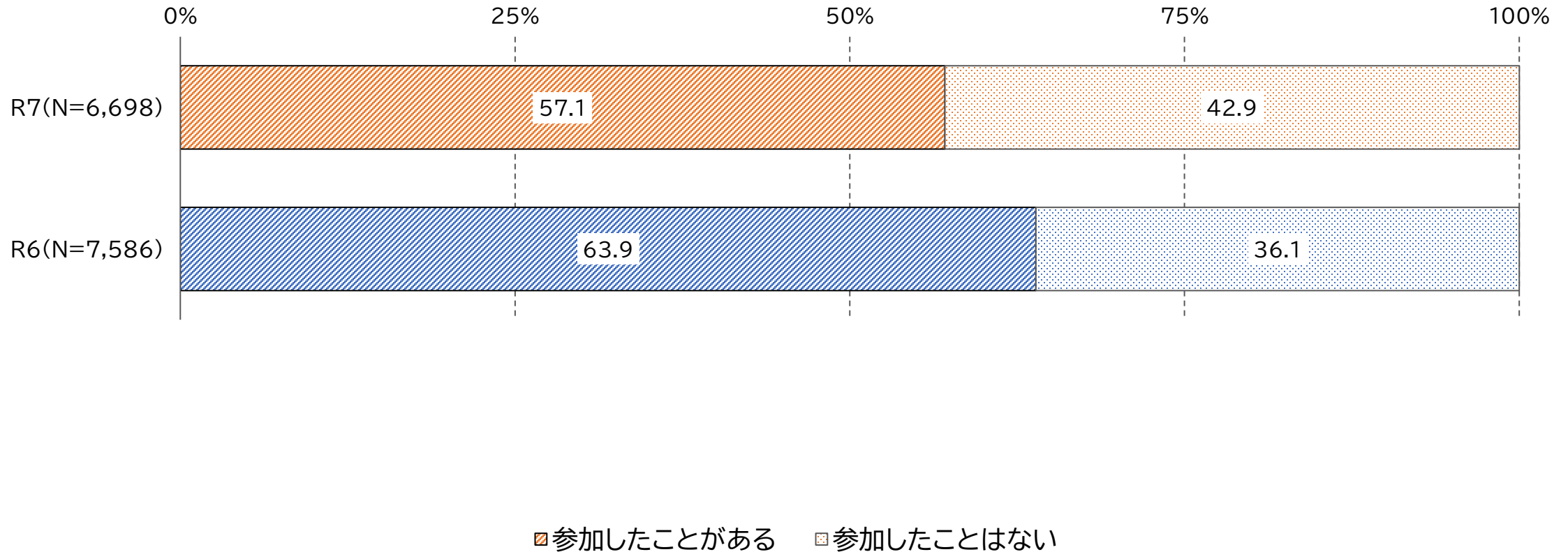
Q8.産学連携の経験(課題研究やグループワーク)

Q8.今年度、企業や地域の人に関わっている課題研究やグループワークに参加した経験はありますか。
(単一選択式)



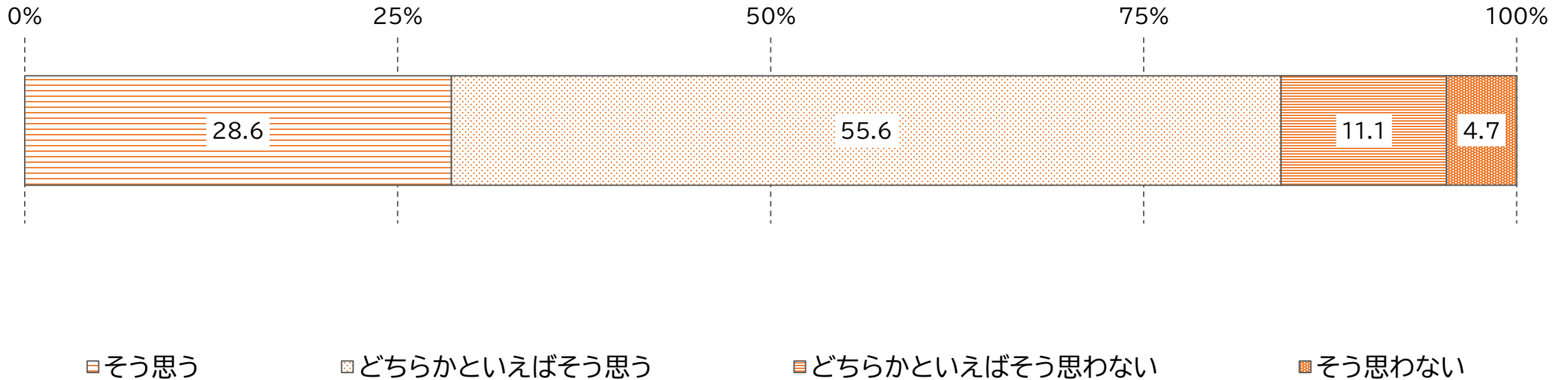
Q9.産学連携の経験(企業見学・インターンシップ等)

Q9.今年度、企業や地域の施設を訪問する活動(見学やインターンシップなど)に参加した経験はありますか。
(単一選択式)



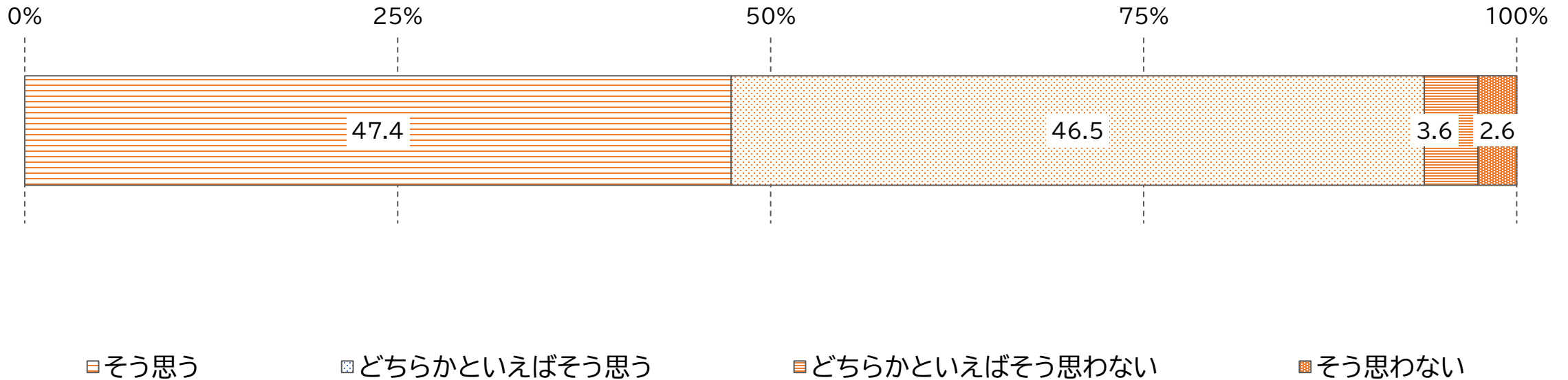
Q10.産学連携の評価

Q10.企業や地域の人提供した学びの機会(授業・実習・イベント等)は、自分の興味関心に合っていましたか。
(N=6,698)(単一選択式)



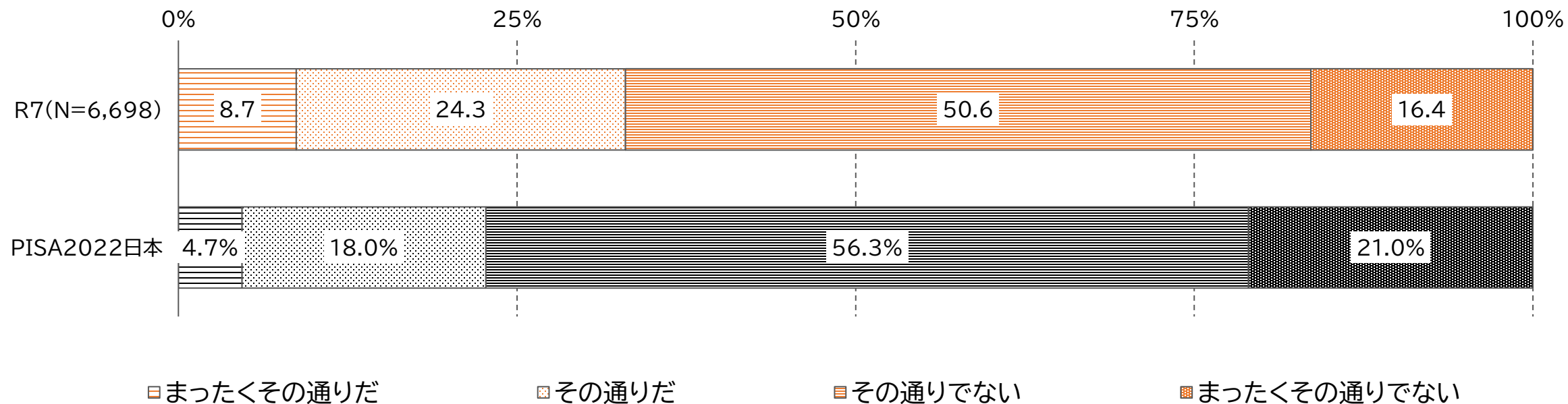
Q11.産学連携の評価

Q11.企業や地域の人提供した学びの機会(授業・実習・イベント等)からは、大人たちの熱意が伝わってきましたか。
(N=6,698)(単一選択式)



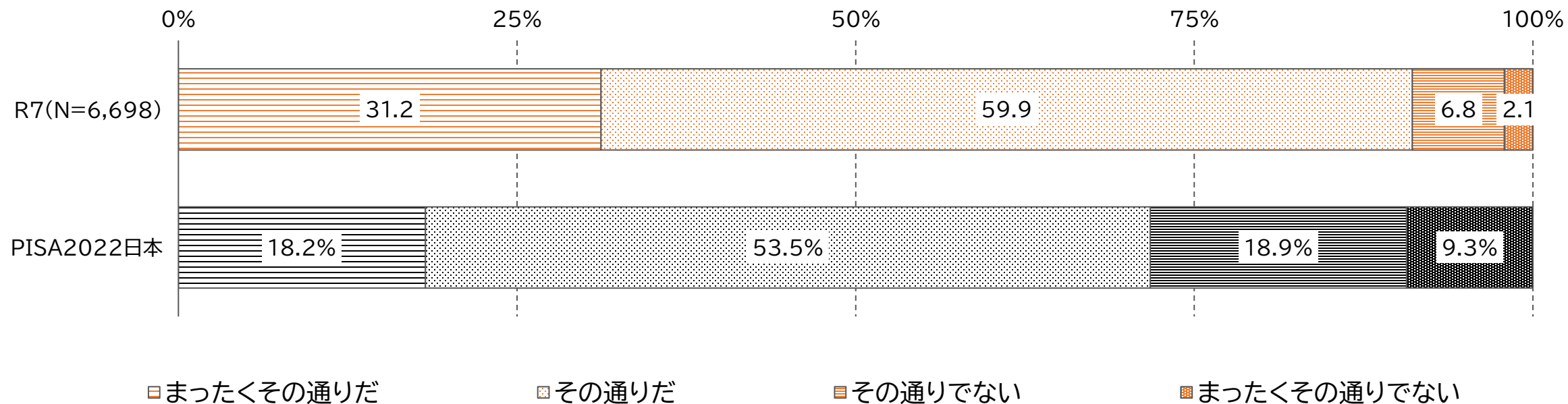
Q12.将来の進路に関する見通し(逆転項目)

Q12.学校を出た後の社会人としての生き方については、あまり教わらなかった。(N=6,698)(単一選択式)



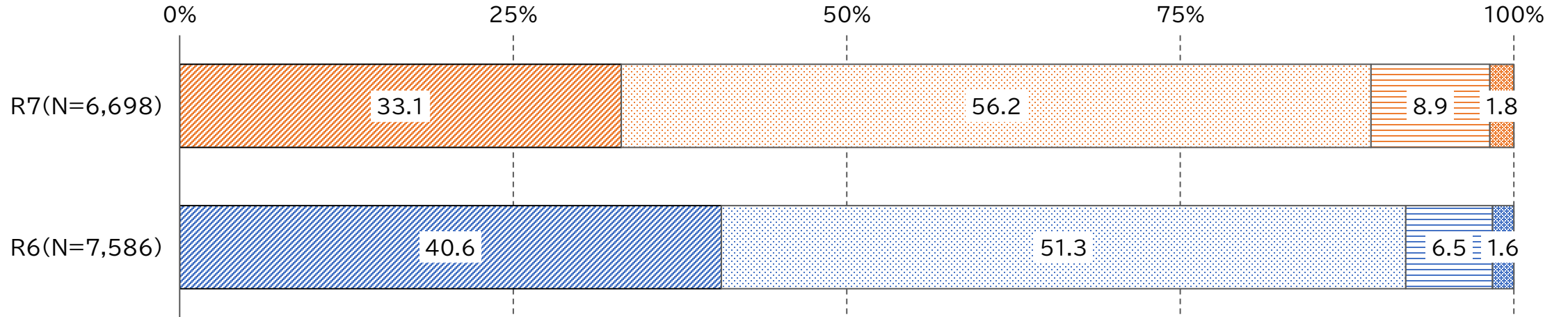
Q13.将来の進路に関する見通し

Q13.学校は、仕事に役立つことを教えてくれた。(N=6,698)(単一選択式)



Q14.知識・技術を学ぶ意欲

Q14.授業で学んでいる知識や技術について、もっと知りたいと思った。(単一選択式)

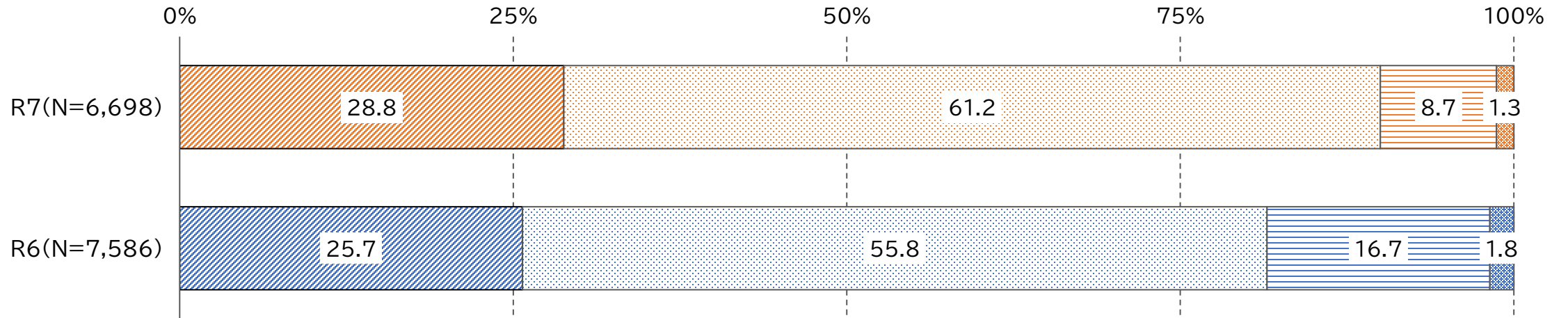


■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

※R6は「授業で学んでいる知識や技術について、もっと知りたいと思う」。

Q15.知識・技術の理解

Q15.仕事や社会の中で使われている知識や技術について、理解できた。(単一選択式)

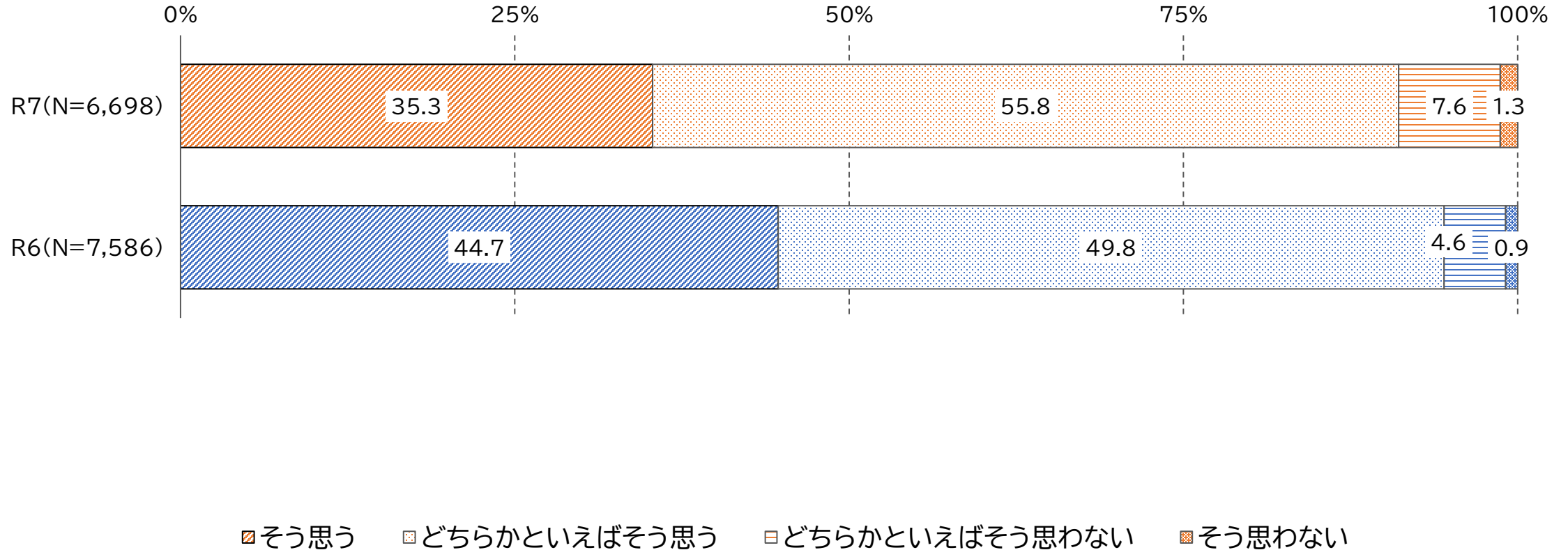


■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

※R6は「仕事や社会の中で使われている知識や技術について、理解していると思う」。

Q16.知識・技術の活用意欲

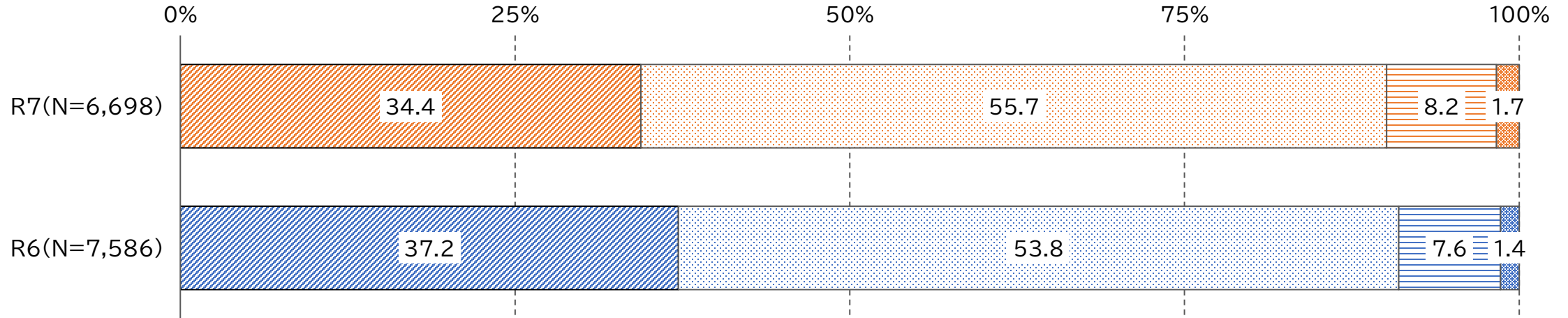
Q16.仕事や社会で使われている知識や技術を、普段の生活の中で役立てたいと思った。(単一選択式)



※R6は「仕事や社会で使われている知識や技術を、普段の生活の中で役立てたいと思う」。

Q17.知識・技術と実社会の関連付け

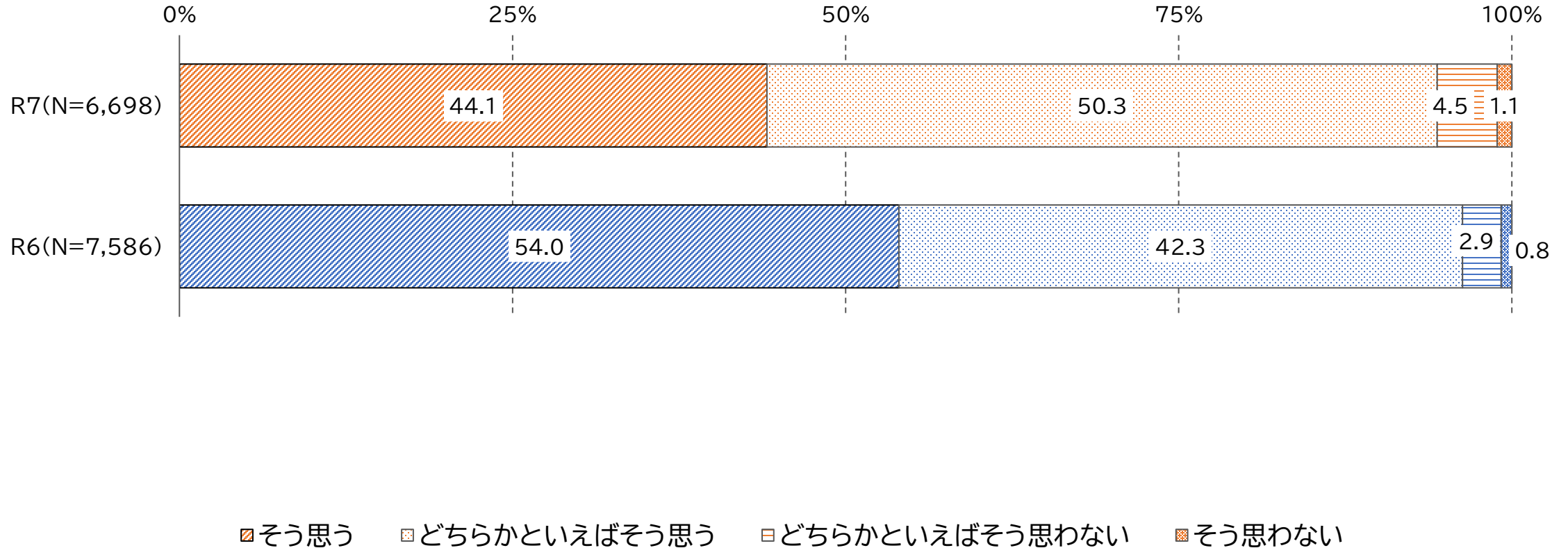
Q17.仕事や社会の中で使われている知識や技術を学ぶことで、学校の授業がなぜ大切か分かった。(単一選択)



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

Q18.知識・技術とキャリアの関連付け

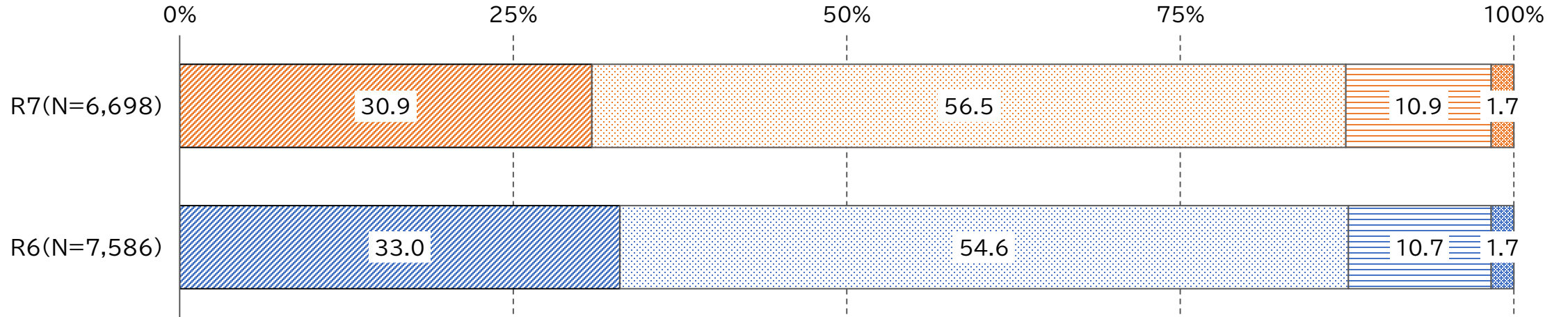
Q18.企業や地域の人から学ぶことは、将来の進路を考えるのに役立つと思った。(単一選択式)



※R6は「企業や地域の人から学ぶことは、将来の進路を考えるのに役立つと思う」。

Q19.地元企業の理解

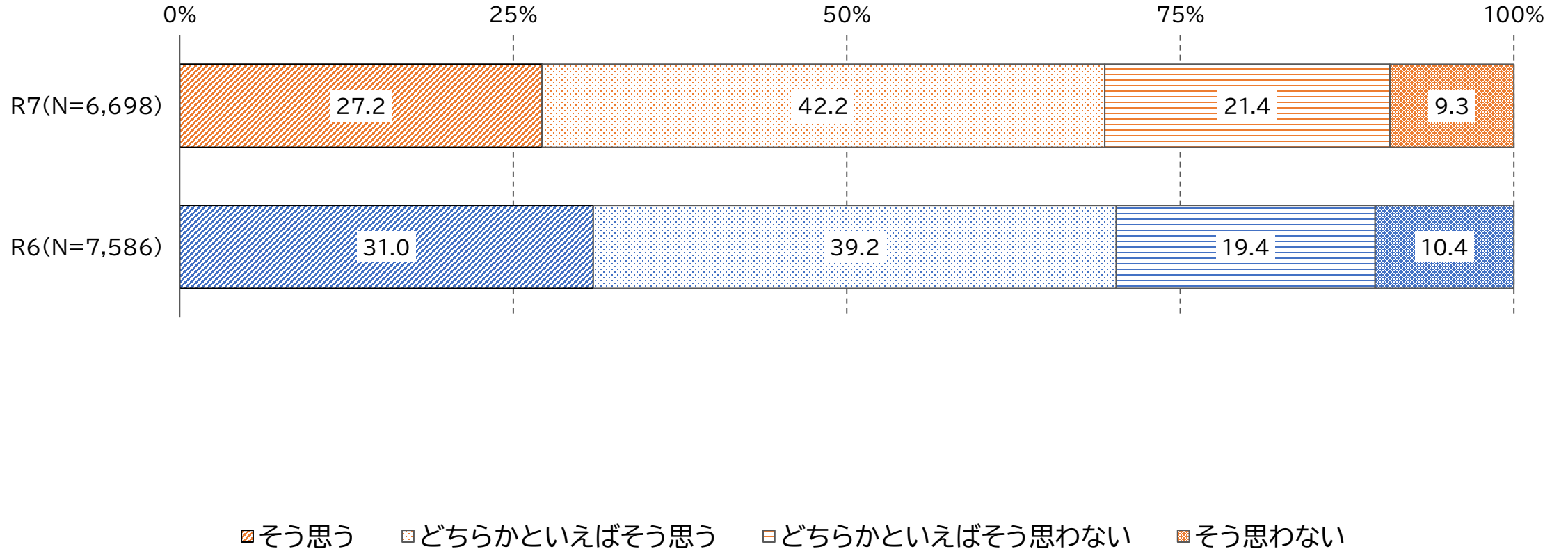
Q19.地域の企業や産業について、進路を考えるための情報を十分に知ることができた。(単一選択式)



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

Q20.地元就職への意欲

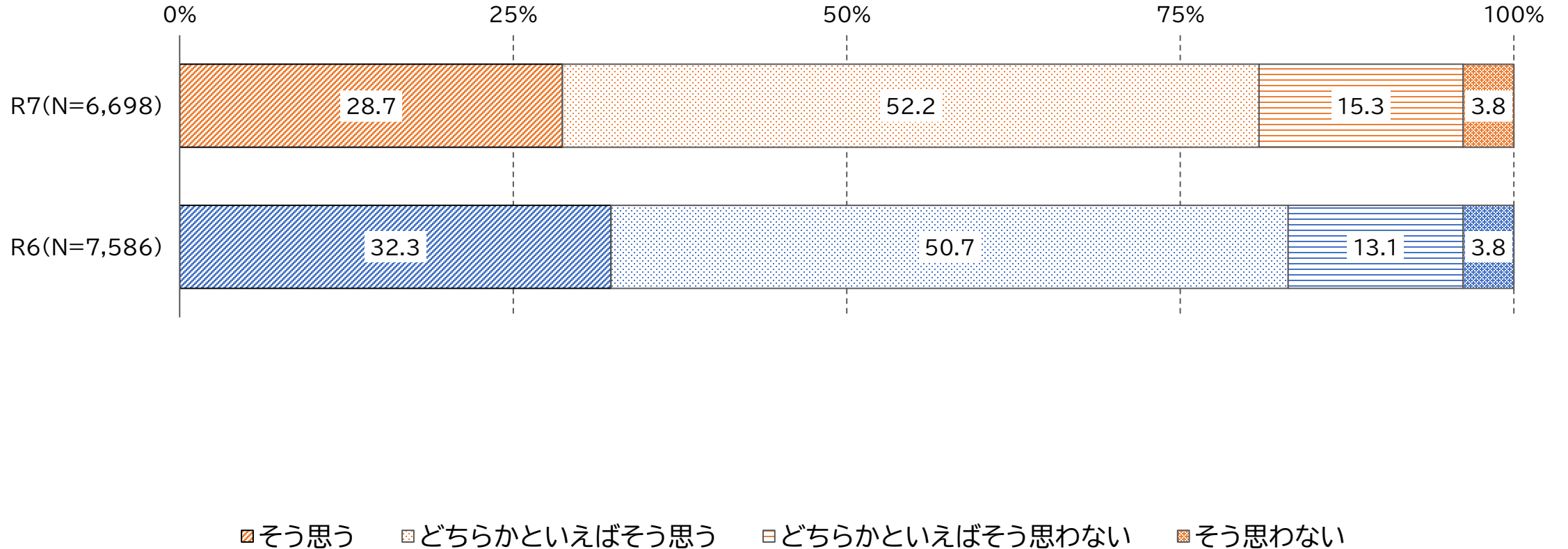
Q20.地元の企業に就職したいと思った(進学する場合は卒業後に)。(単一選択式)



※R6は「地元の企業に就職したいと思う(進学する場合は卒業後に)」。

Q21.地元貢献への意欲

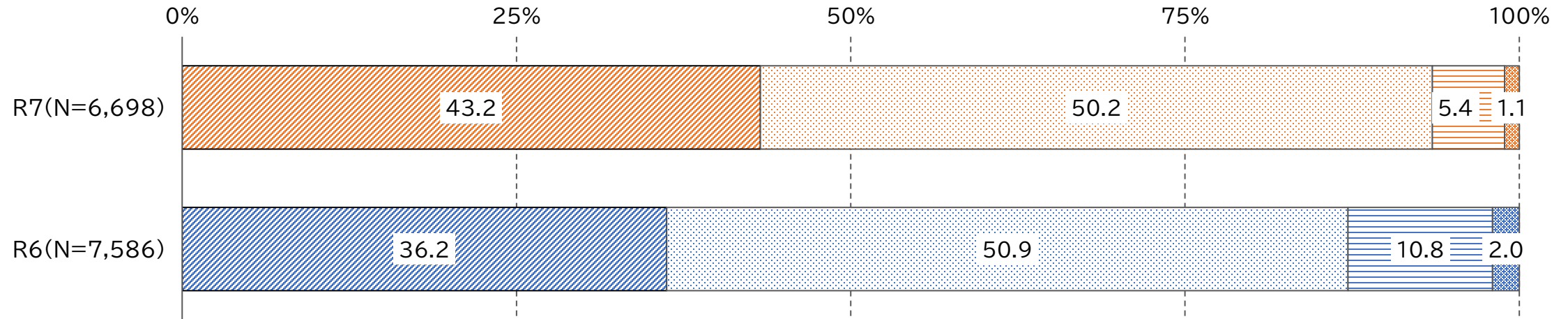
Q21.地元の発展に貢献したいと思った。(単一選択式)



※R6は「地元の発展に貢献したいと思う」。

Q22.将来の目標

Q22.将来の目標を考え、それを実現するために努力したいと思った。(単一選択式)

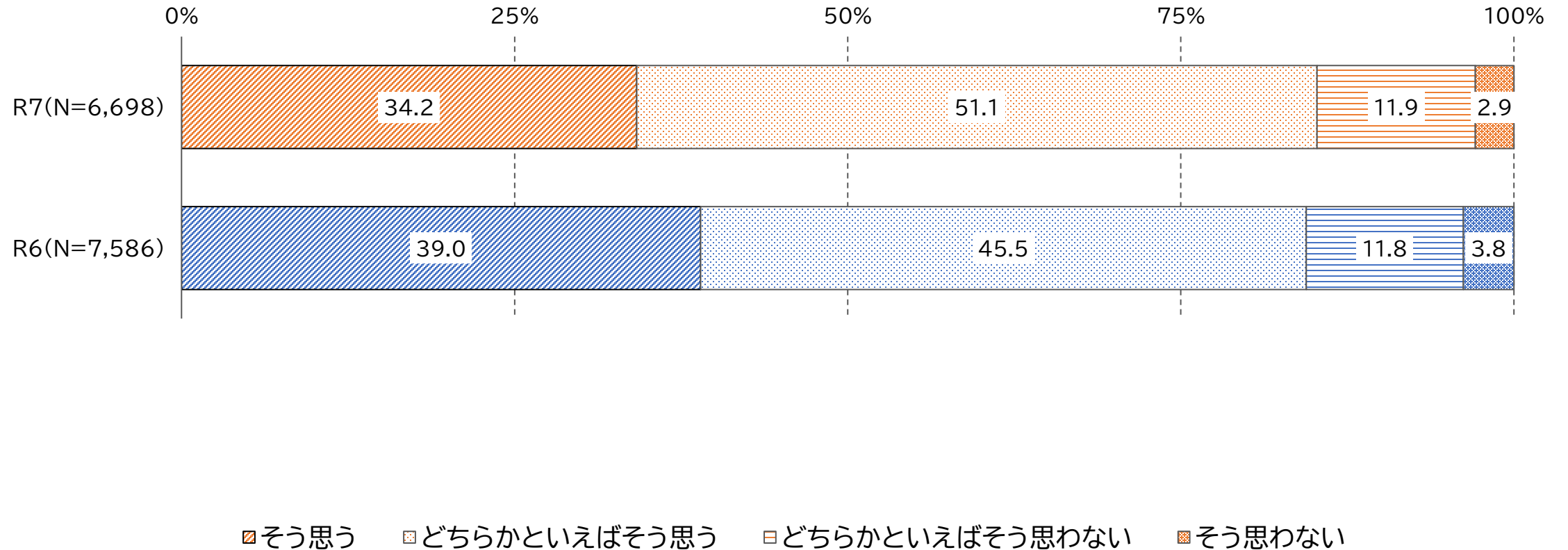


■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

※R6は「将来の目標を考え、それを実現するために努力している」。

Q23.将来の展望

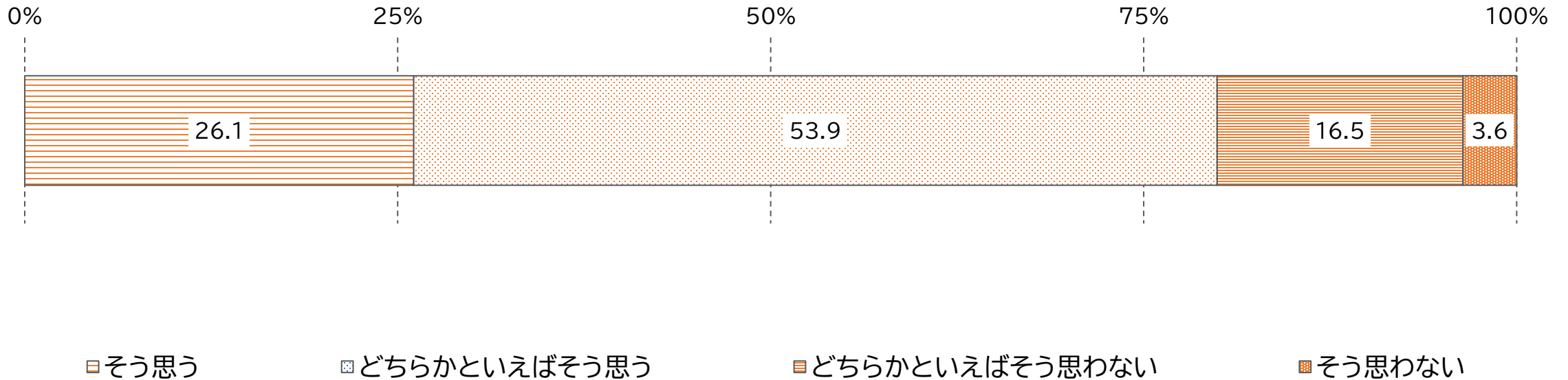
Q23.将来に対して希望を持たた。(単一選択式)



※R6は「将来に対して希望を持っている」。

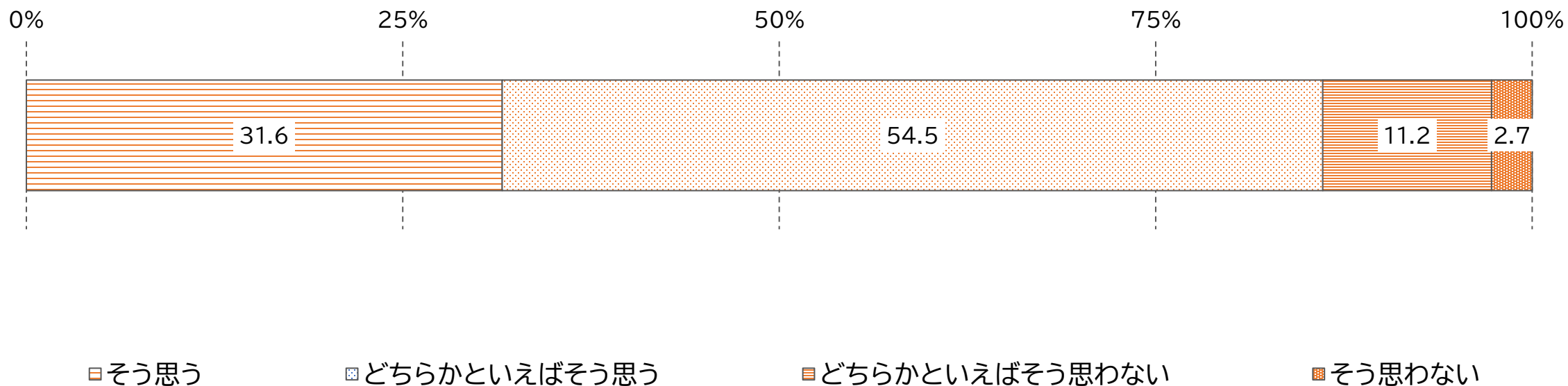
Q24.内発的動機付け

Q24.もっと地域の活性化について考える授業を受けたいと思った。(N=6,698)(単一選択式)



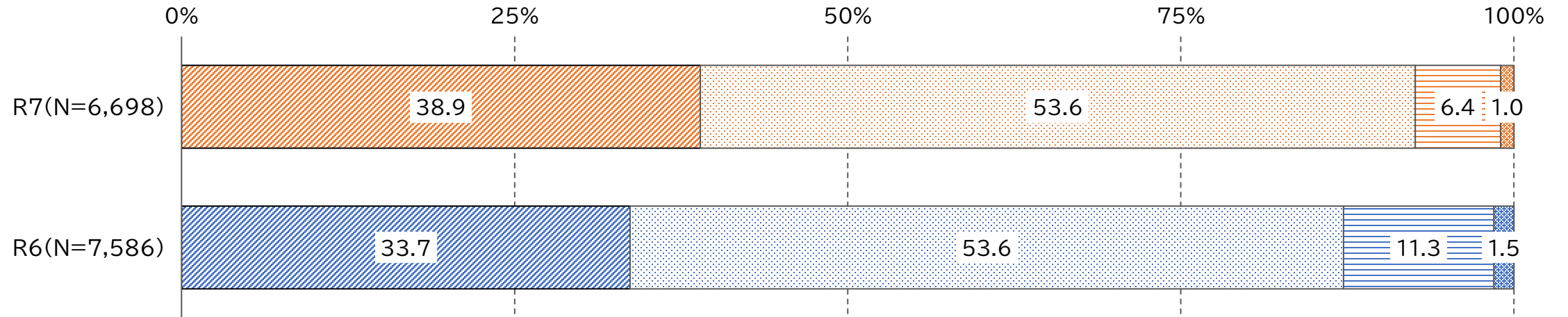
Q25.内発的動機付け

Q25.もっと企業や地域の人話を聞きたいと思った。(N=6,698)(単一選択式)



Q26.主体性

Q26.やるべきことに対して、積極的に取り組むことができた。(単一選択式)

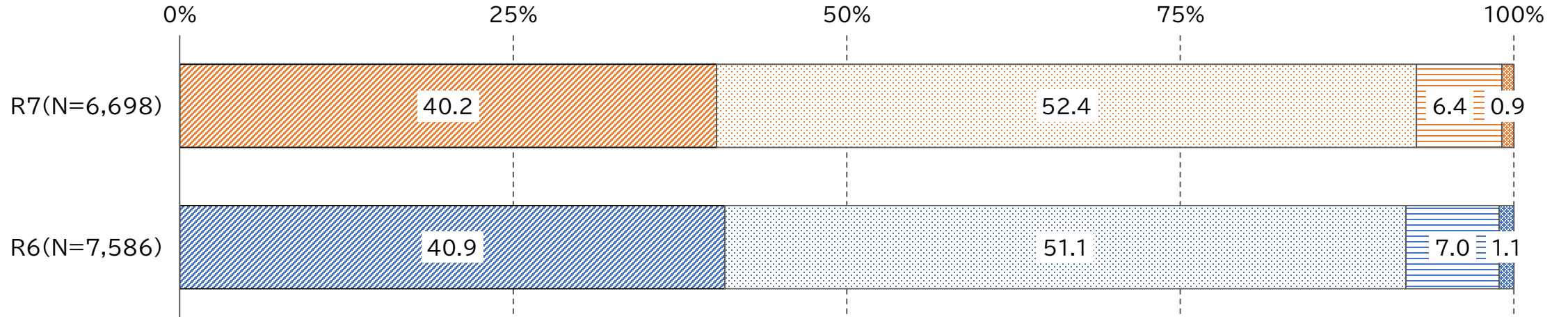


■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

※R6は「やるべきことに対して、積極的に取り組むことができる」。

Q27.働きかけ力

Q27.目標を達成するために、周りの人の力を借りながら取り組むことができた。(単一選択式)

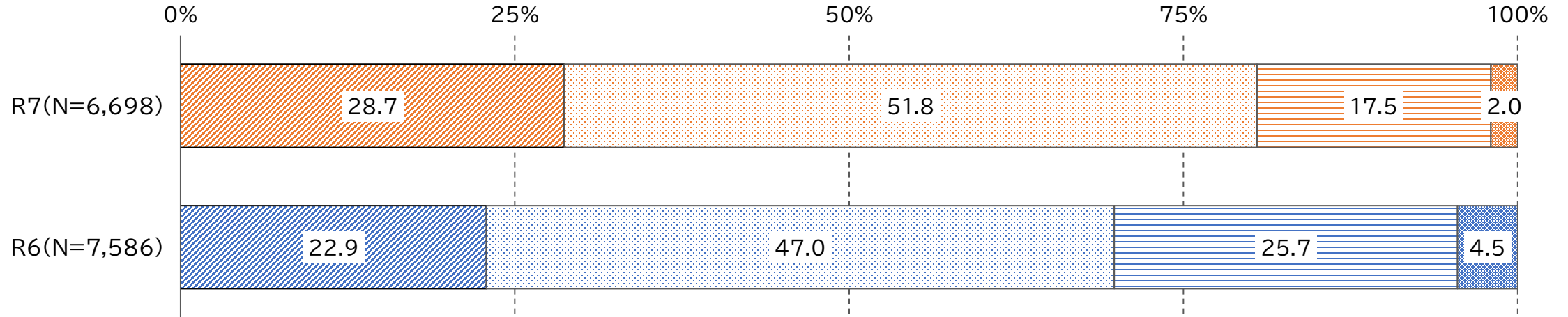


■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

※R6は「目標を達成するために、周りの人の力を借りながら取り組むことができる」。

Q28.実行力

Q28.失敗を恐れず、行動に移すことができた。(単一選択式)

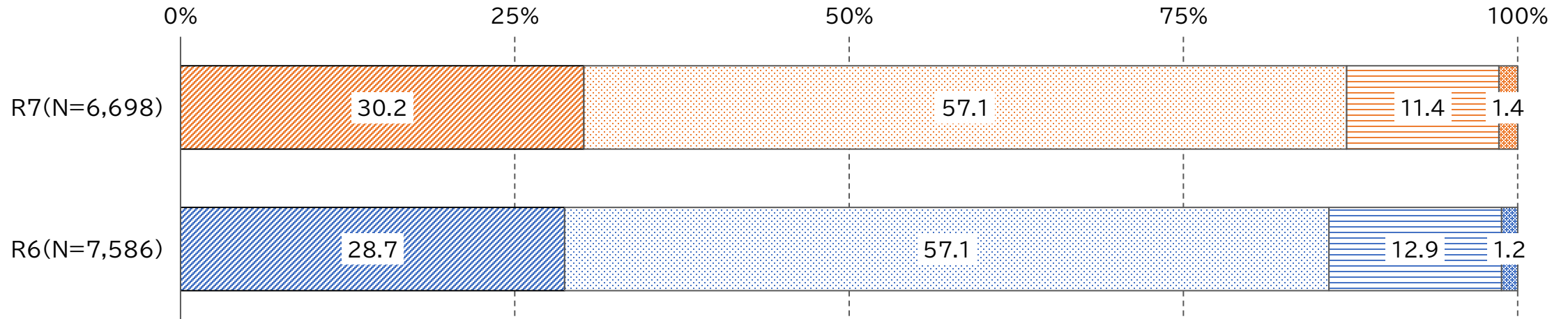


■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

※R6は「失敗を恐れず、行動に移すことができる」。

Q29.課題発見力

Q29.目標を達成するために、解決すべき問題を見つけることができた。(単一選択式)

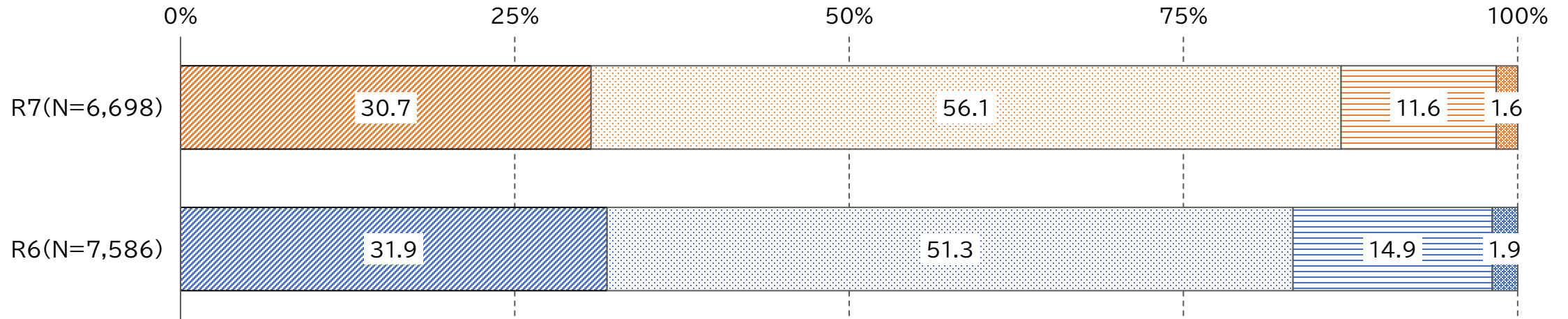


■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

※R6は「目標を達成するために、解決すべき問題を見つけることができる」。

Q30.計画力

Q30.何かの課題に取り組むとき、必要な手順について優先順位を決められた。(単一選択式)

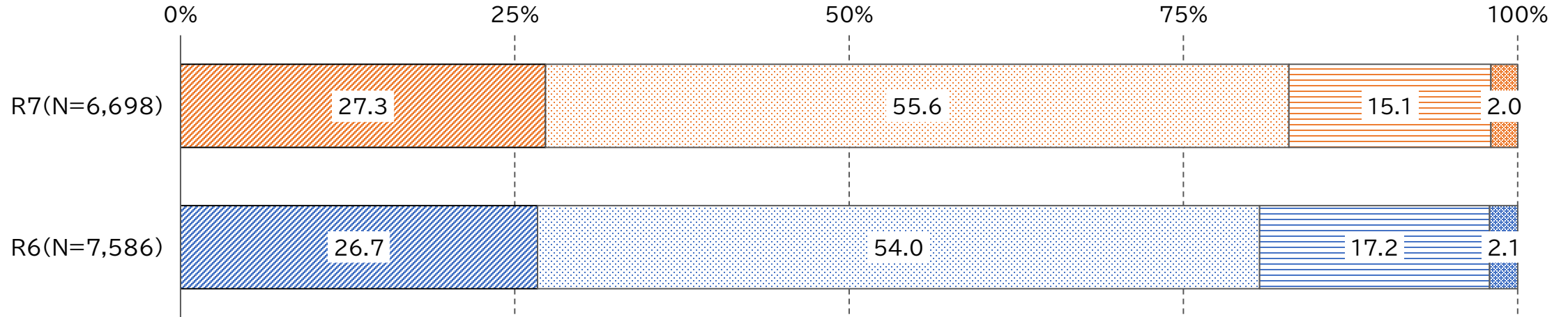


■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

※R6は「何かの課題に取り組むとき、必要な手順について優先順位を決められる」。

Q31.創造力

Q31.何かの課題に取り組むとき、解決策の選択肢をいくつか挙げて検討することができた。(単一選択式)

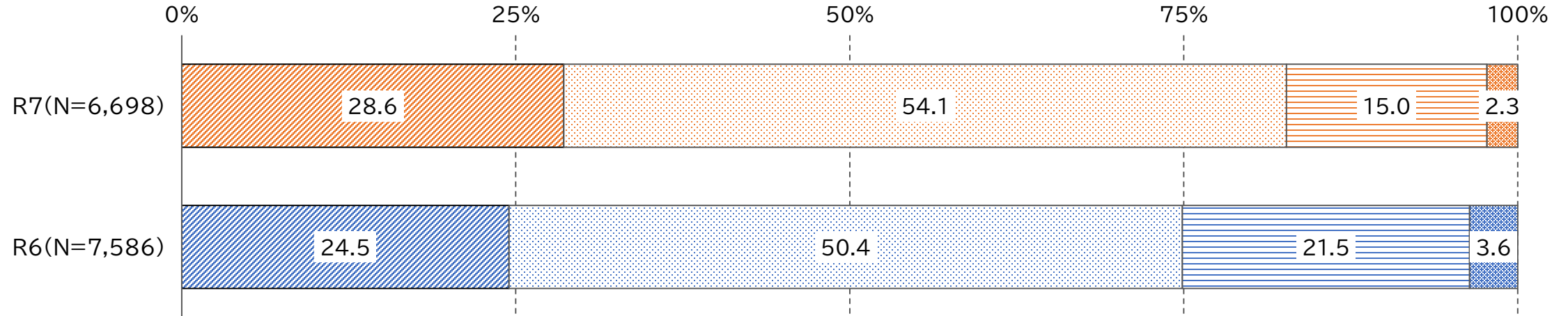


■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

※R6は「何かの課題に取り組むとき、解決策の選択肢をいくつか挙げて検討することができる」。

Q32.発信力

Q32.話し相手に対して、自分の意見を分かりやすく伝えることができた。(単一選択式)

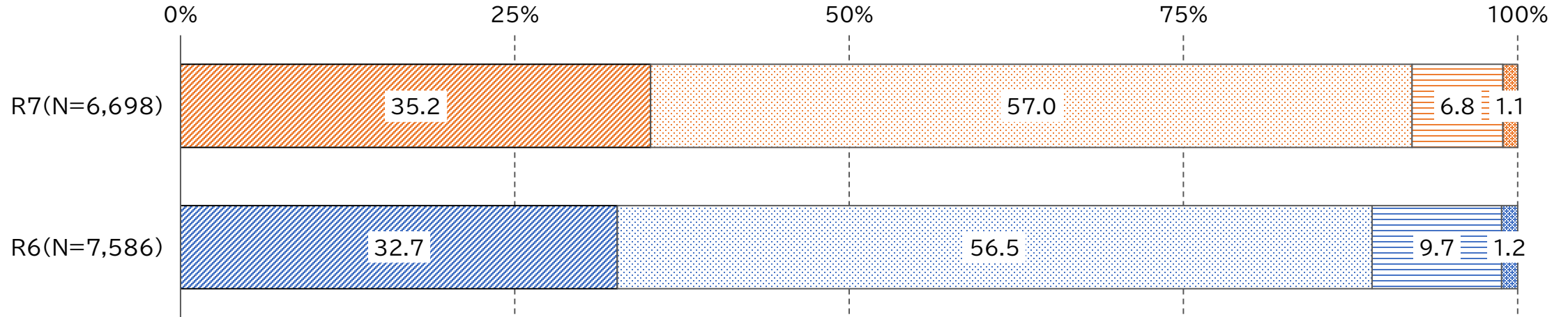


■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

※R6は「話し相手に対して、自分の意見を分かりやすく伝えることができる」。

Q33.傾聴力

Q33.話し相手の意見や主張を正確に聞き取ることができた。(単一選択式)

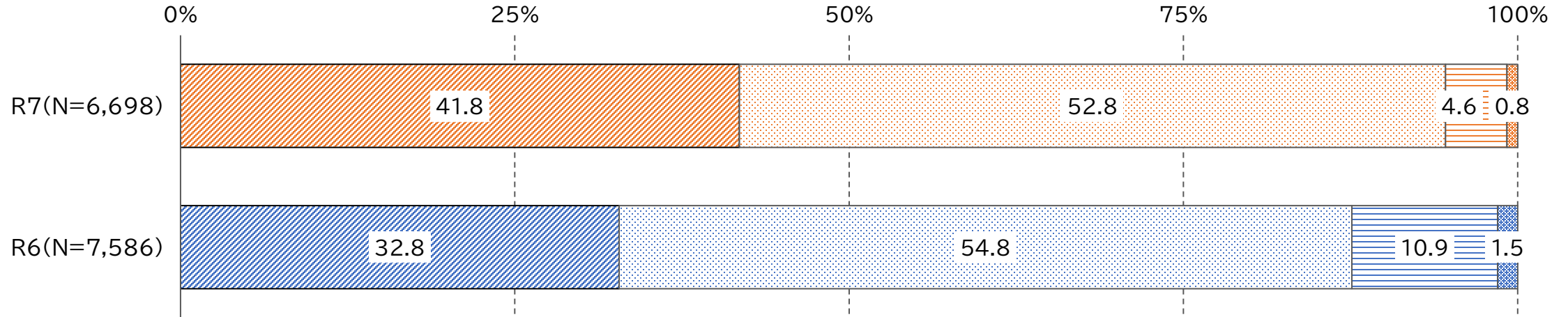


■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

※R6は「話し相手の意見や主張を正確に聞き取ることができる」。

Q34.柔軟性

Q34.相手の立場や意見を尊重することができた。(単一選択式)

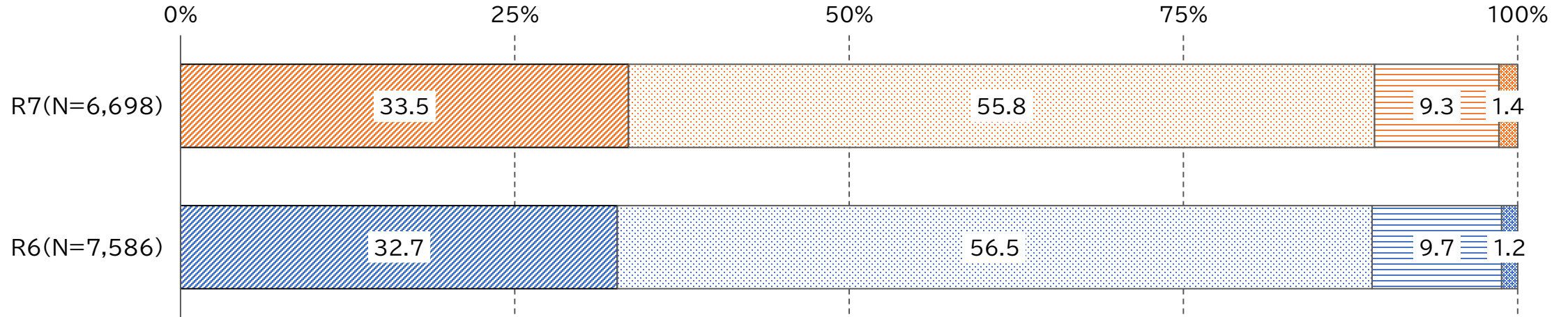


■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

※R6は「相手の立場や意見を尊重することができる」。

Q35. 状況把握力

Q35. グループで活動するとき、何をすればよいか、自分の役割を理解できた。(単一選択式)

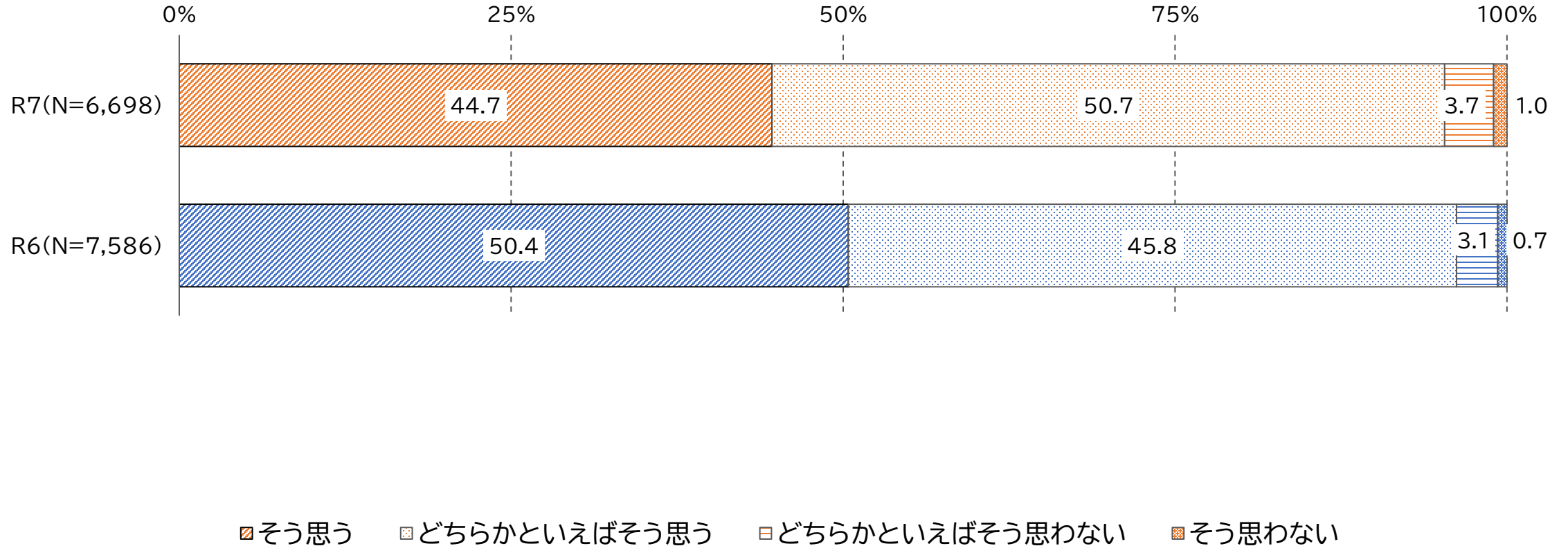


■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

※R6は「グループで活動するとき、何をすればよいか、自分の役割を理解できる」。

Q36.規律性

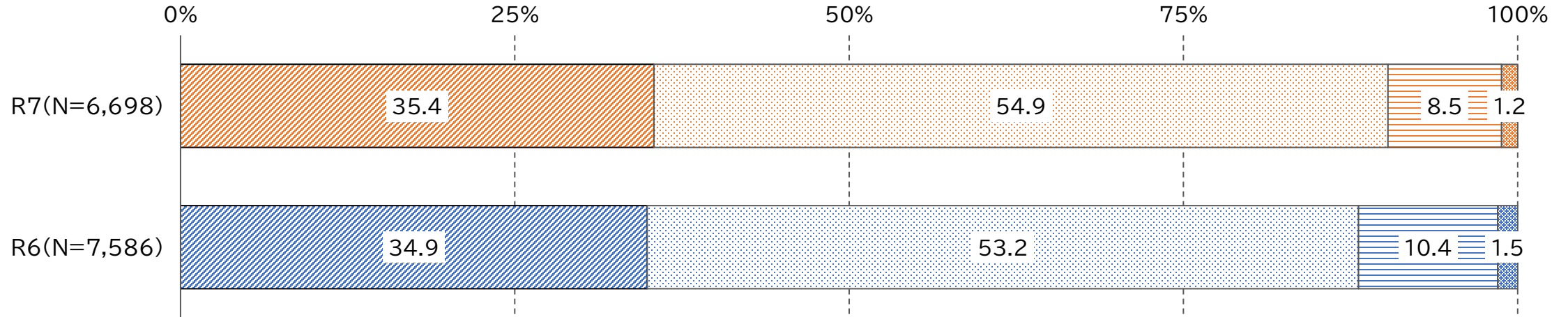
Q36. 集団や社会生活の規則やルールを守ることができた。(単一選択式)



※R6は「集団や社会生活の規則やルールを守ることができる」。

Q37.ストレスコントロール力

Q37.困難な問題に直面しても、諦めずに前向きに取り組むことができた。(単一選択式)

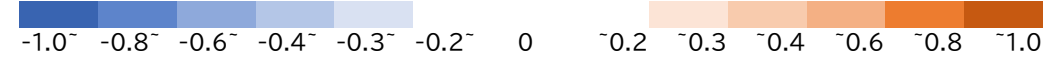


■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

※R6は「困難な問題に直面しても、諦めずに前向きに取り組もうとすることができる」。

相関行列

相関係数(絶対値0.2以上で着色)



		生徒用アンケート																																		
		Q3	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15	Q16	Q17	Q18	Q19	Q20	Q21	Q22	Q23	Q24	Q25	Q26	Q27	Q28	Q29	Q30	Q31	Q32	Q33	Q34	Q35	Q36	Q37		
生徒用アンケート	学年	Q3	1.00	0.05	0.06	0.26	0.24	0.11	0.04	0.02	0.01	0.00	0.09	0.07	0.03	0.01	0.13	0.14	0.13	0.09	0.11	0.07	0.02	0.12	0.13	0.14	0.14	0.13	0.15	0.13	0.09	0.09	0.13	0.07	0.14	
	産学連携の取組頻度(授業・実習)	Q6	0.05	1.00	0.47	0.24	0.20	0.16	0.21	0.11	0.10	0.11	0.12	0.09	0.09	0.14	0.10	0.01	0.06	0.12	0.09	0.07	0.10	0.12	0.13	0.06	0.10	0.06	0.07	0.07	0.11	0.14	0.10	0.13	0.07	
	産学連携の取組頻度(学校行事・イベント)	Q7	0.06	0.47	1.00	0.28	0.19	0.16	0.15	0.00	0.10	0.12	0.14	0.13	0.13	0.16	0.11	0.15	0.12	0.13	0.17	0.16	0.13	0.12	0.14	0.14	0.12	0.16	0.13	0.15	0.11	0.14	0.09	0.14		
	産学連携の経験(課題研究やグループワーク)	Q8	0.26	0.24	0.28	1.00	0.31	0.24	0.20	-0.06	0.12	0.13	0.19	0.16	0.12	0.10	0.16	0.14	0.19	0.15	0.15	0.19	0.16	0.17	0.18	0.18	0.19	0.17	0.21	0.20	0.16	0.14	0.18	0.11	0.16	
	産学連携の経験(企業見学・インターンシップ等)	Q9	0.24	0.20	0.19	0.31	1.00	0.30	0.29	0.09	0.10	0.11	0.16	0.13	0.09	0.16	0.17	0.12	0.09	0.10	0.10	0.09	0.13	0.16	0.17	0.12	0.11	0.11	0.10	0.12	0.16	0.16	0.14	0.15	0.14	
	産学連携の評価1	Q10	0.11	0.16	0.16	0.24	0.30	1.00	0.67	0.08	0.37	0.49	0.43	0.41	0.42	0.47	0.44	0.33	0.39	0.39	0.41	0.44	0.47	0.41	0.40	0.34	0.39	0.37	0.36	0.36	0.38	0.37	0.37	0.37	0.40	
	産学連携の評価2	Q11	0.04	0.21	0.15	0.20	0.29	0.67	1.00	0.19	0.42	0.42	0.42	0.44	0.45	0.50	0.43	0.24	0.36	0.44	0.40	0.38	0.44	0.40	0.42	0.30	0.38	0.34	0.31	0.32	0.41	0.45	0.35	0.42	0.40	
	将来の進路に関する見通し1	Q12	0.02	0.11	0.00	-0.06	0.09	0.08	0.19	1.00	0.07	0.01	0.02	0.06	0.05	0.11	0.04	-0.08	-0.01	0.08	0.06	0.00	0.03	0.05	0.07	-0.02	0.03	0.00	-0.02	-0.02	0.03	0.08	0.02	0.08	0.05	
	将来の進路に関する見通し2	Q13	0.01	0.10	0.10	0.12	0.10	0.37	0.42	0.07	1.00	0.50	0.50	0.49	0.54	0.50	0.49	0.33	0.40	0.45	0.44	0.42	0.44	0.43	0.43	0.36	0.42	0.39	0.37	0.37	0.43	0.43	0.41	0.44	0.43	
	社会人基礎力以外の成果項目	Q14	0.00	0.11	0.12	0.13	0.11	0.49	0.42	0.01	0.50	1.00	0.69	0.71	0.69	0.64	0.62	0.45	0.56	0.62	0.58	0.63	0.63	0.61	0.58	0.52	0.58	0.56	0.55	0.54	0.56	0.54	0.56	0.54	0.60	
		Q15	0.09	0.12	0.14	0.19	0.16	0.43	0.42	0.02	0.50	0.69	1.00	0.70	0.70	0.66	0.71	0.46	0.55	0.64	0.62	0.60	0.61	0.65	0.64	0.59	0.65	0.63	0.63	0.63	0.65	0.61	0.63	0.60	0.64	
		Q16	0.07	0.09	0.13	0.16	0.13	0.41	0.44	0.06	0.49	0.71	0.70	1.00	0.71	0.68	0.64	0.45	0.59	0.65	0.60	0.63	0.60	0.62	0.63	0.55	0.61	0.59	0.58	0.57	0.62	0.62	0.59	0.59	0.63	
		Q17	0.03	0.09	0.13	0.12	0.09	0.42	0.45	0.05	0.54	0.69	0.70	0.71	1.00	0.68	0.67	0.45	0.56	0.63	0.59	0.62	0.58	0.60	0.61	0.52	0.61	0.60	0.57	0.55	0.58	0.57	0.59	0.58	0.61	
		Q18	0.01	0.14	0.13	0.10	0.16	0.47	0.50	0.11	0.50	0.64	0.66	0.68	0.68	1.00	0.71	0.42	0.53	0.67	0.58	0.58	0.64	0.59	0.62	0.46	0.57	0.54	0.52	0.52	0.62	0.63	0.59	0.63	0.59	
Q19		0.13	0.10	0.16	0.16	0.17	0.44	0.43	0.04	0.49	0.62	0.71	0.64	0.67	0.71	1.00	0.50	0.59	0.63	0.63	0.64	0.63	0.60	0.60	0.57	0.61	0.60	0.59	0.59	0.60	0.58	0.60	0.56	0.60		
Q20		0.14	0.01	0.11	0.14	0.12	0.33	0.24	-0.08	0.33	0.45	0.46	0.45	0.45	0.42	0.50	1.00	0.72	0.35	0.42	0.57	0.52	0.37	0.37	0.38	0.41	0.40	0.43	0.40	0.38	0.34	0.39	0.32	0.39		
Q21		0.13	0.06	0.15	0.19	0.09	0.39	0.36	-0.01	0.40	0.56	0.55	0.59	0.56	0.53	0.59	0.72	1.00	0.55	0.58	0.74	0.64	0.49	0.51	0.51	0.55	0.50	0.54	0.50	0.52	0.50	0.52	0.46	0.53		
Q22		0.09	0.12	0.12	0.15	0.10	0.39	0.44	0.08	0.45	0.62	0.64	0.65	0.63	0.67	0.63	0.35	0.55	1.00	0.70	0.59	0.59	0.62	0.62	0.54	0.63	0.58	0.56	0.54	0.62	0.65	0.60	0.66	0.65		
Q23		0.11	0.09	0.13	0.15	0.10	0.41	0.40	0.06	0.44	0.58	0.62	0.60	0.59	0.58	0.63	0.42	0.58	0.70	1.00	0.63	0.60	0.60	0.59	0.59	0.63	0.57	0.58	0.58	0.59	0.57	0.59	0.55	0.63		
Q24		0.07	0.07	0.17	0.19	0.09	0.44	0.38	0.00	0.42	0.63	0.60	0.63	0.62	0.58	0.64	0.57	0.74	0.59	0.63	1.00	0.81	0.56	0.55	0.57	0.60	0.56	0.59	0.58	0.56	0.53	0.57	0.50	0.59		
Q25	0.02	0.10	0.16	0.16	0.13	0.47	0.44	0.03	0.44	0.63	0.61	0.60	0.58	0.64	0.63	0.52	0.64	0.59	0.60	0.81	1.00	0.56	0.55	0.53	0.59	0.54	0.56	0.54	0.58	0.57	0.56	0.54	0.59			
社会人基礎力	Q26	0.12	0.12	0.13	0.17	0.16	0.41	0.40	0.05	0.43	0.61	0.65	0.62	0.60	0.59	0.60	0.37	0.49	0.62	0.60	0.56	0.56	1.00	0.80	0.72	0.71	0.71	0.67	0.68	0.68	0.67	0.70	0.70	0.75		
	Q27	0.13	0.13	0.12	0.18	0.17	0.40	0.42	0.07	0.43	0.58	0.64	0.63	0.61	0.62	0.60	0.37	0.51	0.62	0.59	0.55	0.55	0.80	1.00	0.67	0.72	0.69	0.66	0.66	0.70	0.70	0.70	0.70	0.73		
	Q28	0.14	0.06	0.14	0.18	0.12	0.34	0.30	-0.02	0.36	0.52	0.59	0.55	0.52	0.46	0.57	0.38	0.51	0.54	0.59	0.57	0.53	0.72	0.67	1.00	0.74	0.69	0.70	0.71	0.65	0.60	0.67	0.58	0.73		
	Q29	0.14	0.10	0.14	0.19	0.11	0.39	0.38	0.03	0.42	0.58	0.65	0.61	0.61	0.57	0.61	0.41	0.55	0.63	0.63	0.60	0.59	0.71	0.72	0.74	1.00	0.76	0.75	0.71	0.71	0.66	0.73	0.64	0.74		
	Q30	0.13	0.06	0.12	0.17	0.11	0.37	0.34	0.00	0.39	0.56	0.63	0.59	0.60	0.54	0.60	0.40	0.50	0.58	0.57	0.56	0.54	0.71	0.69	0.69	0.76	1.00	0.76	0.69	0.69	0.65	0.71	0.67	0.74		
	Q31	0.15	0.07	0.16	0.21	0.10	0.36	0.31	-0.02	0.37	0.55	0.63	0.58	0.57	0.52	0.59	0.43	0.54	0.56	0.58	0.59	0.56	0.67	0.66	0.70	0.75	0.76	1.00	0.73	0.68	0.62	0.71	0.58	0.70		
	Q32	0.13	0.07	0.13	0.20	0.12	0.36	0.32	-0.02	0.37	0.54	0.63	0.57	0.55	0.52	0.59	0.40	0.50	0.54	0.58	0.58	0.54	0.68	0.66	0.71	0.71	0.69	0.73	1.00	0.75	0.66	0.74	0.60	0.69		
	Q33	0.09	0.11	0.15	0.16	0.16	0.38	0.41	0.03	0.43	0.56	0.65	0.62	0.58	0.62	0.60	0.38	0.52	0.62	0.59	0.56	0.58	0.68	0.70	0.65	0.71	0.69	0.68	0.75	1.00	0.81	0.73	0.72	0.71		
	Q34	0.09	0.14	0.11	0.14	0.16	0.37	0.45	0.08	0.43	0.54	0.61	0.62	0.57	0.63	0.58	0.34	0.50	0.65	0.57	0.53	0.57	0.67	0.70	0.60	0.66	0.65	0.62	0.66	0.81	1.00	0.72	0.77	0.69		
	Q35	0.13	0.10	0.14	0.18	0.14	0.37	0.35	0.02	0.41	0.56	0.63	0.59	0.59	0.59	0.60	0.39	0.52	0.60	0.59	0.57	0.56	0.70	0.70	0.67	0.73	0.71	0.71	0.74	0.73	0.72	1.00	0.69	0.74		
	Q36	0.07	0.13	0.09	0.11	0.15	0.37	0.42	0.08	0.44	0.54	0.60	0.59	0.58	0.63	0.56	0.32	0.46	0.66	0.55	0.50	0.54	0.70	0.70	0.58	0.64	0.67	0.58	0.60	0.72	0.77	0.69	1.00	0.73		
	Q37	0.14	0.07	0.14	0.16	0.14	0.40	0.40	0.05	0.43	0.60	0.64	0.63	0.61	0.59	0.60	0.39	0.53	0.65	0.63	0.59	0.59	0.75	0.73	0.73	0.74	0.74	0.70	0.69	0.71	0.69	0.74	0.73	1.00		

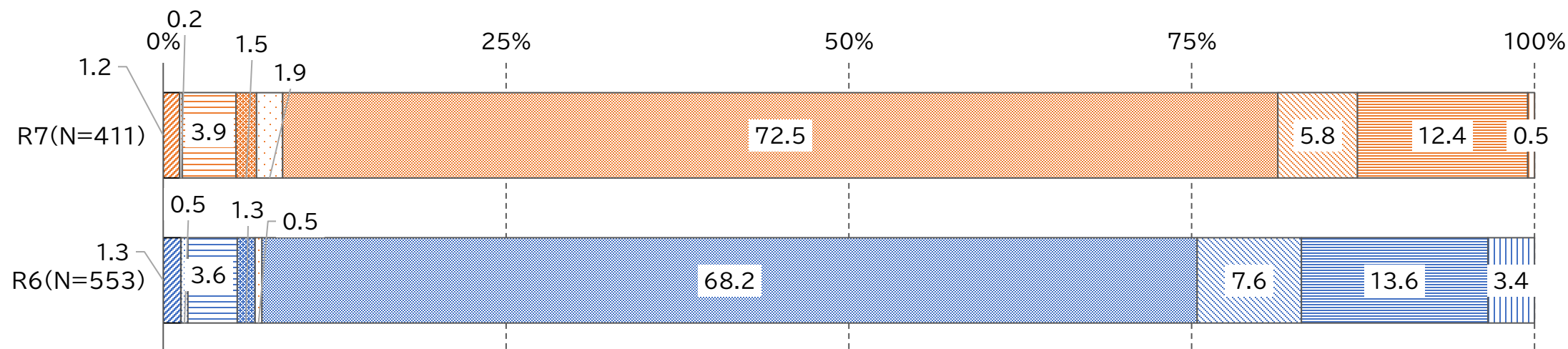
※いずれもポリコリック相関係数として算出。 ※Q12は逆転項目につき、逆転後に算出。

※黄色:成果に相当する項目

3.教員用アンケート

Q2.職名

Q2.あなたの職名を教えてください。(単一選択式)

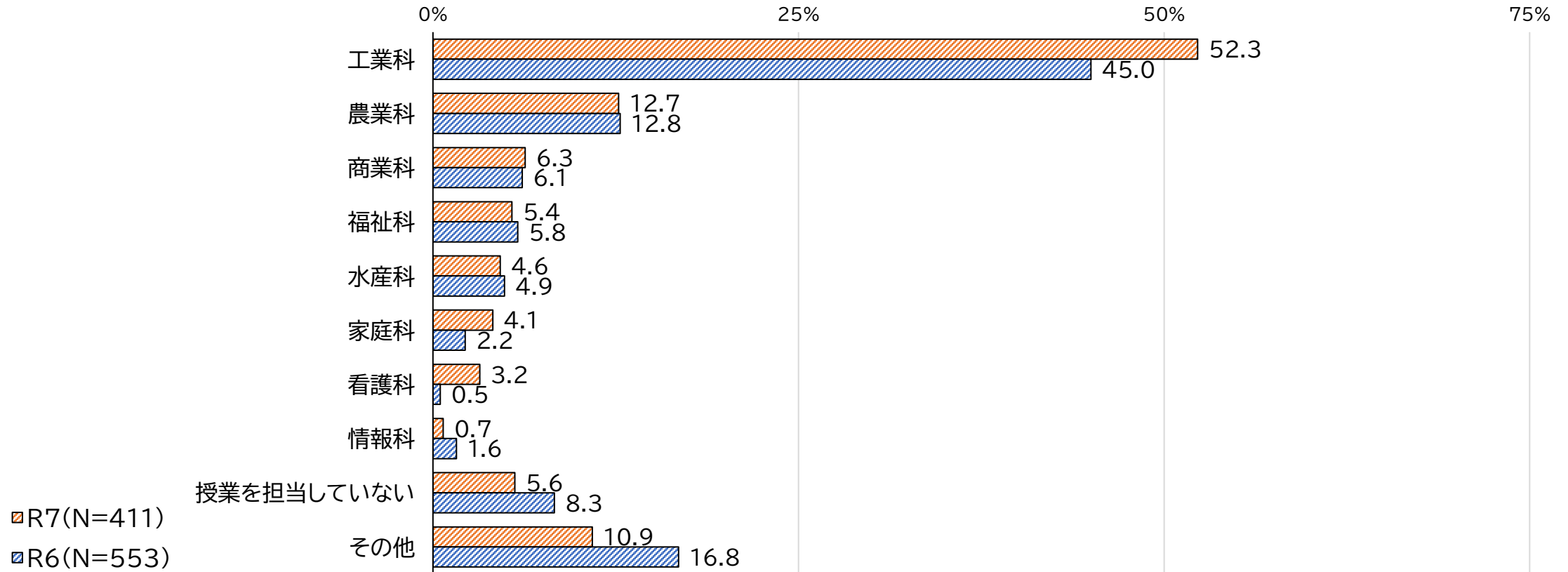


校長
 副校長
 教頭
 主幹教諭
 指導教諭
 教諭
 講師
 実習助手
 その他

「その他」の例: 養護教諭、学校司書 等

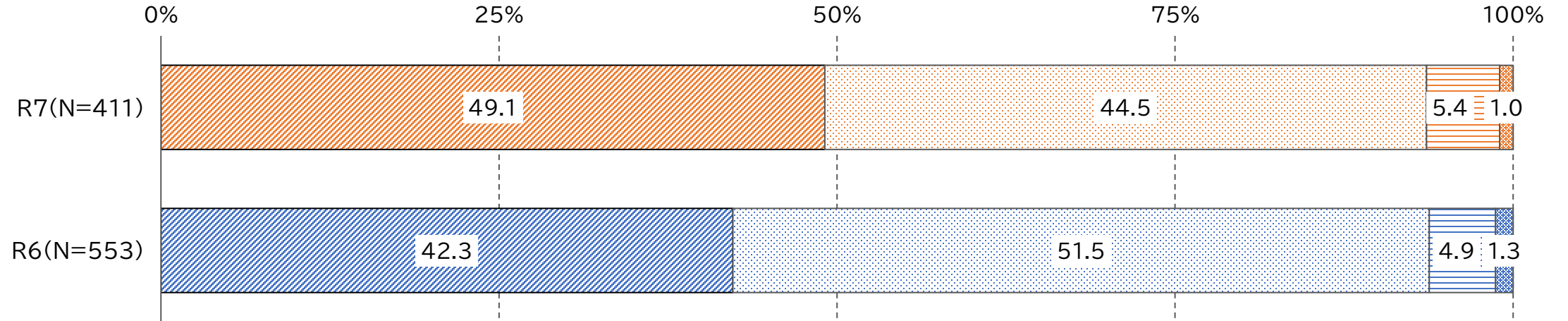
Q3.担当学科

Q3.あなたが授業を担当している学科(大学科)を教えてください。(複数選択式)



Q4.産学連携の必要性の理解

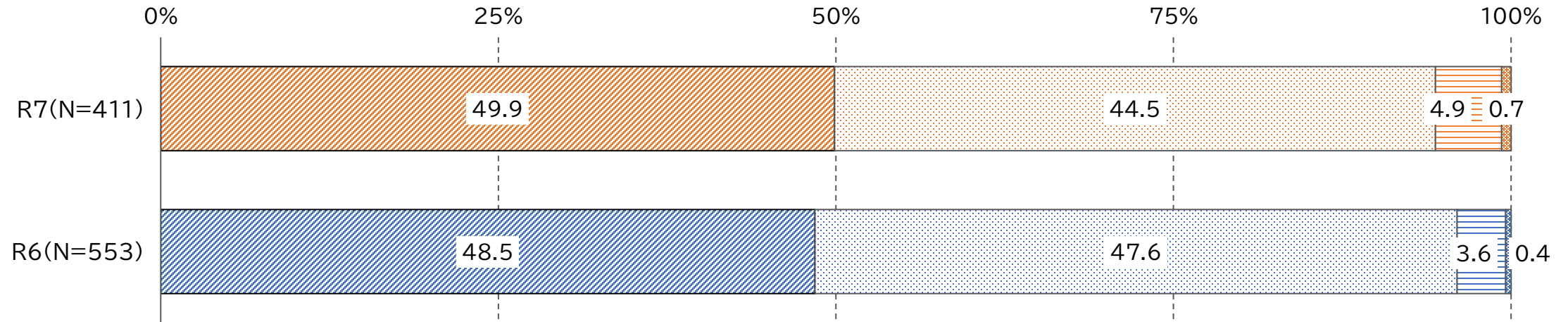
Q4.学校が産学連携に取り組む必要性を、あなたは十分に理解していますか。(単一選択式)



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

Q5.学校目標との整合性

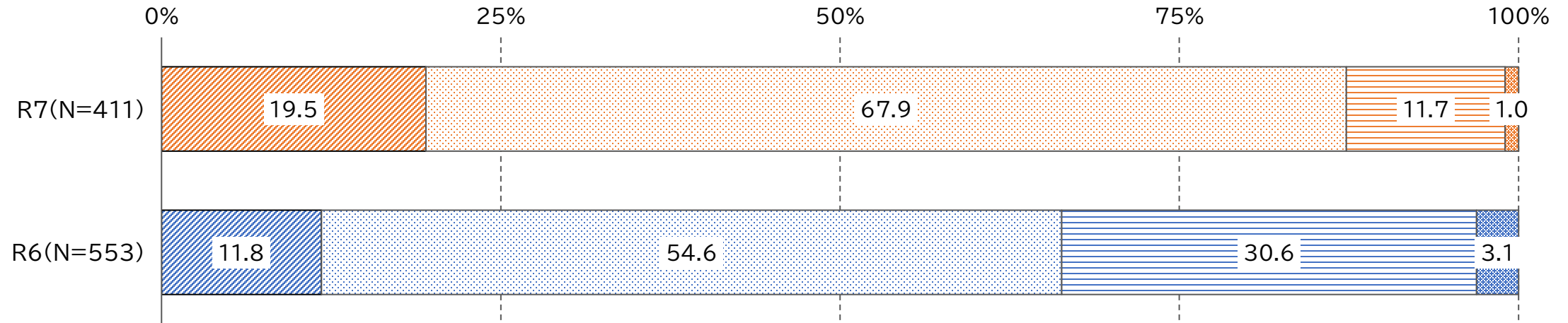
Q5.産学連携の取組が、学校の目標に合っていると思いますか。(単一選択式)



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

Q6. (生徒評価)思考力・判断力・表現力1

Q6.生徒は、課題に対して粘り強く考えることができた。(単一選択式)

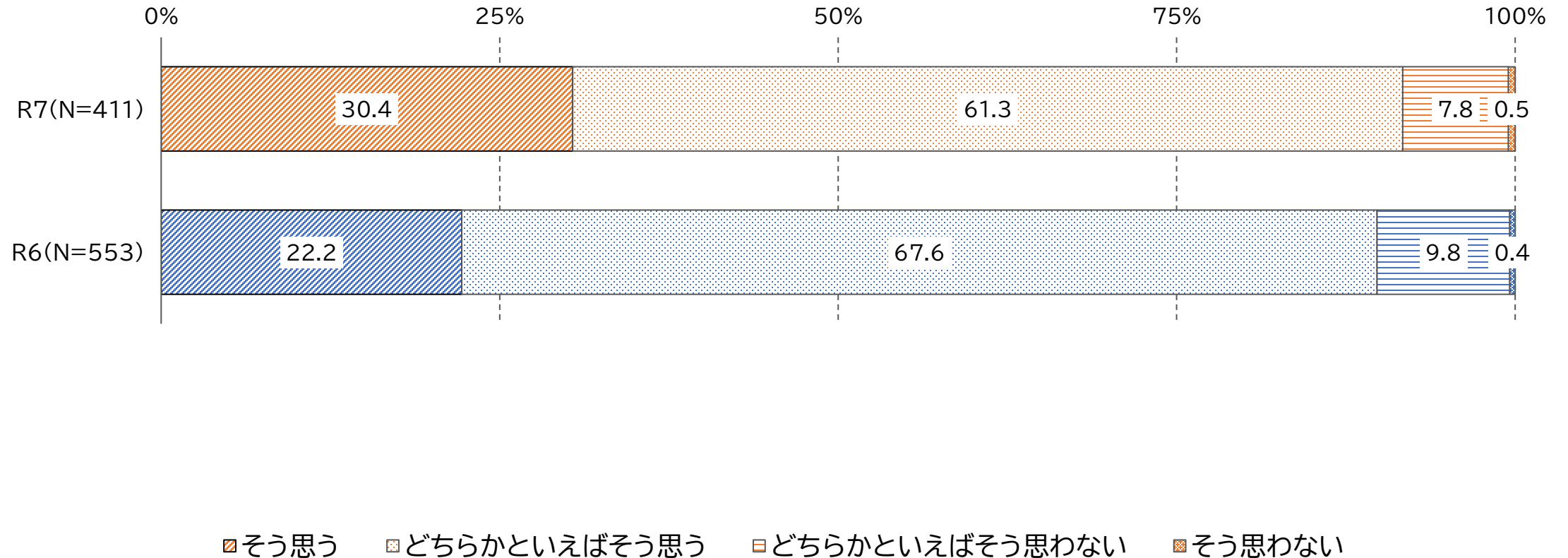


■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

※R6は「生徒は、課題に対して粘り強く考えることができる」。

Q7. (生徒評価)思考力・判断力・表現力2

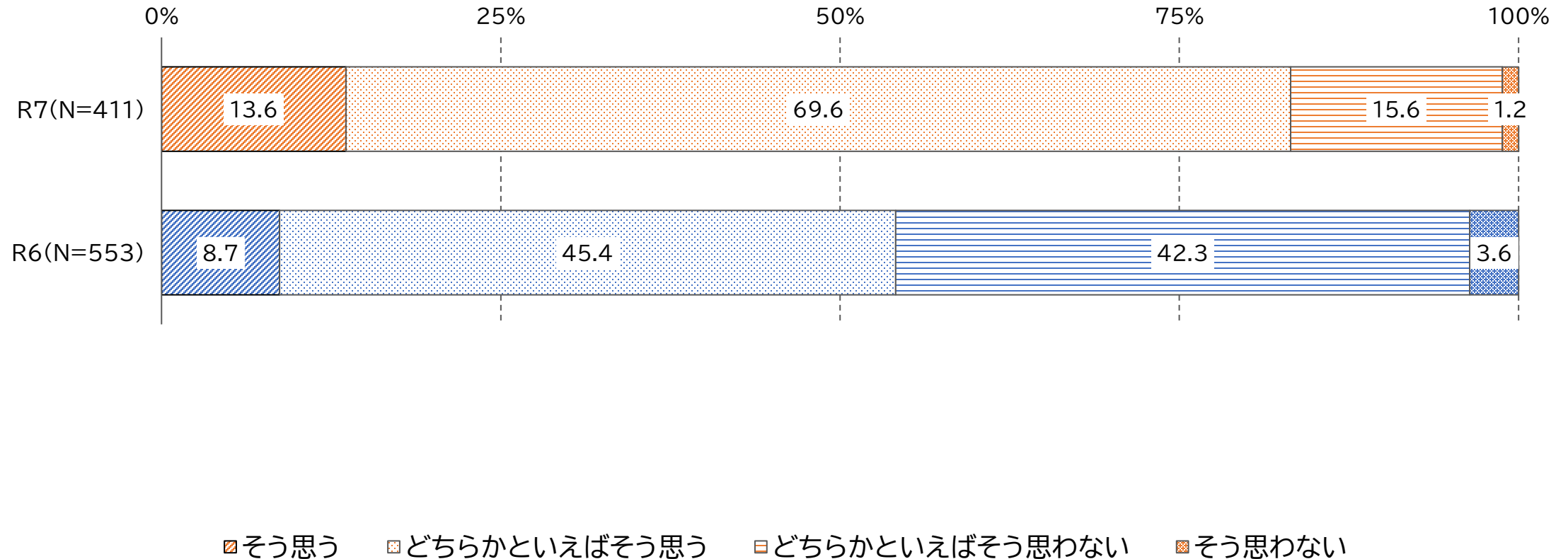
Q7.生徒は、課題に対して他者と協力することができた。(単一選択式)



※R6は「生徒は、課題に対して他者と協力することができる」。

Q8. (生徒評価)思考力・判断力・表現力3

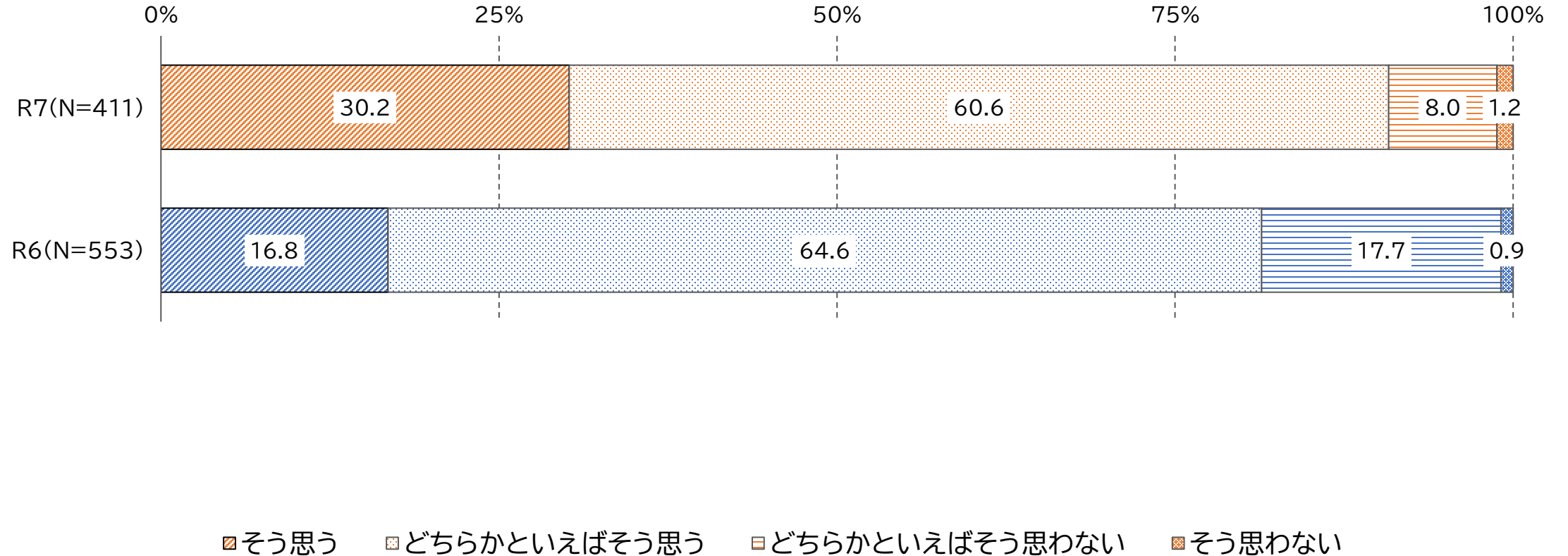
Q8.生徒は、自分の意見や考えを分かりやすく伝えることができた。
(単一選択式)



※R6は「生徒は、自分の意見や考えを分かりやすく伝えることができる」。

Q9. (生徒評価)知識・技術を学ぶ意欲

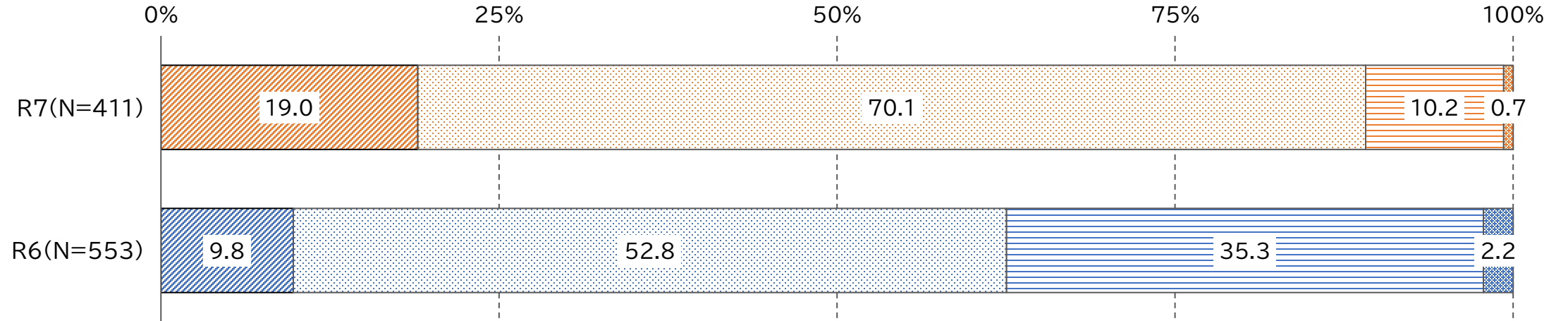
Q9.生徒は、授業で学んでいる知識や技術に興味を持っていた。(単一選択式)



※R6は「生徒は、授業で学んでいる知識や技術に興味を持っている」。

Q10. (生徒評価)知識・技術の理解

Q10.生徒は、仕事や社会の中で使われている知識や技術について理解できた。(単一選択式)

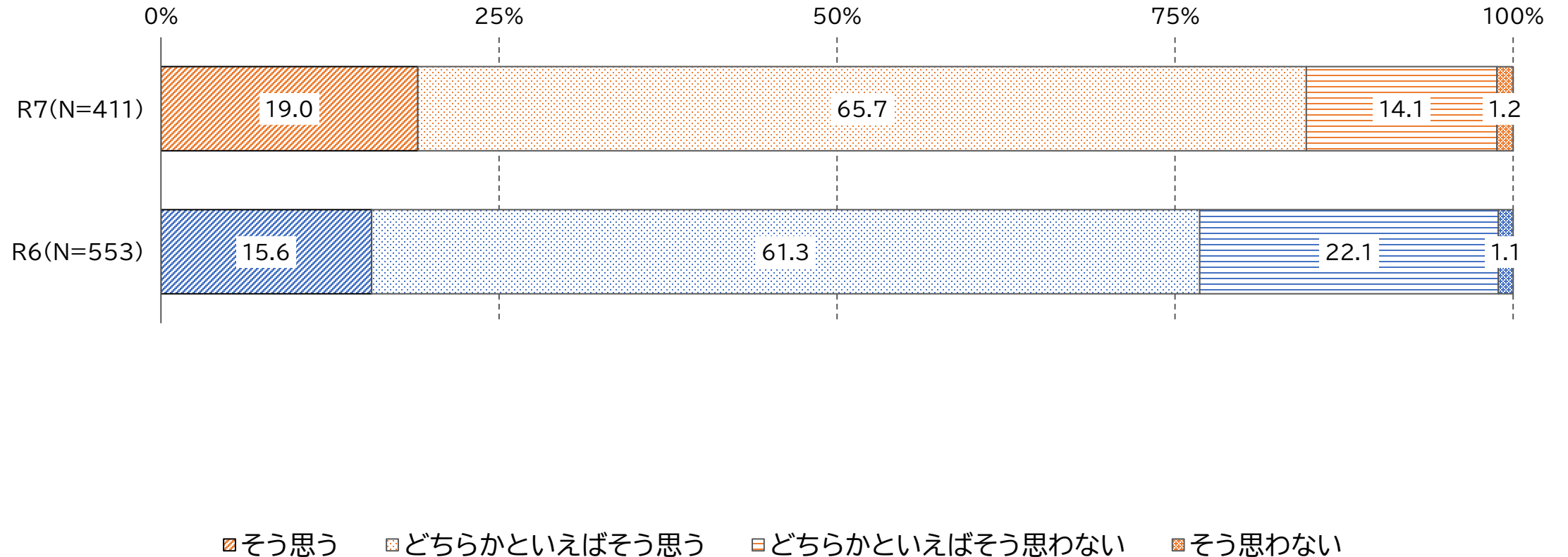


■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

※R6は「生徒は、仕事や社会の中で使われている知識や技術について理解している」。

Q11. (生徒評価)知識・技術の活用意欲

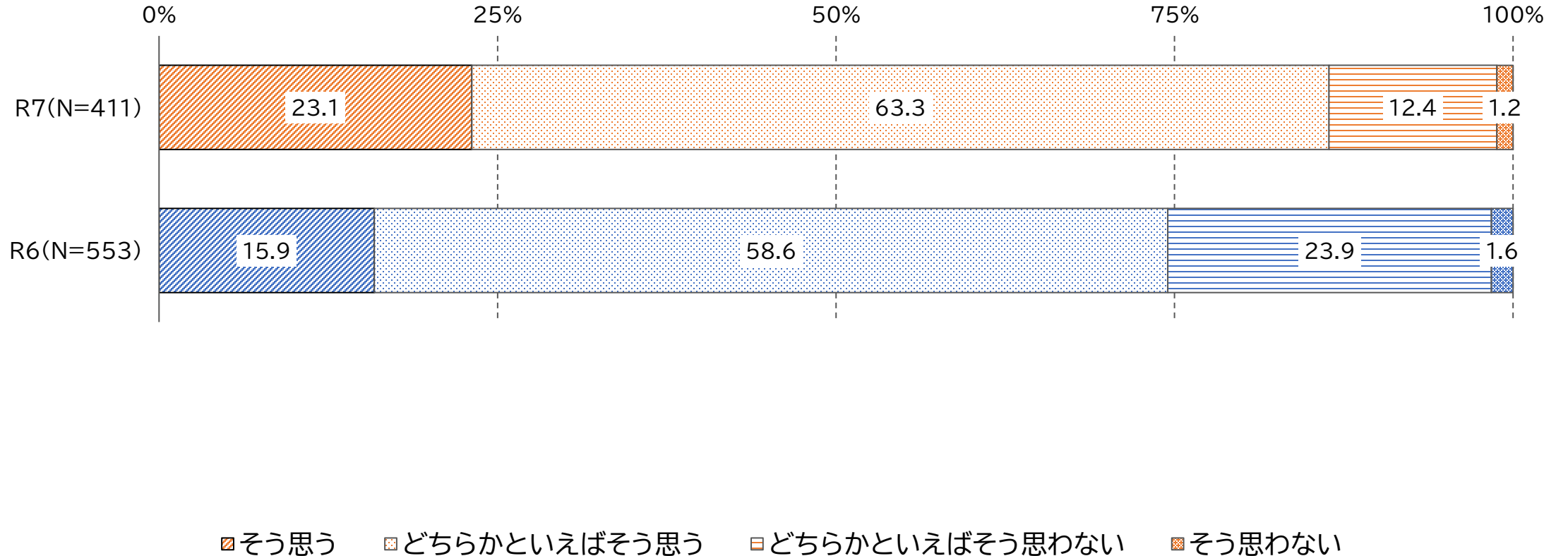
Q11.生徒は、普段の生活の中で、仕事や社会で使われている知識や技術を役立てたいと思っていた。
(単一選択式)



※R6は「生徒は、普段の生活の中で、仕事や社会で使われている知識や技術を役立てたいと思っている」。

Q12. (生徒評価)知識・技術と実社会の関連付け

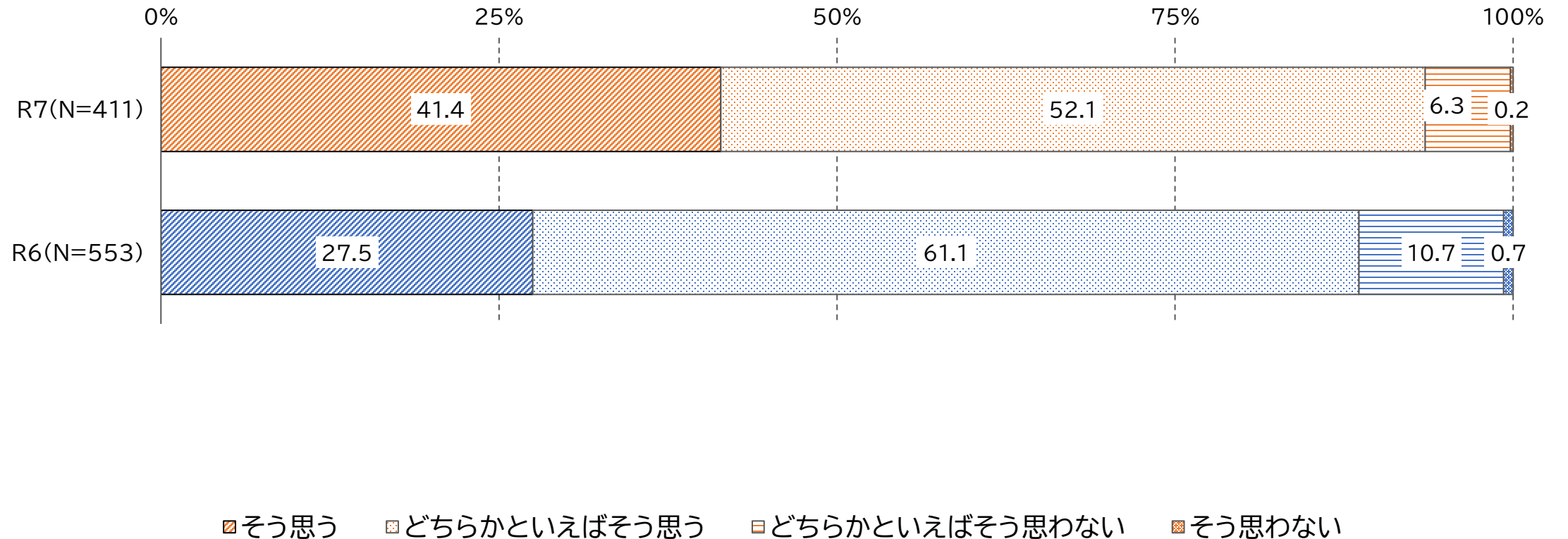
Q12.生徒は、仕事や社会の中で使われている知識や技術を学ぶことで、学校の授業の大切さを理解していた。
(単一選択式)



※R6は「生徒は、仕事や社会の中で使われている知識や技術を学ぶことで、学校の授業の大切さを理解している」。

Q13. (生徒評価)知識・技術とキャリアの関連付け

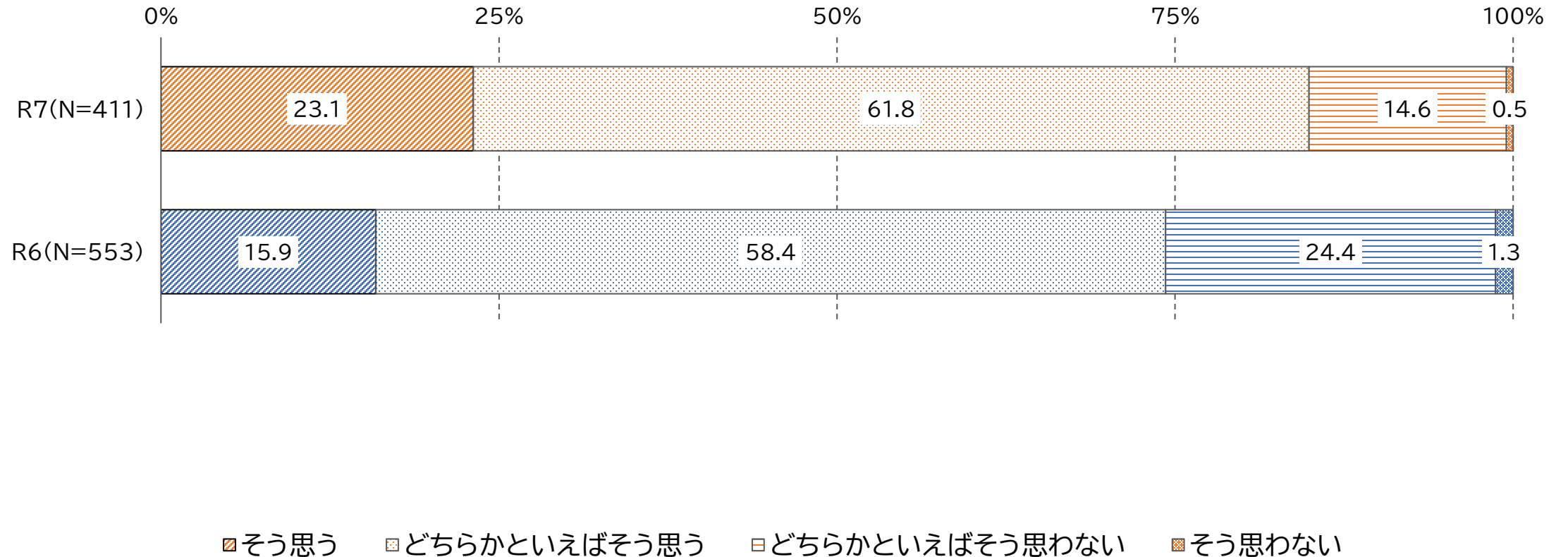
Q13.生徒は、企業や地域の人から学ぶことが、将来の進路を考えるのに役立つと思っていた。(単一選択式)



※R6は「生徒は、企業や地域の人から学ぶことが、将来の進路を考えるのに役立つと思っている」。

Q14. (生徒評価)地元企業の理解

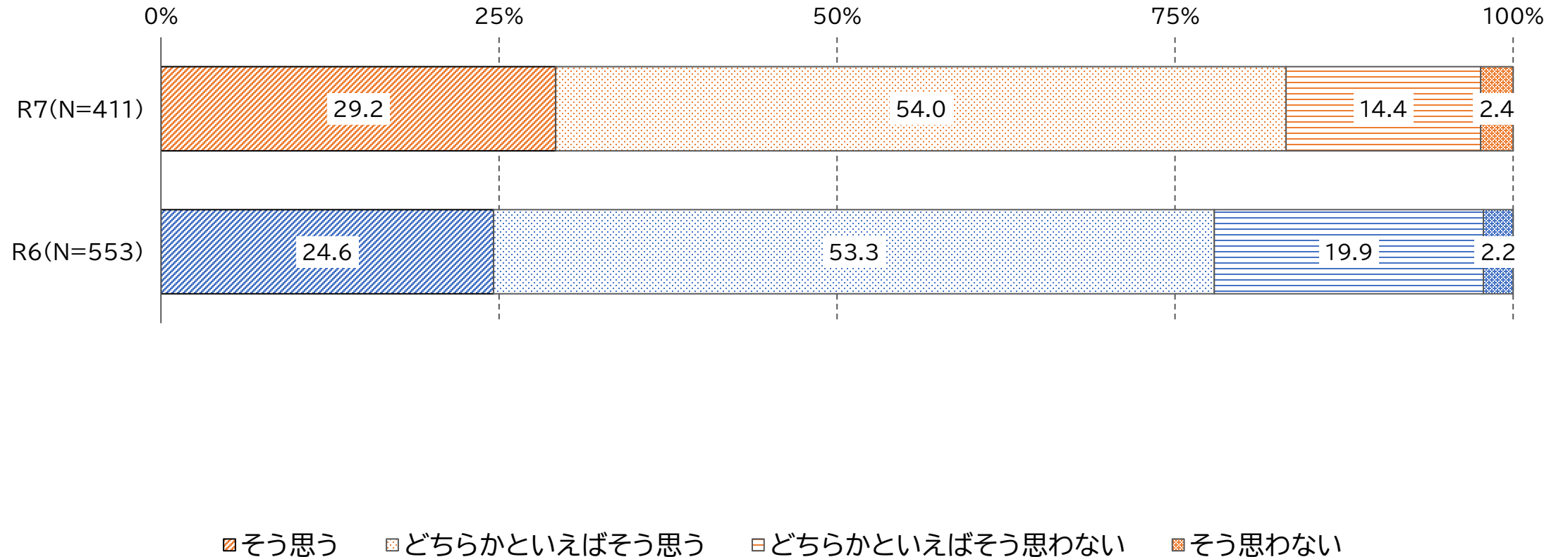
Q14.生徒は、地域の企業や産業について、進路を考えるための十分な情報を得ていた。(単一選択式)



※R6は「生徒は、地域の企業や産業について、進路を考えるための十分な情報を得ている」。

Q15. (生徒評価)地元就職への意欲1

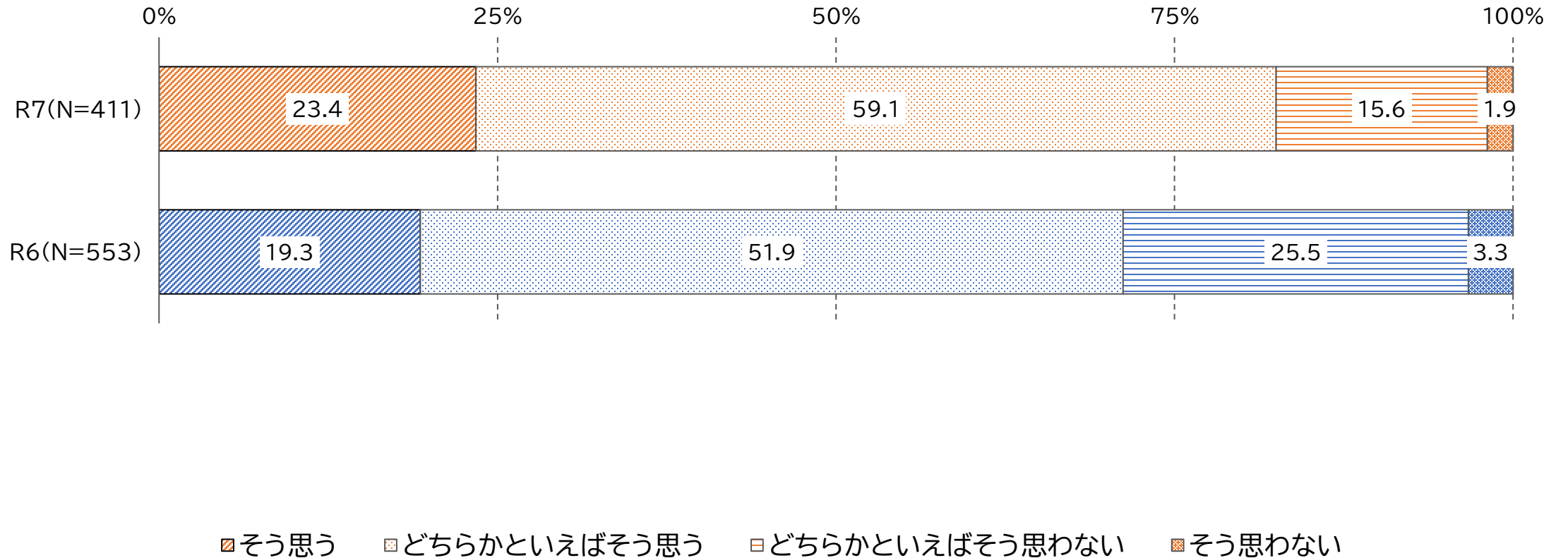
Q15.生徒は、地元の企業への就職(進学する場合は卒業後に)について前向きに考えていた。(単一選択式)



※R6は「生徒は、地元の企業への就職(進学する場合は卒業後に)について前向きに考えている」。

Q16. (生徒評価)地元貢献への意欲2

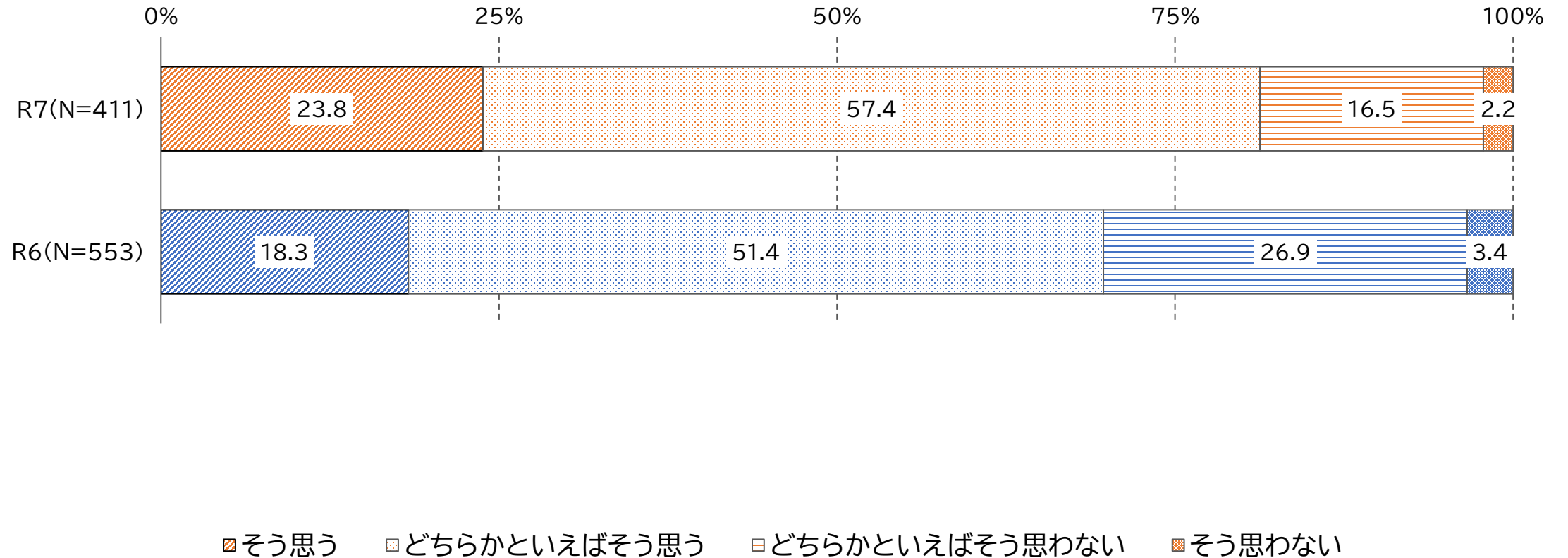
Q16.生徒は、地元への貢献意識を高めていた。(単一選択式)



※R6は「生徒は、地元への貢献意識が高い傾向にある」。

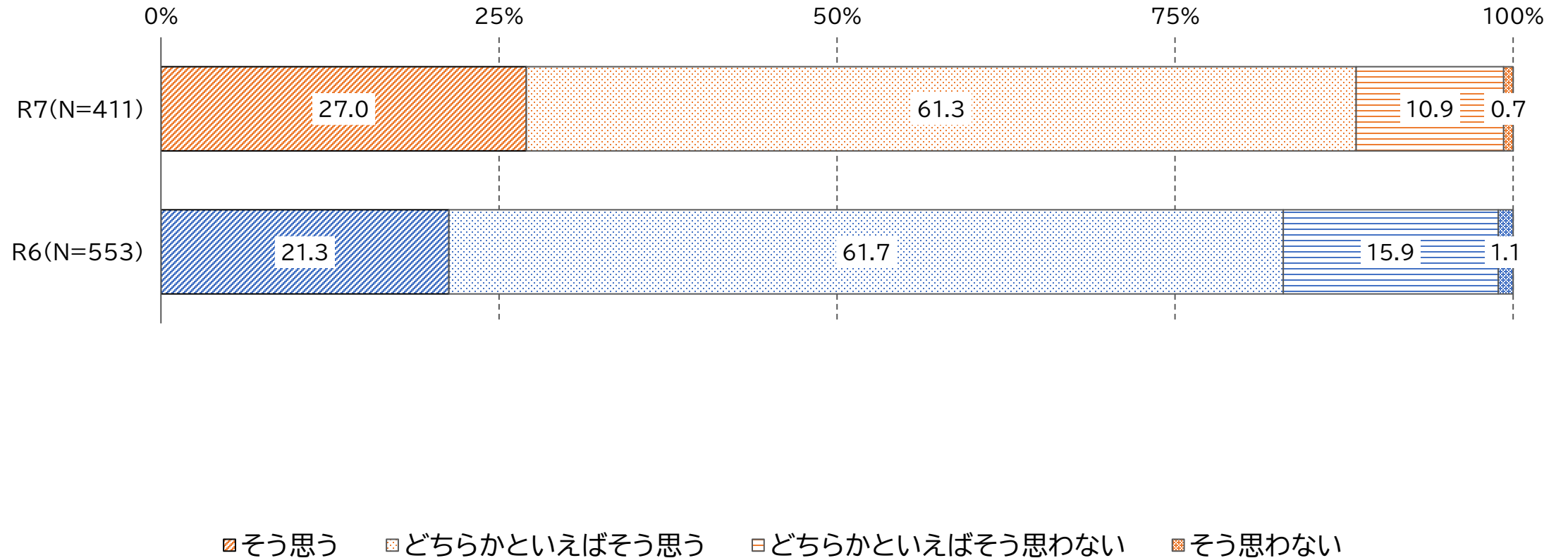
Q17.学習機会の提供

Q17.生徒には、地域の課題に直接触れる機会がある。(単一選択式)



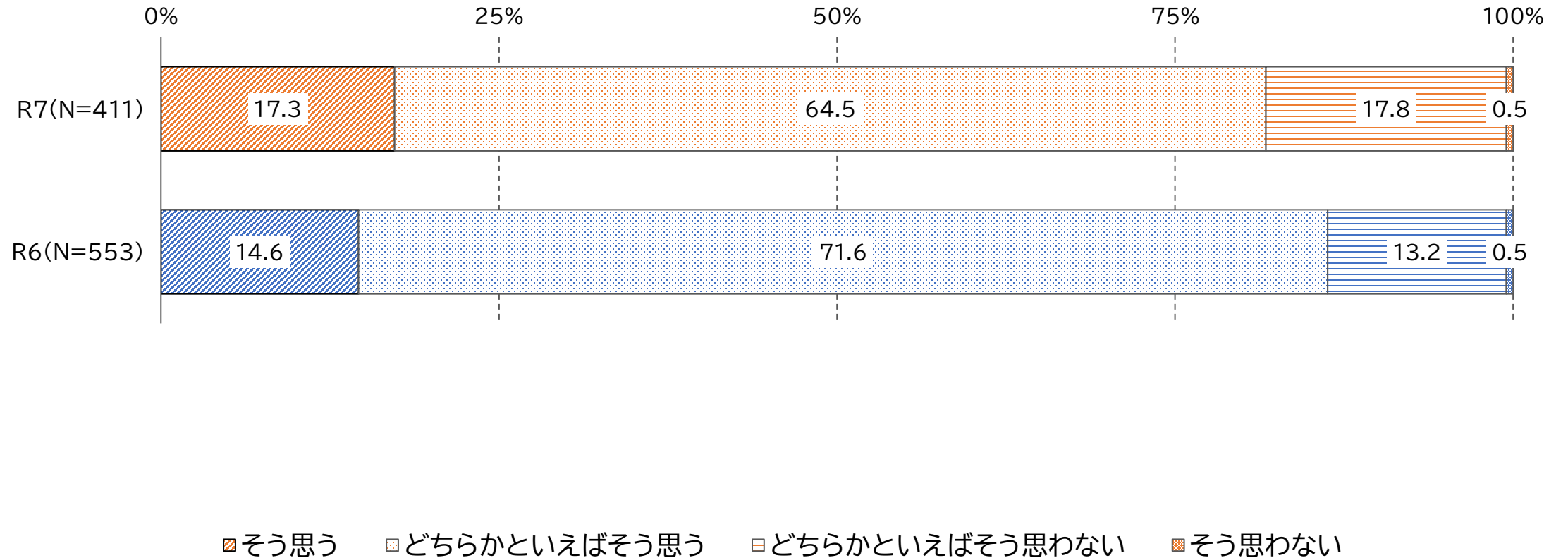
Q18.地域産業・企業への理解

Q18.地域の産業や企業について理解している。(単一選択式)



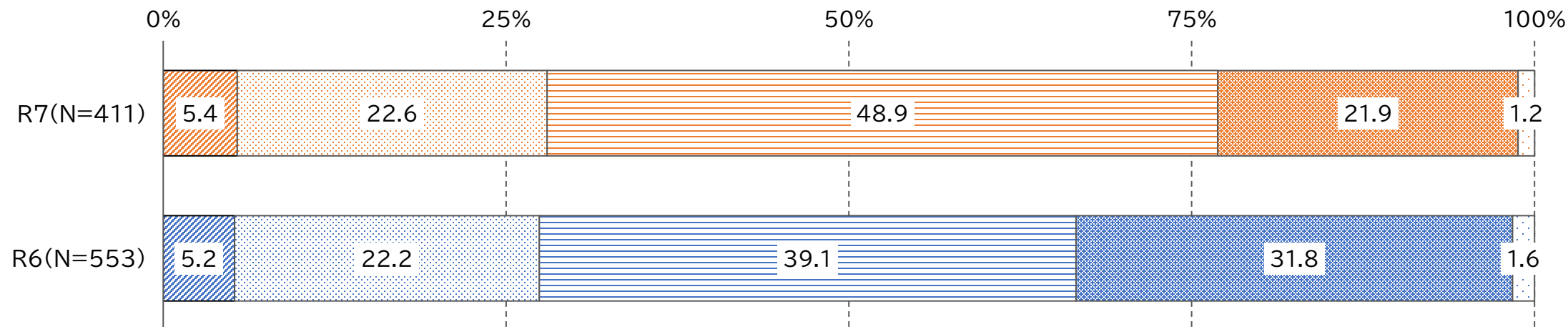
Q19.関心に合った学習機会の提供

Q19.生徒の関心に合った学習の機会を提供できている。(単一選択式)



Q20.産学連携への関与状況

Q20.今年度、マイスター・ハイスクール事業にどのように関わっていますか？
あなたの関わり方について教えてください。(単一選択式)

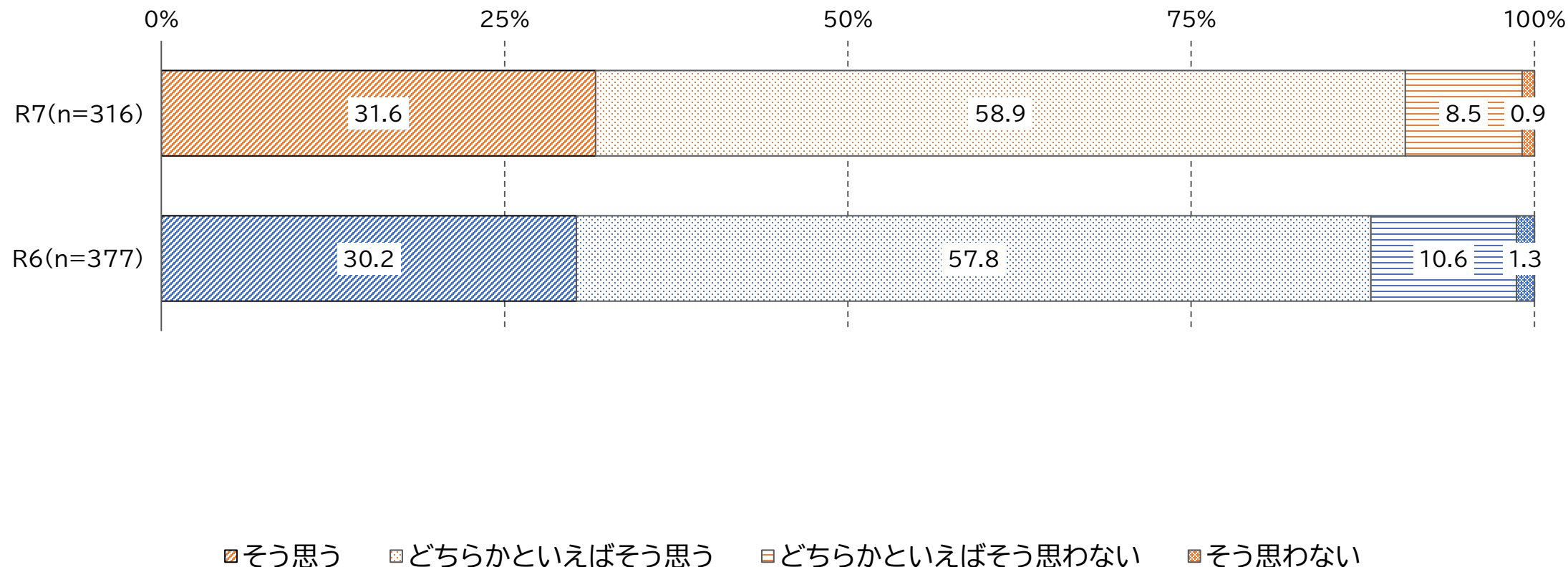


- 管理職として、マイスター・ハイスクール事業に関わっている
- 担当者として、マイスター・ハイスクール事業に関わっている
- 担当者ではないが、授業やイベント等の実施を通じて、マイスター・ハイスクール事業に関わっている
- 担当者ではなく、マイスター・ハイスクール事業に関わっていない
- その他

Q21.目指す生徒像の再考(Q20で当事業に「関わっている」と回答した場合)

Q21.産業界や地域社会との連携が、学校として目指す生徒像を再考するきっかけになった。

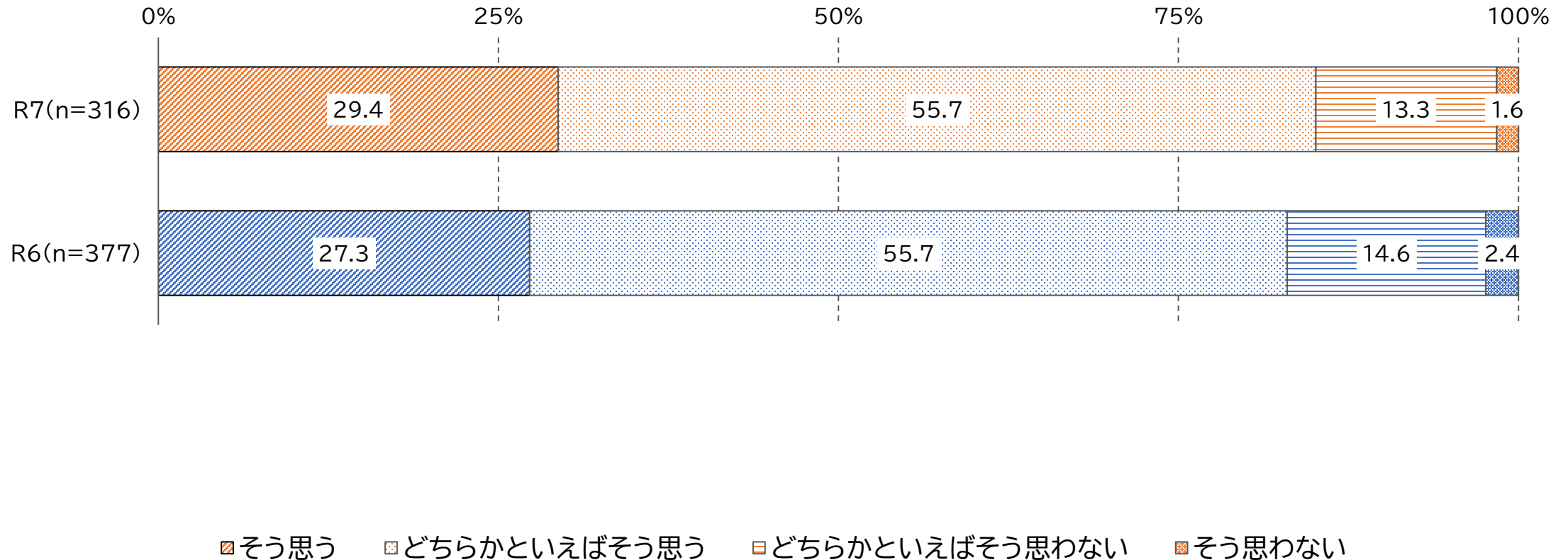
(単一選択式)



※R6は当事業に「関わっている」人に加え、「その他」と回答した人(1.6%(9人))も対象

Q22.専門性の向上(Q20で当事業に「関わっている」と回答した場合)

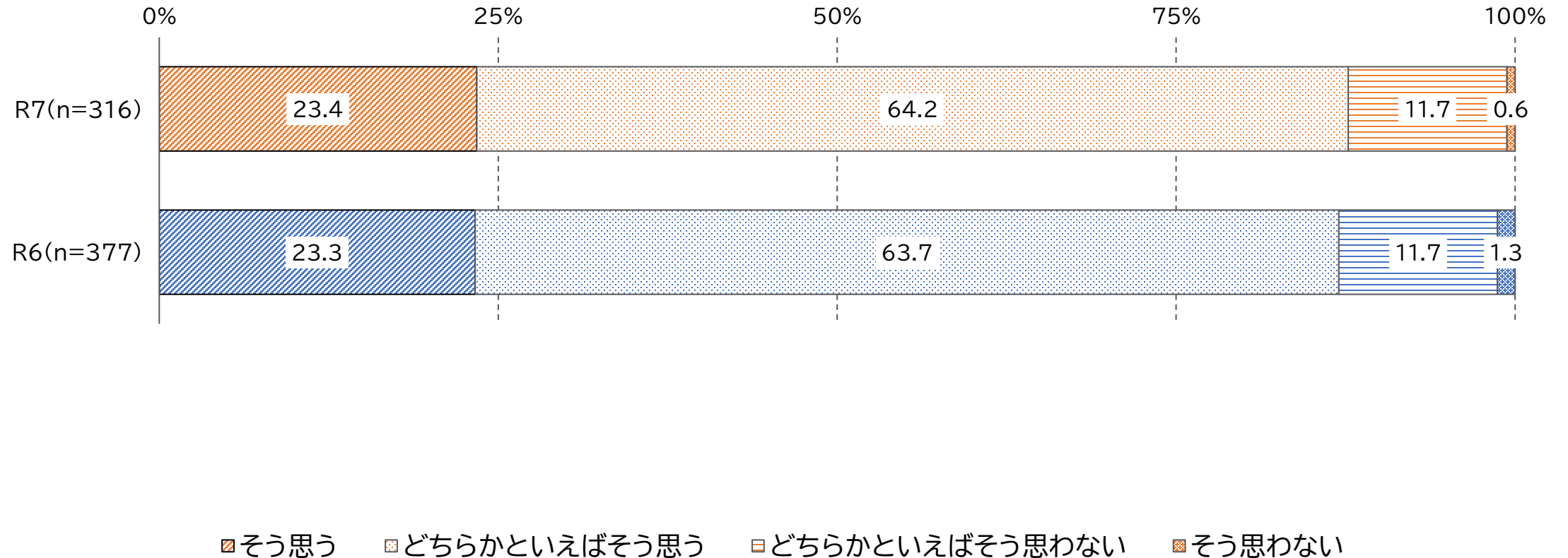
Q22.産業界や地域社会との連携により、自身の専門性や指導力が高まった。
(単一選択式)



※R6は当事業に「関わっている」人に加え、「その他」と回答した人(1.6%(9人))も対象

Q23.地元産業の理解(Q20で当事業に「関わっている」と回答した場合)

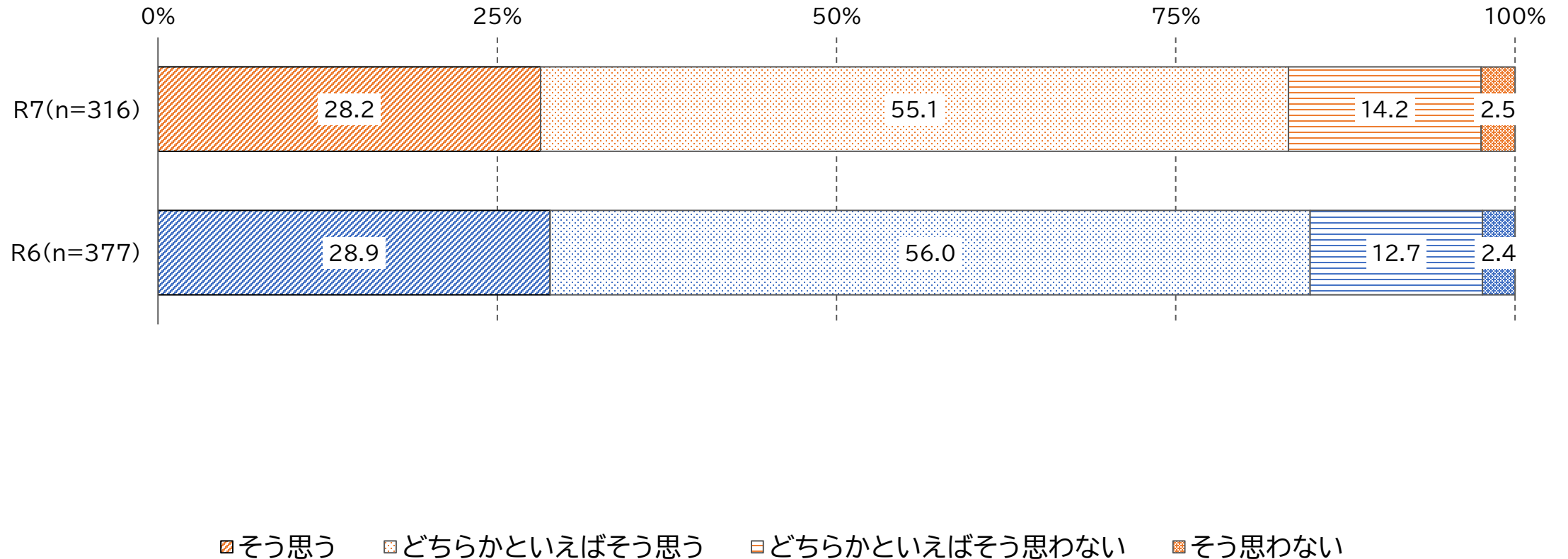
Q23.産業界や地域社会との連携により、地域を支える産業や職業について、進路指導を行うに十分な理解が深まった。(単一選択式)



※R6は当事業に「関わっている」人に加え、「その他」と回答した人(1.6%(9人))も対象

Q24.指導方法・カリキュラム改善(Q20で当事業に「関わっている」と回答した場合)

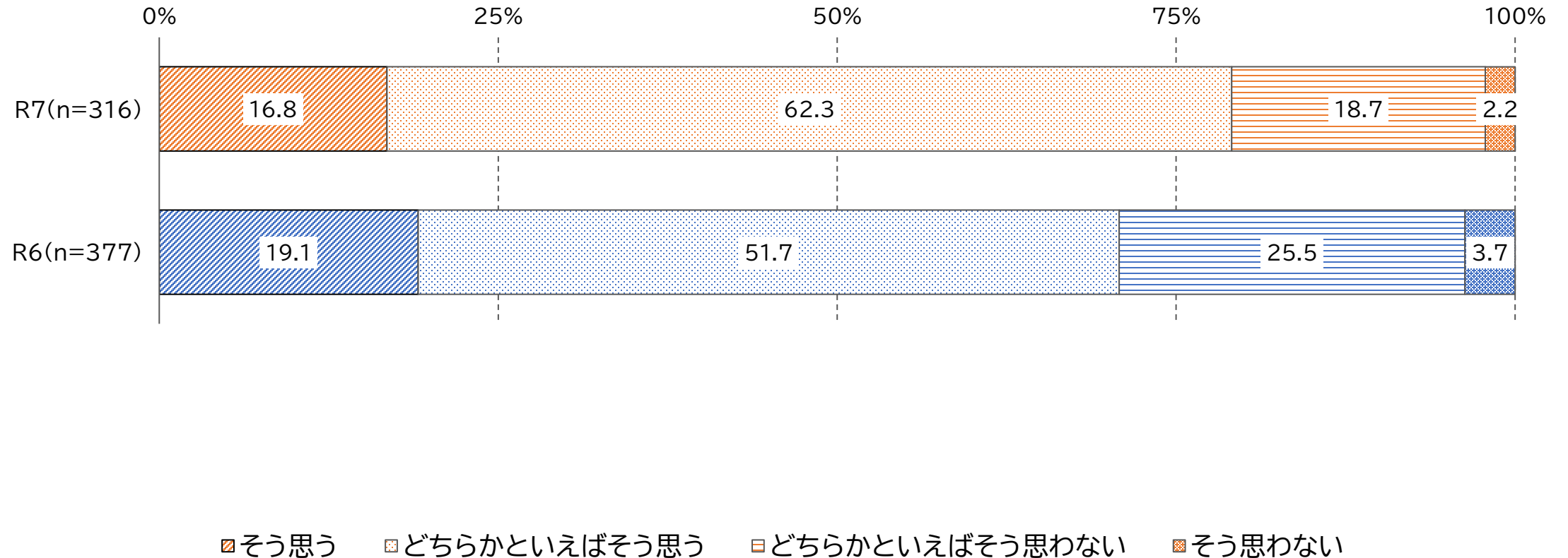
Q24.産業界や地域社会との連携により、授業の指導方法やカリキュラムを改善する必要性を感じた。
(単一選択式)



※R6は当事業に「関わっている」人に加え、「その他」と回答した人(1.6%(9人))も対象

Q25.生徒に必要な資質能力の検討(Q20で当事業に「関わっている」と回答した場合)

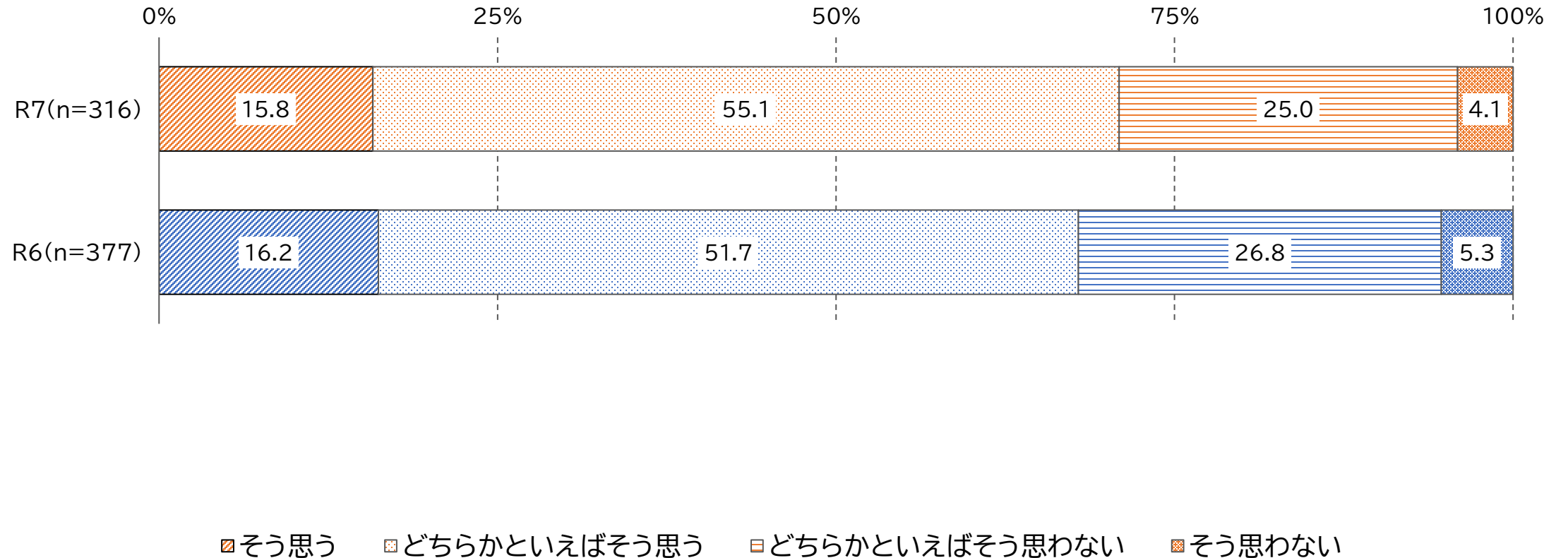
Q25.生徒に必要な資質や能力について、産業界や地域社会と対話しながら決定するようになった。(単一選択式)



※R6は当事業に「関わっている」人に加え、「その他」と回答した人(1.6%(9人))も対象

Q26.授業・単元計画の検討(Q20で当事業に「関わっている」と回答した場合)

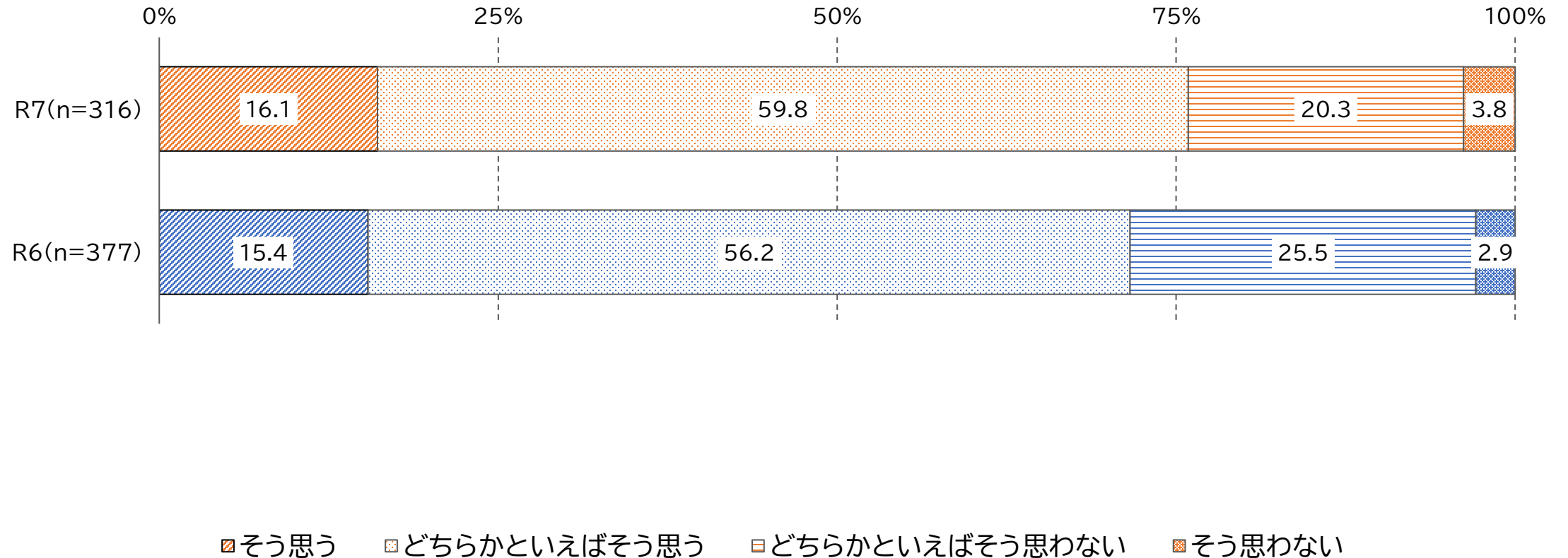
Q26.産業界や地域社会と連携して、授業や単元の計画を検討するようになった。(単一選択式)



※R6は当事業に「関わっている」人に加え、「その他」と回答した人(1.6%(9人))も対象

Q27. 学びの評価に基づく改善(Q20で当事業に「関わっている」と回答した場合)

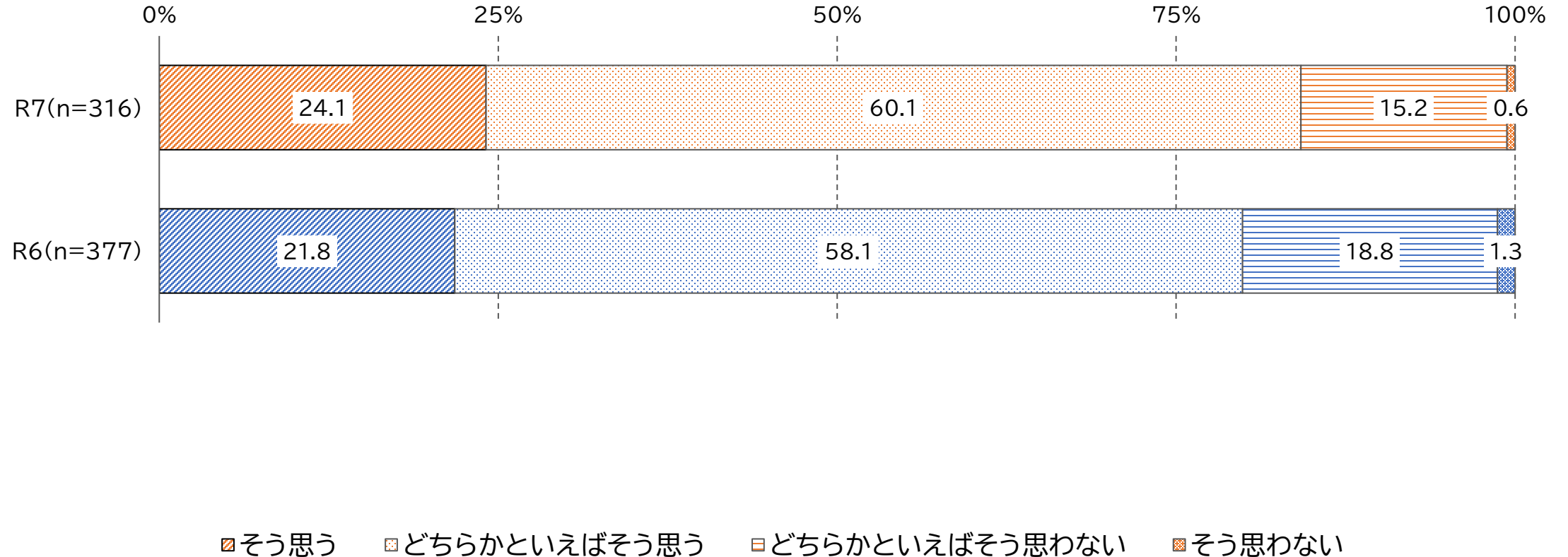
Q27. 産業界や地域社会と協働して取り組んだ学びの評価を共有し、それを基に改善に取り組んだ。(単一選択式)



※R6は当事業に「関わっている」人に加え、「その他」と回答した人(1.6%(9人))も対象

Q28.創造的で効率的な教育活動の実施(Q20で当事業に「関わっている」と回答した場合)

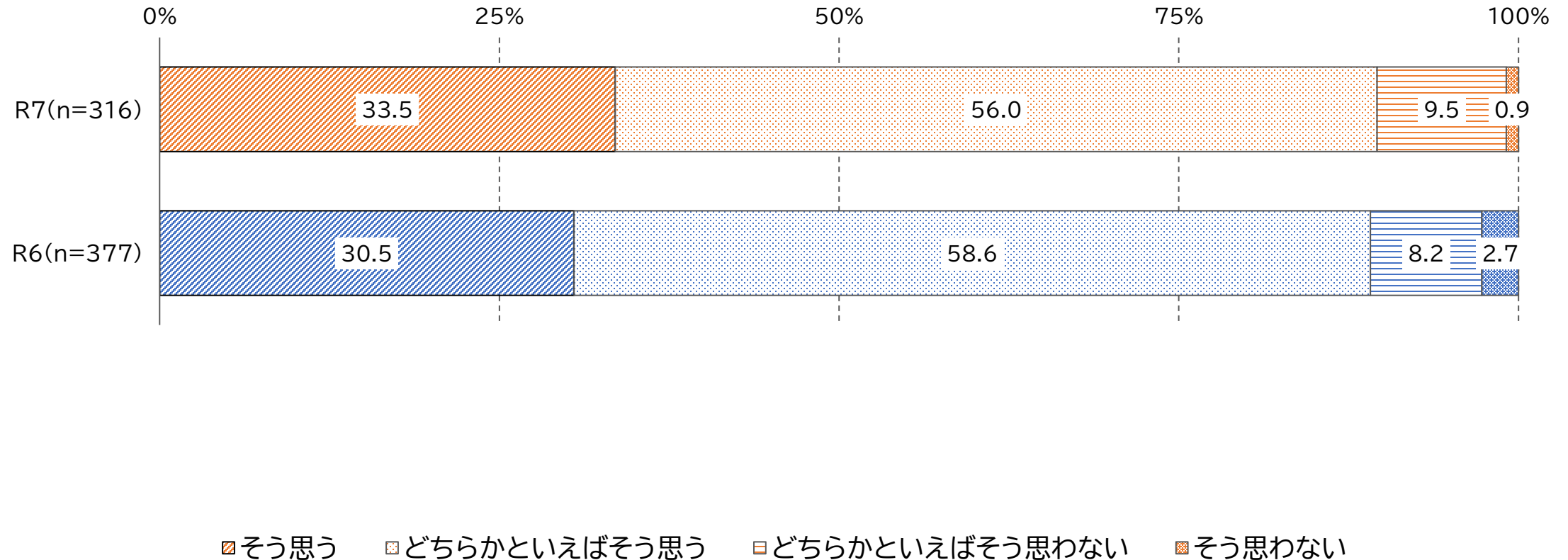
Q28.産業界や地域社会との連携により、創造的で効率的な教育活動が展開された。(単一選択式)



※R6は当事業に「関わっている」人に加え、「その他」と回答した人(1.6%(9人))も対象

Q29.学校の魅力化・教育活動の活性化(Q20で当事業に「関わっている」と回答した場合)

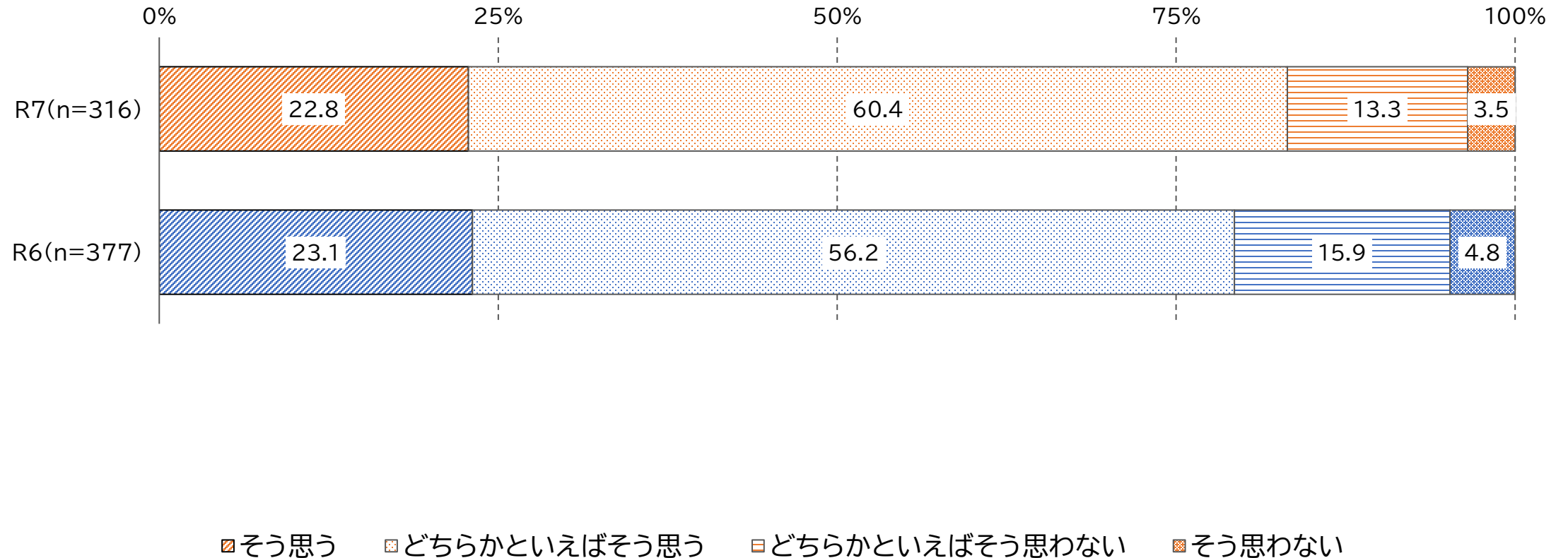
Q29.産業界や地域社会との連携が、学校の魅力向上や教育活動の活性化につながった。(単一選択式)



※R6は当事業に「関わっている」人に加え、「その他」と回答した人(1.6%(9人))も対象

Q30.校内の組織化(Q20で当事業に「関わっている」と回答した場合)

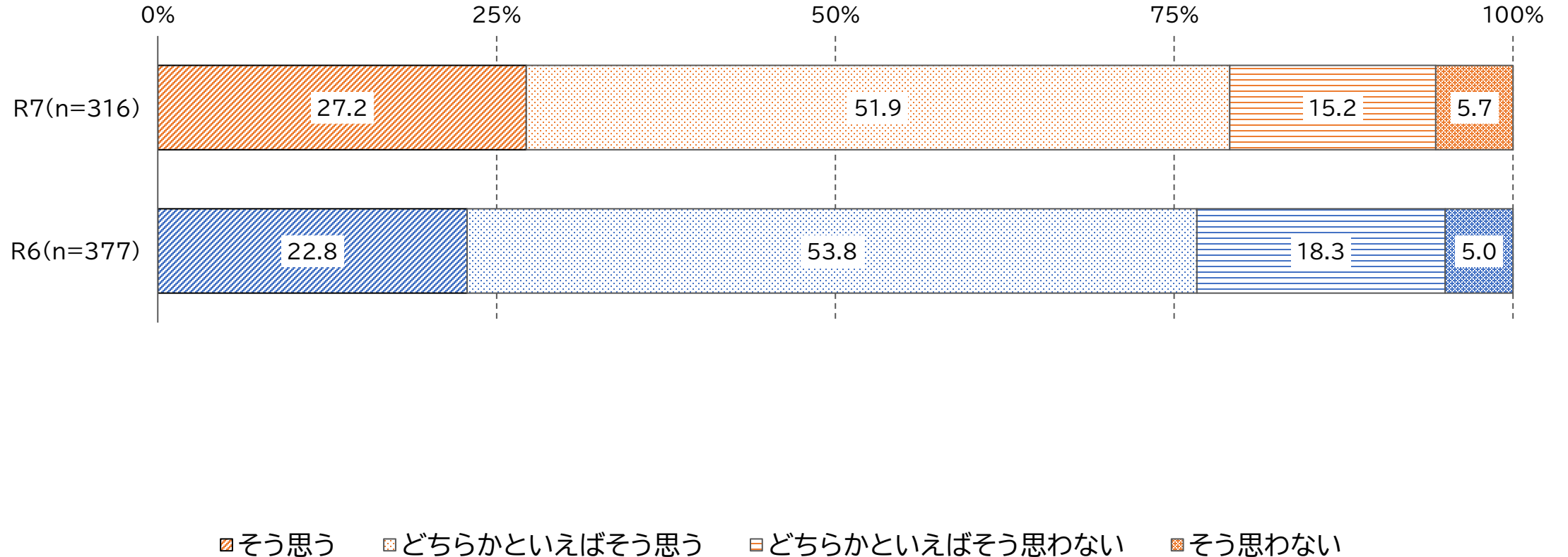
Q30.学校内で組織化が図られたことにより、産業界や地域社会との連携に前向きに取り組めた。(単一選択式)



※R6は当事業に「関わっている」人に加え、「その他」と回答した人(1.6%(9人))も対象

Q31.学校外の相談先の存在

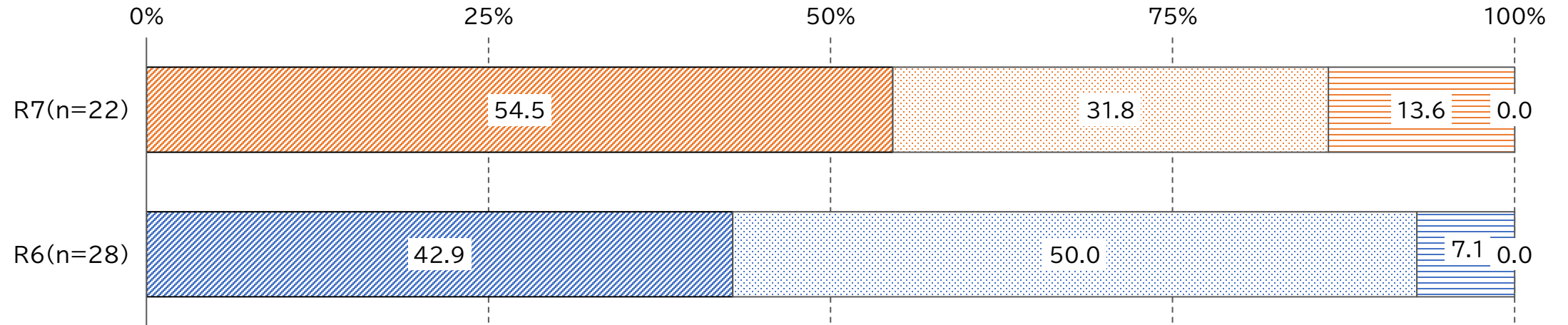
Q31.相談できる学校外の関係機関やコーディネーターがいることで、産業界や地域社会と連携しやすくなった。
(単一選択式)



※R6は当事業に「関わっている」人に加え、「その他」と回答した人(1.6%(9人))も対象

Q32.教員の心理的安全性の確保(Q20で「管理職」と回答した場合)

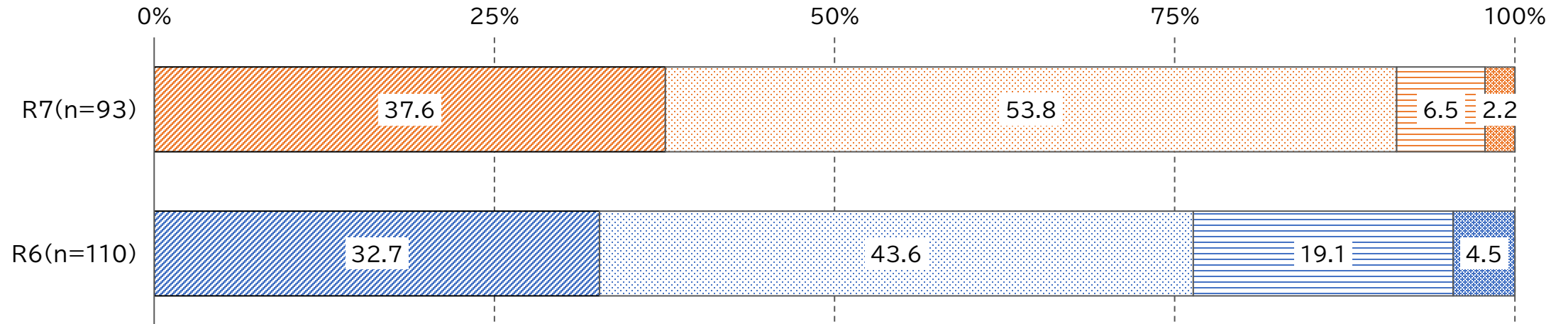
Q32.管理職として、産学連携において、担当者が産業界に自由に意見を述べたり、活動したりできる環境を整えることを心がけましたか。(単一選択式)



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

Q33.教員の心理的安全性の状況(Q20で「担当者」と回答した場合)

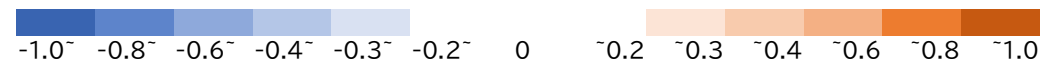
Q33.事業担当者として、産学連携において、産業界側の担当者に対して自由に意見を述べたり、活動したりできましたか。(単一選択式)



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

相関行列

相関係数(絶対値0.2以上で着色)



		教員用アンケート																													
		Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15	Q16	Q17	Q18	Q19	Q21	Q22	Q23	Q24	Q25	Q26	Q27	Q28	Q29	Q30	Q31	Q32	Q33	
教員用アンケート	産学連携の必要性の理解	Q4	1.00	0.85	0.50	0.55	0.53	0.51	0.45	0.50	0.50	0.49	0.46	0.40	0.46	0.41	0.67	0.58	0.60	0.59	0.46	0.30	0.47	0.31	0.40	0.53	0.66	0.52	0.36	0.23	0.47
	学校目標との整合性	Q5	0.85	1.00	0.47	0.52	0.50	0.49	0.47	0.49	0.45	0.45	0.40	0.29	0.36	0.40	0.53	0.52	0.59	0.57	0.43	0.32	0.39	0.35	0.44	0.49	0.60	0.49	0.40	0.28	0.51
	生徒の資質能力の向上	Q6	0.50	0.47	1.00	0.84	0.68	0.73	0.69	0.68	0.61	0.62	0.51	0.42	0.48	0.46	0.45	0.52	0.45	0.47	0.47	0.27	0.45	0.48	0.46	0.59	0.56	0.43	0.33	0.36	0.31
		Q7	0.55	0.52	0.84	1.00	0.65	0.58	0.57	0.64	0.52	0.56	0.56	0.36	0.46	0.46	0.39	0.43	0.40	0.43	0.47	0.24	0.49	0.42	0.41	0.50	0.54	0.43	0.38	0.22	0.34
		Q8	0.53	0.50	0.68	0.65	1.00	0.49	0.52	0.60	0.63	0.48	0.46	0.38	0.48	0.46	0.45	0.56	0.39	0.39	0.36	0.27	0.40	0.40	0.36	0.54	0.54	0.51	0.38	0.45	0.18
		Q9	0.51	0.49	0.73	0.58	0.49	1.00	0.75	0.62	0.64	0.62	0.54	0.37	0.51	0.40	0.39	0.52	0.58	0.55	0.45	0.32	0.40	0.43	0.45	0.50	0.53	0.39	0.37	0.25	0.40
		Q10	0.45	0.47	0.69	0.57	0.52	0.75	1.00	0.74	0.61	0.64	0.53	0.44	0.50	0.51	0.35	0.50	0.49	0.44	0.51	0.31	0.53	0.44	0.39	0.49	0.45	0.48	0.29	0.76	0.46
		Q11	0.50	0.49	0.68	0.64	0.60	0.62	0.74	1.00	0.64	0.53	0.54	0.53	0.55	0.54	0.35	0.46	0.57	0.50	0.49	0.29	0.43	0.45	0.46	0.53	0.54	0.51	0.43	0.51	0.49
		Q12	0.50	0.45	0.61	0.52	0.63	0.64	0.61	0.64	1.00	0.59	0.55	0.48	0.53	0.44	0.46	0.47	0.52	0.55	0.43	0.28	0.42	0.44	0.45	0.58	0.60	0.59	0.42	0.25	0.53
		Q13	0.49	0.45	0.62	0.56	0.48	0.62	0.64	0.53	0.59	1.00	0.62	0.49	0.55	0.48	0.28	0.43	0.53	0.45	0.49	0.34	0.44	0.43	0.34	0.46	0.47	0.49	0.43	0.37	0.41
		Q14	0.46	0.40	0.51	0.56	0.46	0.54	0.53	0.54	0.55	0.62	1.00	0.57	0.52	0.50	0.39	0.48	0.41	0.39	0.61	0.29	0.45	0.42	0.43	0.47	0.45	0.46	0.29	0.10	0.37
		Q15	0.40	0.29	0.42	0.36	0.38	0.37	0.44	0.53	0.48	0.49	0.57	1.00	0.64	0.44	0.31	0.37	0.44	0.35	0.41	0.27	0.44	0.40	0.33	0.40	0.43	0.38	0.26	0.48	0.44
	Q16	0.46	0.36	0.48	0.46	0.48	0.51	0.50	0.55	0.53	0.55	0.52	0.64	1.00	0.72	0.41	0.48	0.64	0.47	0.39	0.39	0.48	0.42	0.50	0.51	0.60	0.57	0.46	0.43	0.41	
	学習機会の提供	Q17	0.41	0.40	0.46	0.46	0.46	0.40	0.51	0.54	0.44	0.48	0.50	0.44	0.72	1.00	0.41	0.37	0.53	0.40	0.45	0.33	0.51	0.40	0.48	0.48	0.58	0.59	0.42	0.41	0.42
	地域産業・企業への理解	Q18	0.67	0.53	0.45	0.39	0.45	0.39	0.35	0.35	0.46	0.28	0.39	0.31	0.41	0.41	1.00	0.67	0.39	0.50	0.42	0.33	0.40	0.28	0.42	0.43	0.50	0.48	0.31	0.12	0.53
	関心を持った学習機会の提供	Q19	0.58	0.52	0.52	0.43	0.56	0.52	0.50	0.46	0.47	0.43	0.48	0.37	0.48	0.37	0.67	1.00	0.44	0.56	0.43	0.22	0.41	0.29	0.39	0.49	0.52	0.44	0.21	-0.04	0.47
	教員の指導力向上	Q21	0.60	0.59	0.45	0.40	0.39	0.58	0.49	0.57	0.52	0.53	0.41	0.44	0.64	0.53	0.39	0.44	1.00	0.62	0.46	0.42	0.55	0.42	0.54	0.55	0.59	0.59	0.49	0.56	0.44
		Q22	0.59	0.57	0.47	0.43	0.39	0.55	0.44	0.50	0.55	0.45	0.39	0.35	0.47	0.40	0.50	0.56	0.62	1.00	0.52	0.30	0.52	0.48	0.46	0.56	0.60	0.52	0.34	-0.13	0.51
		Q23	0.46	0.43	0.47	0.47	0.36	0.45	0.51	0.49	0.43	0.49	0.61	0.41	0.39	0.45	0.42	0.43	0.46	0.52	1.00	0.44	0.48	0.45	0.52	0.48	0.50	0.51	0.39	0.40	0.36
		Q24	0.30	0.32	0.27	0.24	0.27	0.32	0.31	0.29	0.28	0.34	0.29	0.27	0.39	0.33	0.33	0.22	0.42	0.30	0.44	1.00	0.47	0.48	0.50	0.35	0.41	0.35	0.41	0.33	0.28
		Q25	0.47	0.39	0.45	0.49	0.40	0.40	0.53	0.43	0.42	0.44	0.45	0.44	0.48	0.51	0.40	0.41	0.55	0.52	0.48	0.47	1.00	0.68	0.65	0.52	0.57	0.58	0.45	0.52	0.68
		Q26	0.31	0.35	0.48	0.42	0.40	0.43	0.44	0.45	0.44	0.43	0.42	0.40	0.42	0.40	0.28	0.29	0.42	0.48	0.45	0.48	0.68	1.00	0.72	0.50	0.42	0.51	0.48	0.55	0.30
		Q27	0.40	0.44	0.46	0.41	0.36	0.45	0.39	0.46	0.45	0.34	0.43	0.33	0.50	0.48	0.42	0.39	0.54	0.46	0.52	0.50	0.65	0.72	1.00	0.66	0.55	0.54	0.55	0.38	0.57
		Q28	0.53	0.49	0.59	0.50	0.54	0.50	0.49	0.53	0.58	0.46	0.47	0.40	0.51	0.48	0.43	0.49	0.55	0.56	0.48	0.35	0.52	0.50	0.66	1.00	0.75	0.64	0.41	0.38	0.51
		Q29	0.66	0.60	0.56	0.54	0.54	0.53	0.45	0.54	0.60	0.47	0.45	0.43	0.60	0.58	0.50	0.52	0.59	0.60	0.50	0.41	0.57	0.42	0.55	0.75	1.00	0.77	0.52	0.45	0.50
		校内体制の改善	Q30	0.52	0.49	0.43	0.43	0.51	0.39	0.48	0.51	0.59	0.49	0.46	0.38	0.57	0.59	0.48	0.44	0.59	0.52	0.51	0.35	0.58	0.51	0.54	0.64	0.77	1.00	0.60	0.67
	Q31		0.36	0.40	0.33	0.38	0.38	0.37	0.29	0.43	0.42	0.43	0.29	0.26	0.46	0.42	0.31	0.21	0.49	0.34	0.39	0.41	0.45	0.48	0.55	0.41	0.52	0.60	1.00	0.33	0.31
	教員の心理的安全性の確保	Q32	0.23	0.28	0.36	0.22	0.45	0.25	0.76	0.51	0.25	0.37	0.10	0.48	0.43	0.41	0.12	-0.04	0.56	-0.13	0.40	0.33	0.52	0.55	0.38	0.38	0.45	0.67	0.33	1.00	
		Q33	0.47	0.51	0.31	0.34	0.18	0.40	0.46	0.49	0.53	0.41	0.37	0.44	0.41	0.42	0.53	0.47	0.44	0.51	0.36	0.28	0.68	0.30	0.57	0.51	0.50	0.58	0.31		1.00

※いずれもポリコリク相関係数として算出。

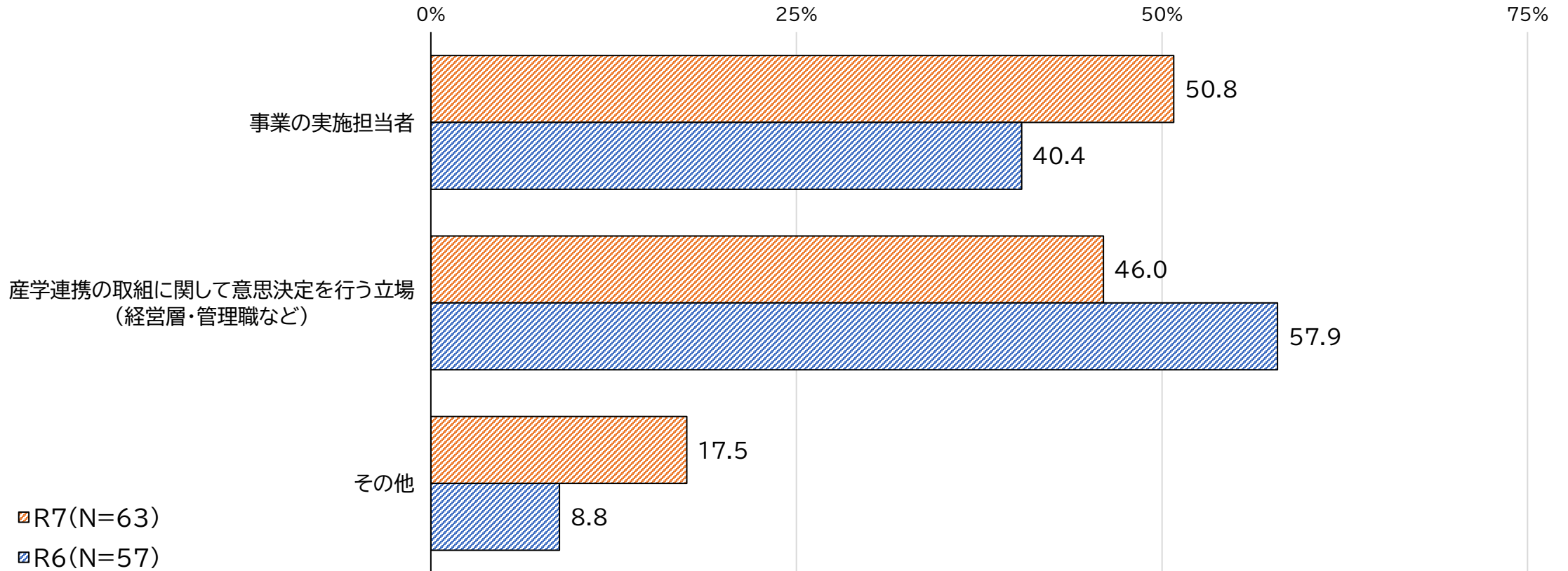
※Q32は標本数が少なく(n=22)、推定が安定しないため、解釈は慎重に行う必要がある。

※黄色:成果に相当する項目

5.産業界用アンケート

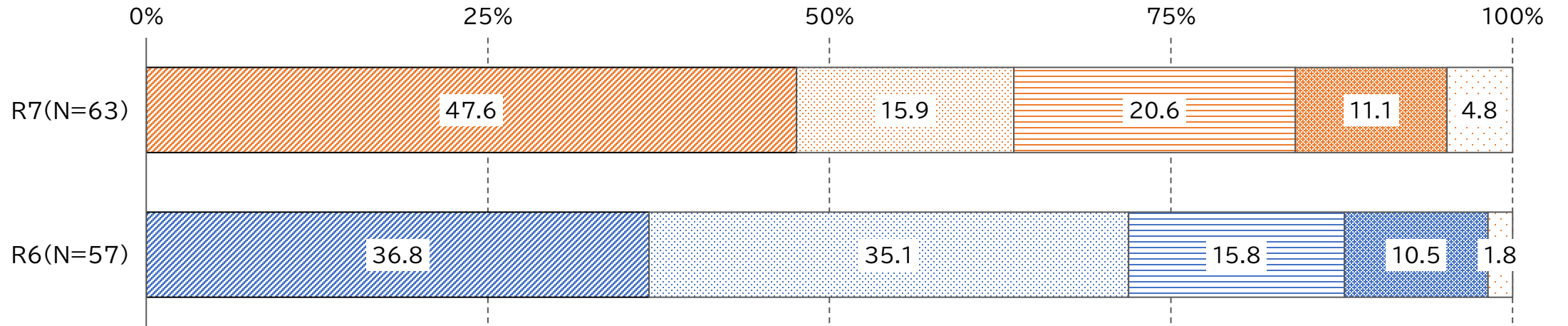
Q2.担当者の属性

Q2.このアンケートに回答している方の職務を教えてください。当てはまるものを選択してください。(複数選択式)



Q4.産学連携歴

Q4.貴団体では、いつから産学連携の取組を実施していますか？
(単一選択式)

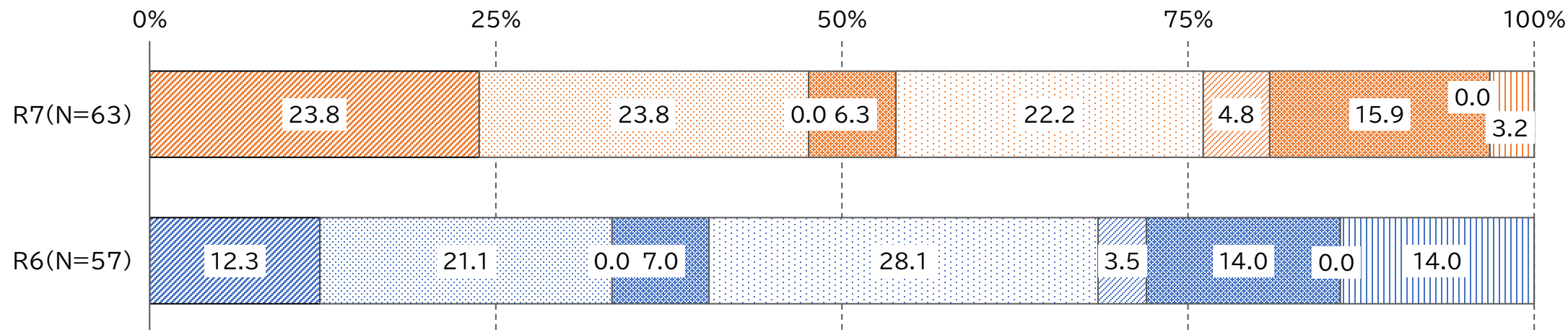


- 2022年度以降から実施(1~3年前から)
- 2017年度以前から実施(7年以上前から継続して実施)
- 2018年度~2021年度から実施(4~6年前から)
- いつからか不明
- その他

※R6は括弧内が異なり、「2022年度以降から実施(1~2年前から)」、「2018年度~2021年度から実施(3~5年前から)」、「2017年度以前から実施(6年以上前から継続して実施)」。

Q5.産学連携の目的

Q5.貴団体が産学連携に取り組む目的について、最も大きな理由を1つ選択してください。
(単一選択式)



■新規採用人材を確保するため

■社員のスキルアップや研修の一環として

■社会的貢献やCSR(企業の社会的責任)活動として

■学校からの依頼に応じたため

■その他

■生徒に、産業界等のニーズに即したスキルや知識を獲得してもらうため

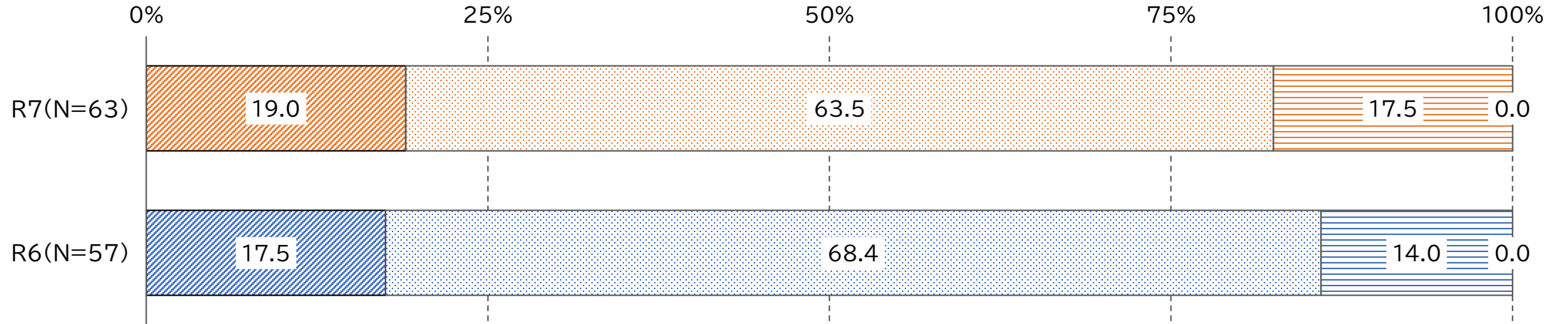
■貴団体の地域における認知度を向上させるため

■学校との共同プロジェクト等を通じて、新しい技術や製品、サービスの開発を促進するため

■まだ具体的な目的は明確にできていない

Q6.産学連携目的の重要性

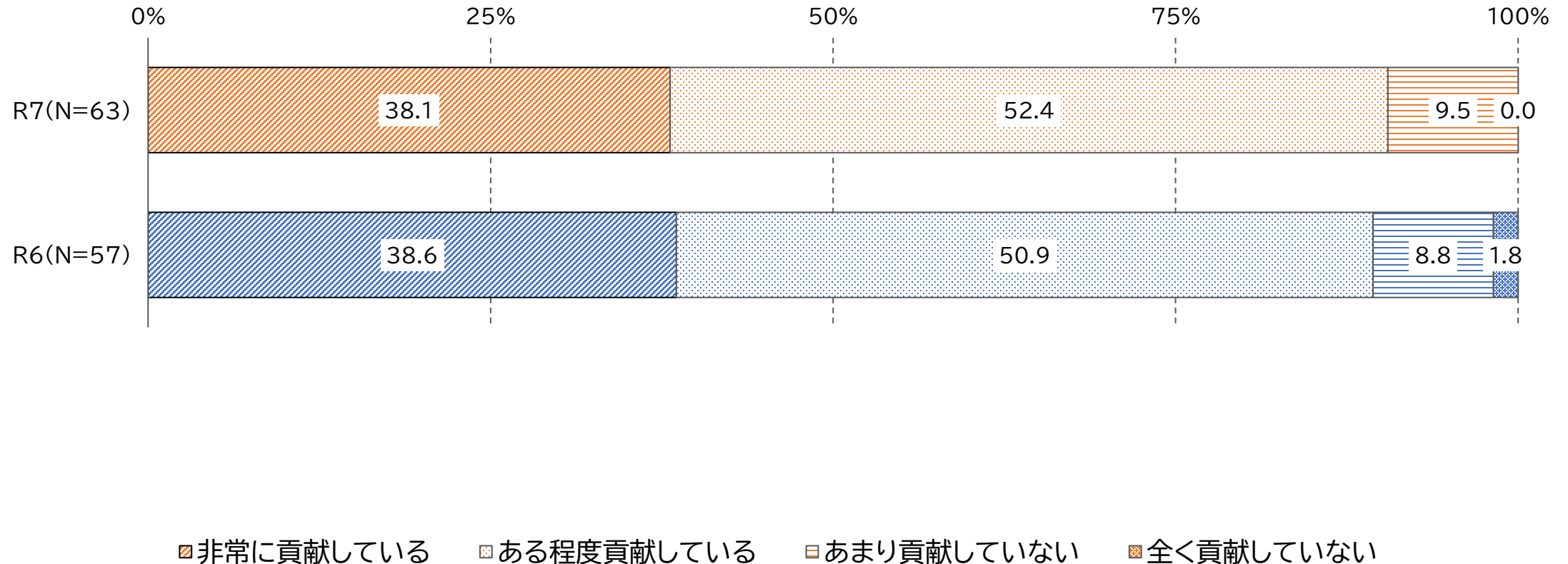
Q6.前の質問で選んだ目的について、どのくらい重要だと考えていますか。(単一選択式)



- 貴団体としての最重要課題である
- 確実に取り組むべき重要な課題である
- 優先度は高くないが、取り組むべき課題である
- 取り組む必要性は低い課題である

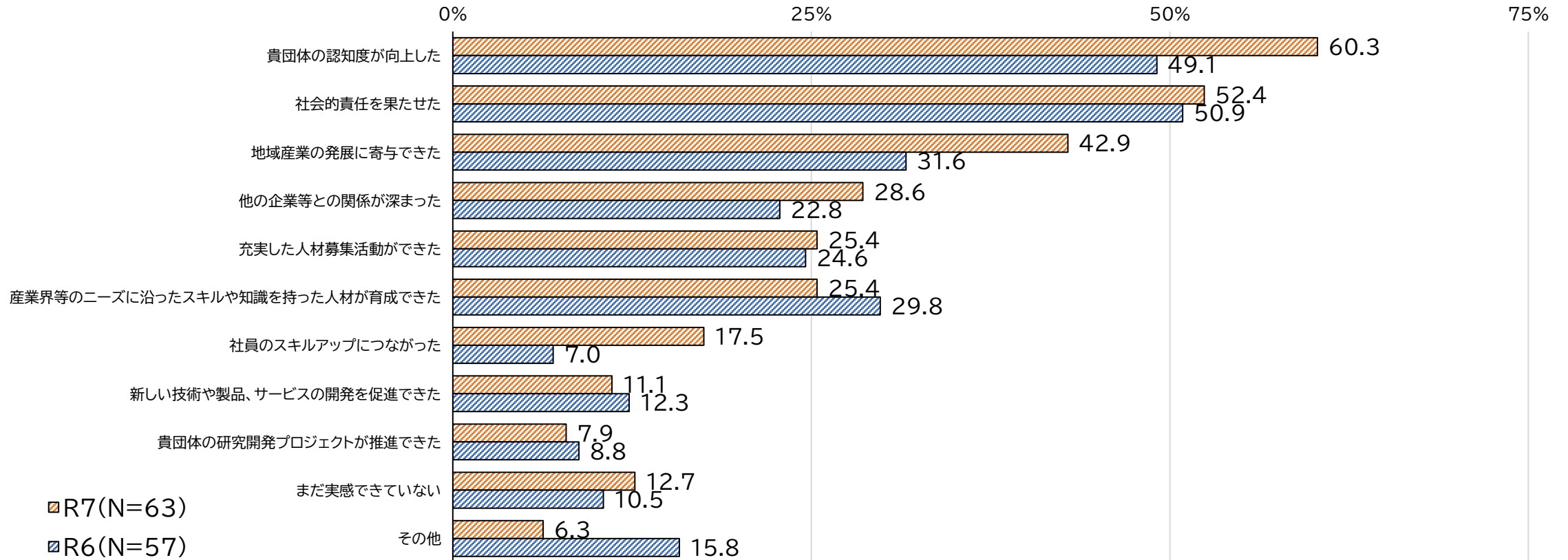
Q7.産学連携の団体の目標やビジョンへの貢献度

Q7.産学連携の活動が、貴団体の目標やビジョンに対してどれくらい貢献していると感じますか。(単一選択式)



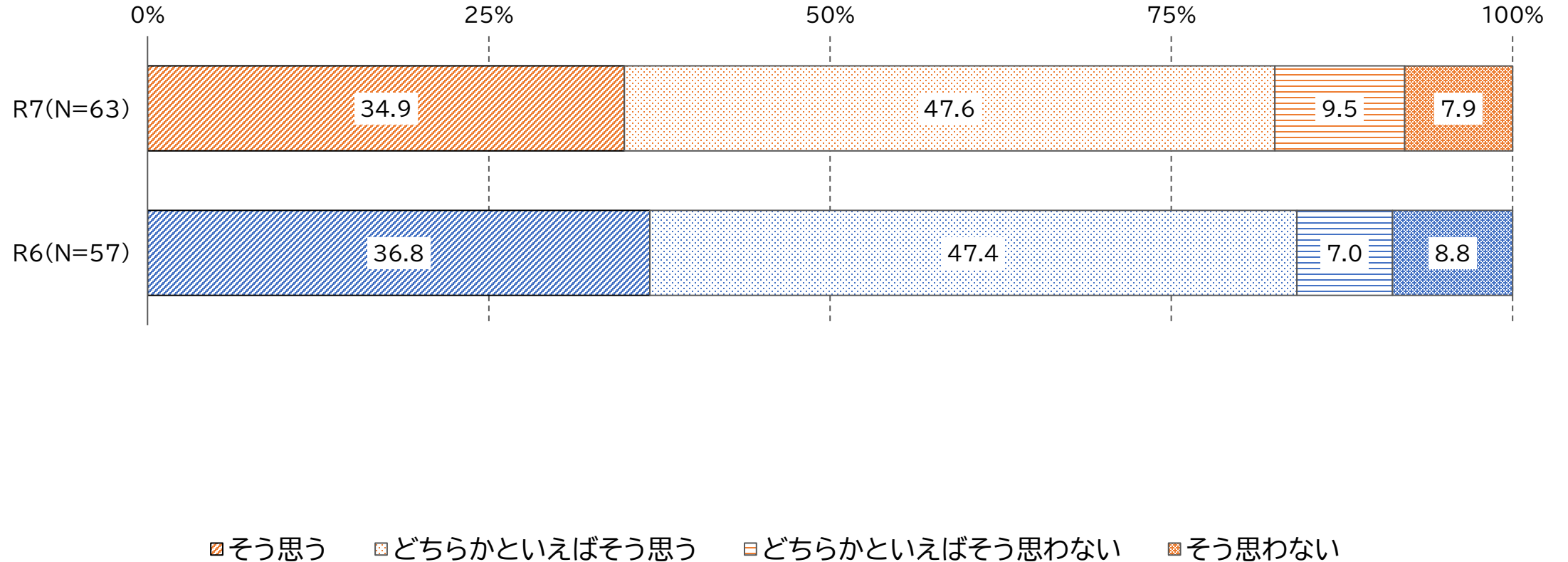
Q8.産学連携の効果

Q8.産学連携の取組を通じて、貴団体として実感しているメリットを全て選択してください。(複数選択式)



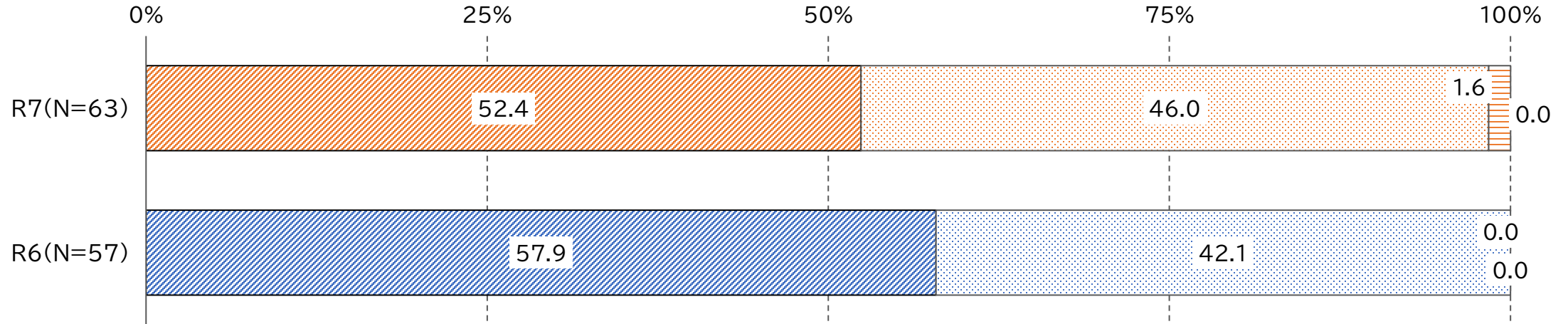
Q9.採用活動のしやすさ

Q9.学校が産学連携に取り組むようになったことで、学校に対する採用活動がやりやすくなったと思いますか。
(単一選択式)



Q10.産学連携の取組の継続意向

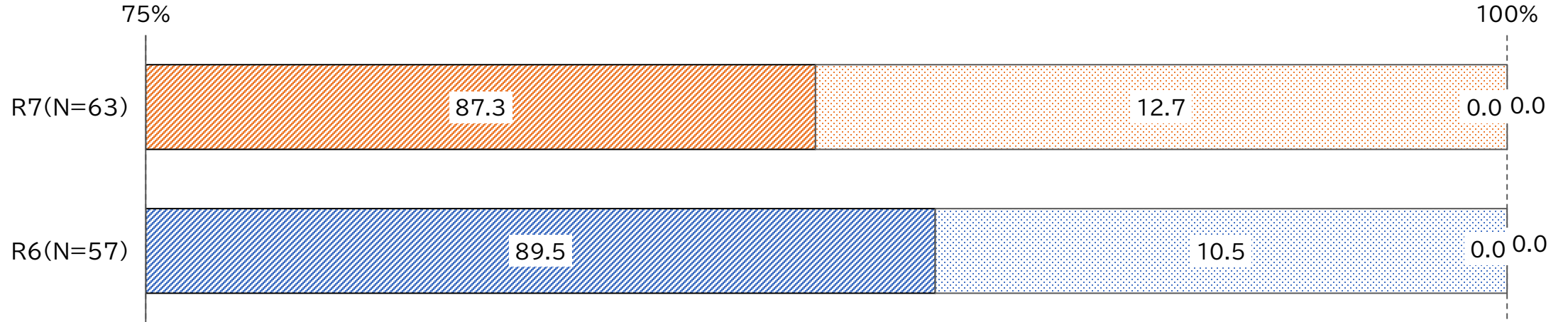
Q10.今後も産学連携の取組を続けたいと考えていますか。
(単一選択式)



■必ず続けたい ■できれば続けたい ■あまり続けたくない ■続けたくない

Q11.産学連携意義・必要性の認識

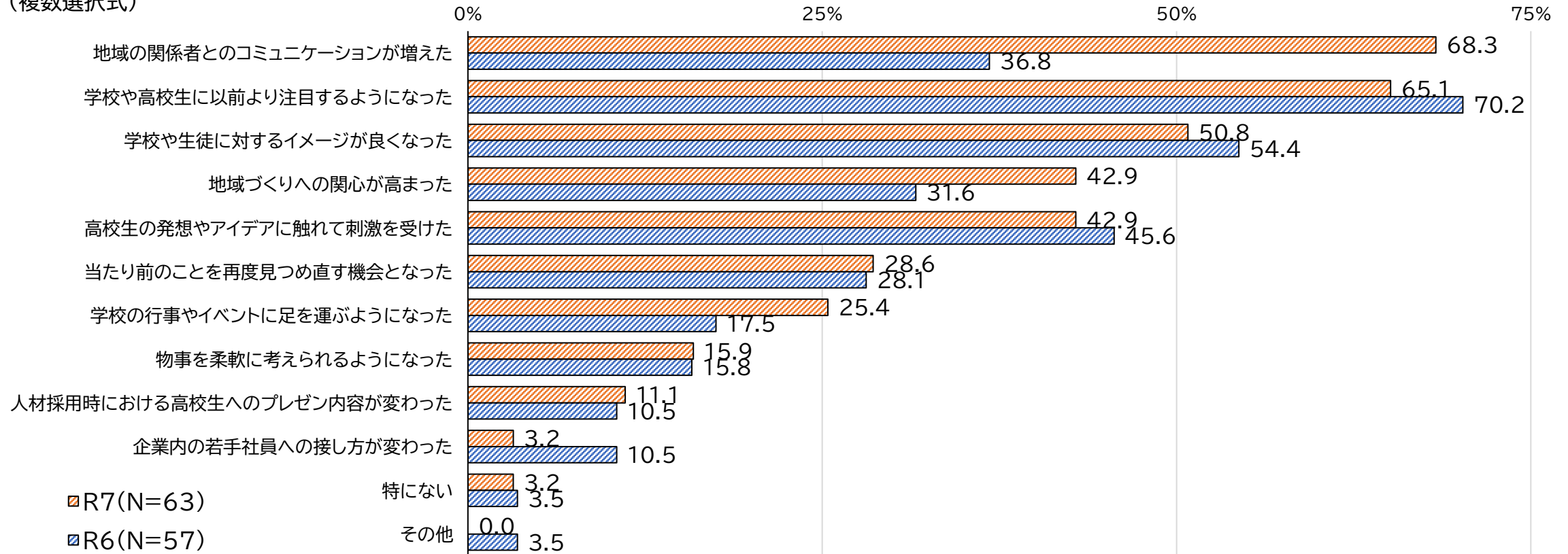
Q11.あなたは、産業界と学校との連携の意義や必要性をどの程度感じていますか。
(単一選択式)



■とても感じている ■少し感じている ■あまり感じていない ■感じていない

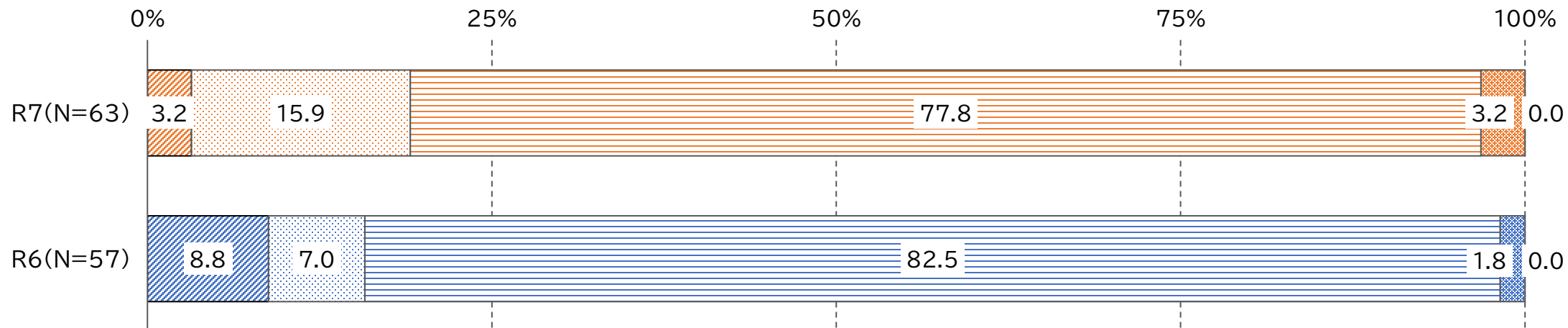
Q12.担当者の意識や行動の変化

Q12.学校教育に関わったことによって、担当者の意識や行動になにか変化はありましたか。当てはまる項目を全て選択してください。
(複数選択式)



Q13. 互恵関係の成立

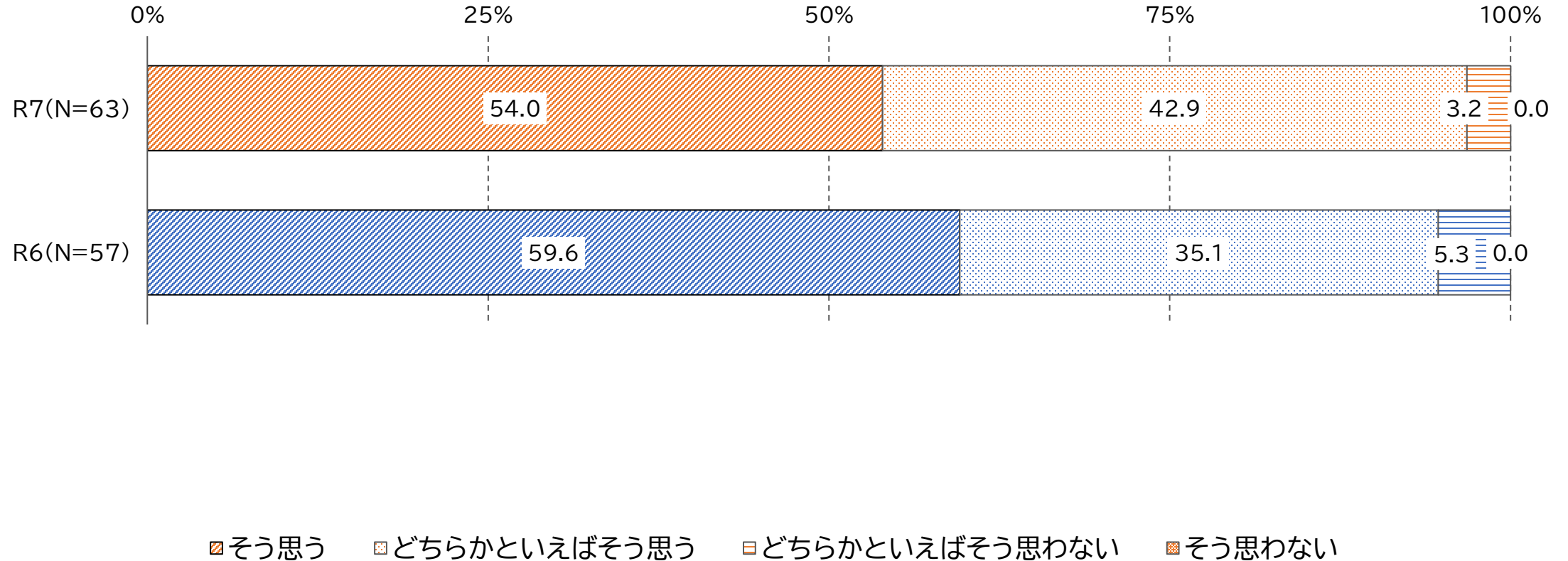
Q13. 貴団体は、連携している学校と、互いに利益を得られる関係(互恵関係)にあると思いますか？
最も当てはまるものを選択してください。(単一選択式)



- 学校側に恩恵がある
- 互恵関係である
- 企業・団体等側に恩恵がある
- どちらかといえば学校側に恩恵がある
- どちらかといえば企業・団体等側に恩恵がある

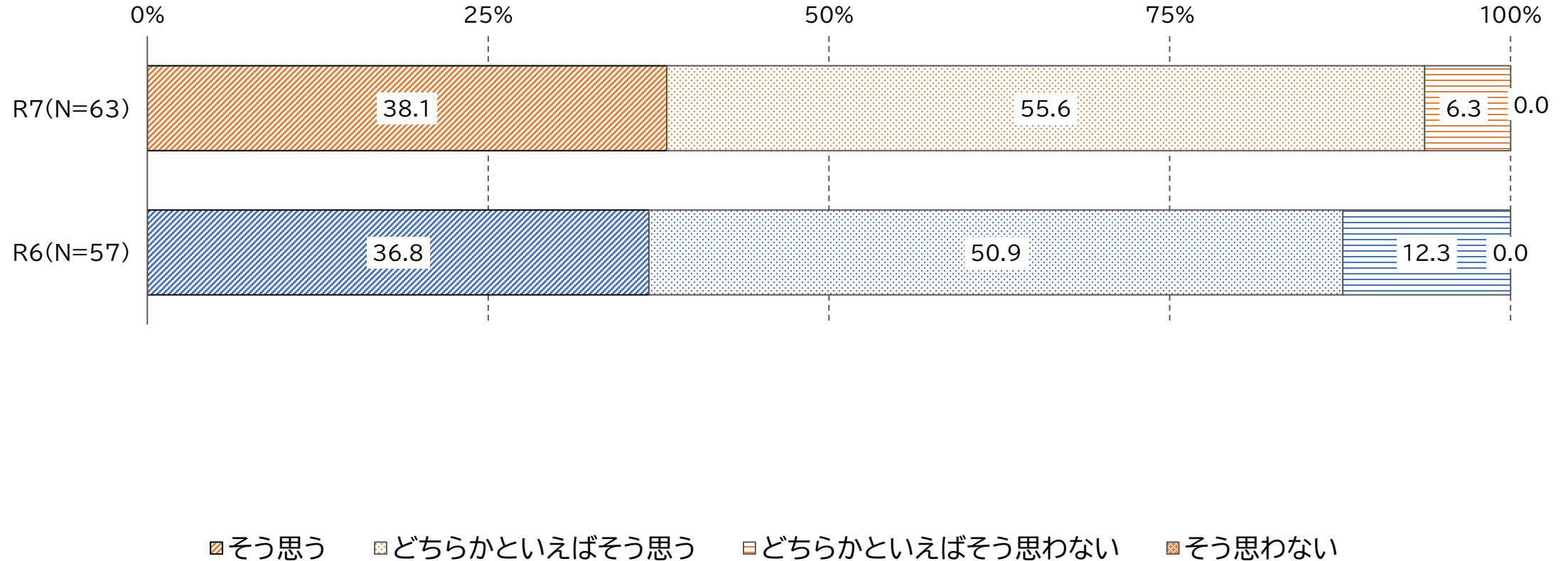
Q14.連携意義・必要性の認識

Q14.連携している学校の産学連携の目的を十分に理解している。(単一選択式)



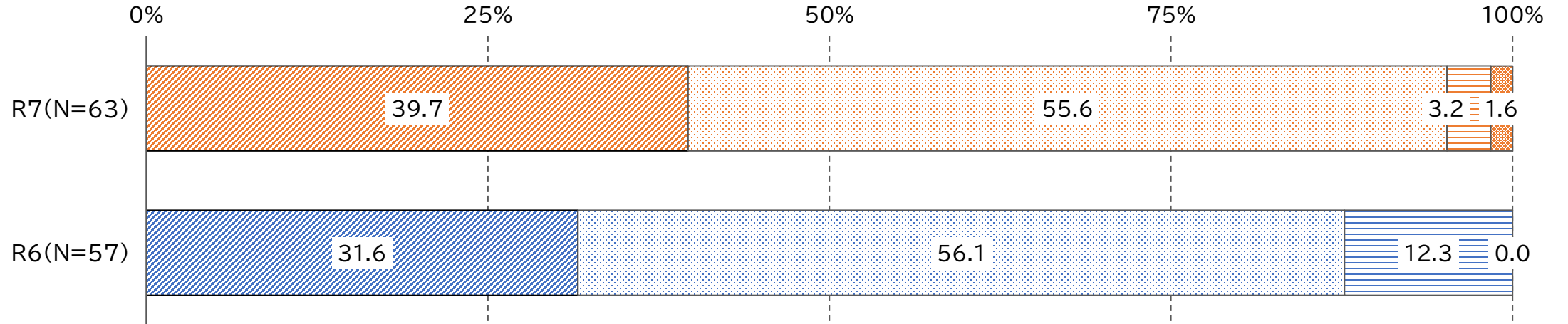
Q15.連携先への理解

Q15.学校と連携してどのような取組ができるのか、十分に把握できている。(単一選択式)



Q16.連携先からの理解

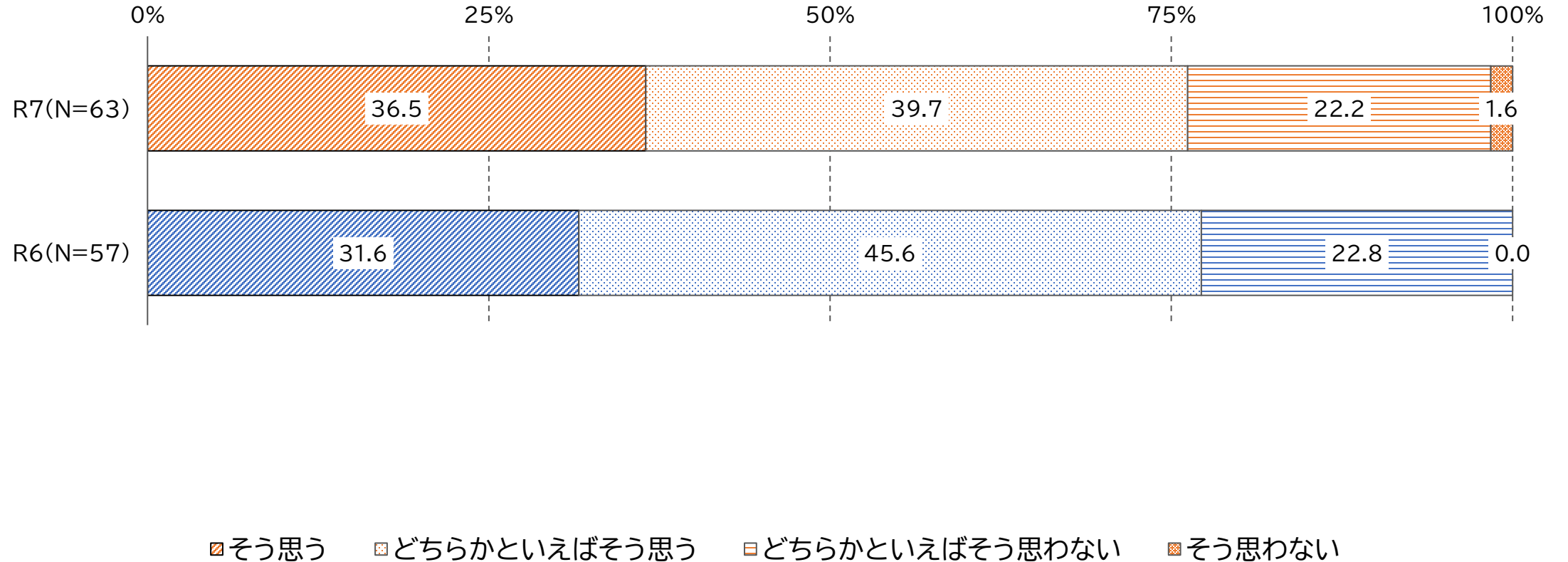
Q16.貴団体としての産学連携の目的が、連携先の学校に十分伝わっている。(単一選択式)



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

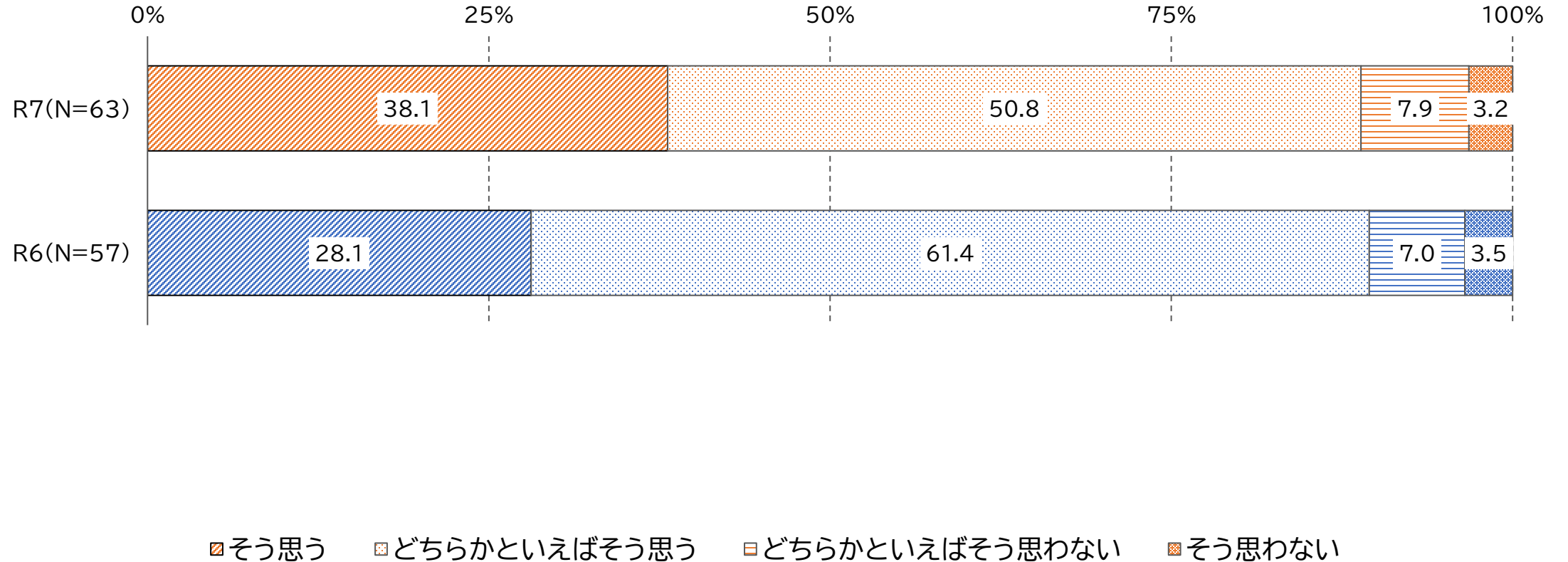
Q17.良好な関係性

Q17.産学連携の取組内容について、学校に対して積極的に提案している。(単一選択式)



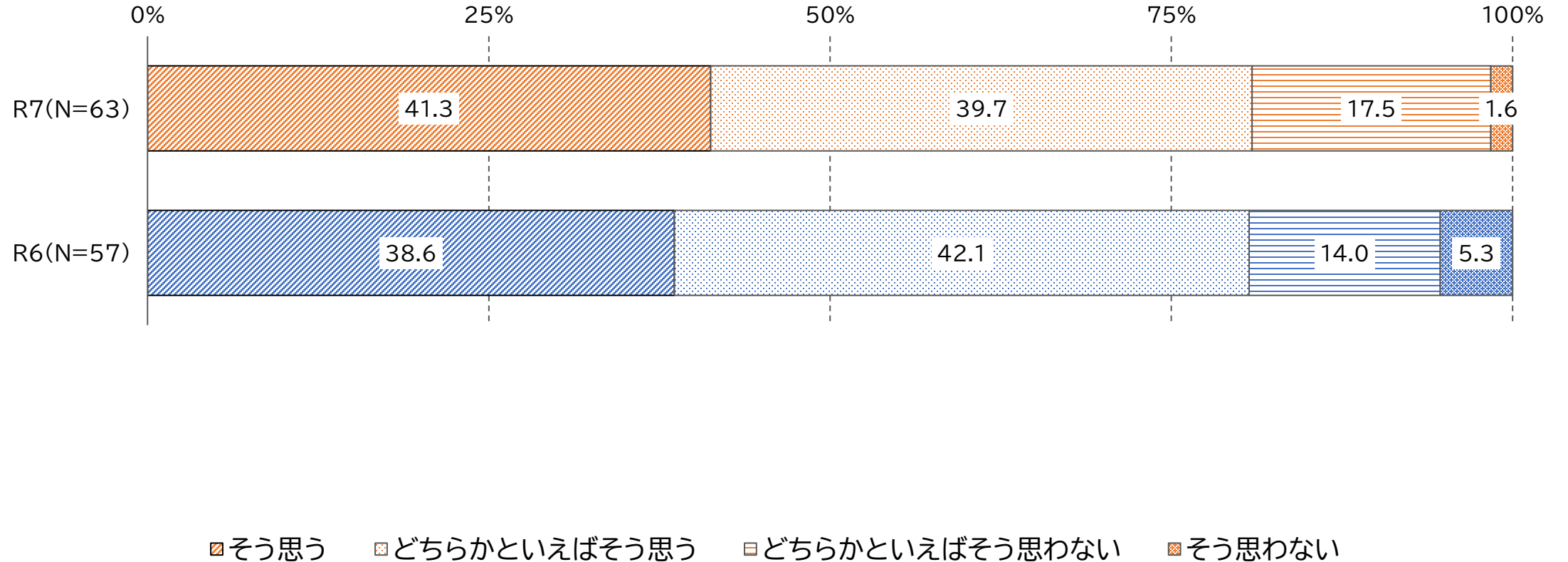
Q18.課題感の反映

Q18.現在の取組は、学校と企業・団体の双方の課題を踏まえた内容になっている。(単一選択式)



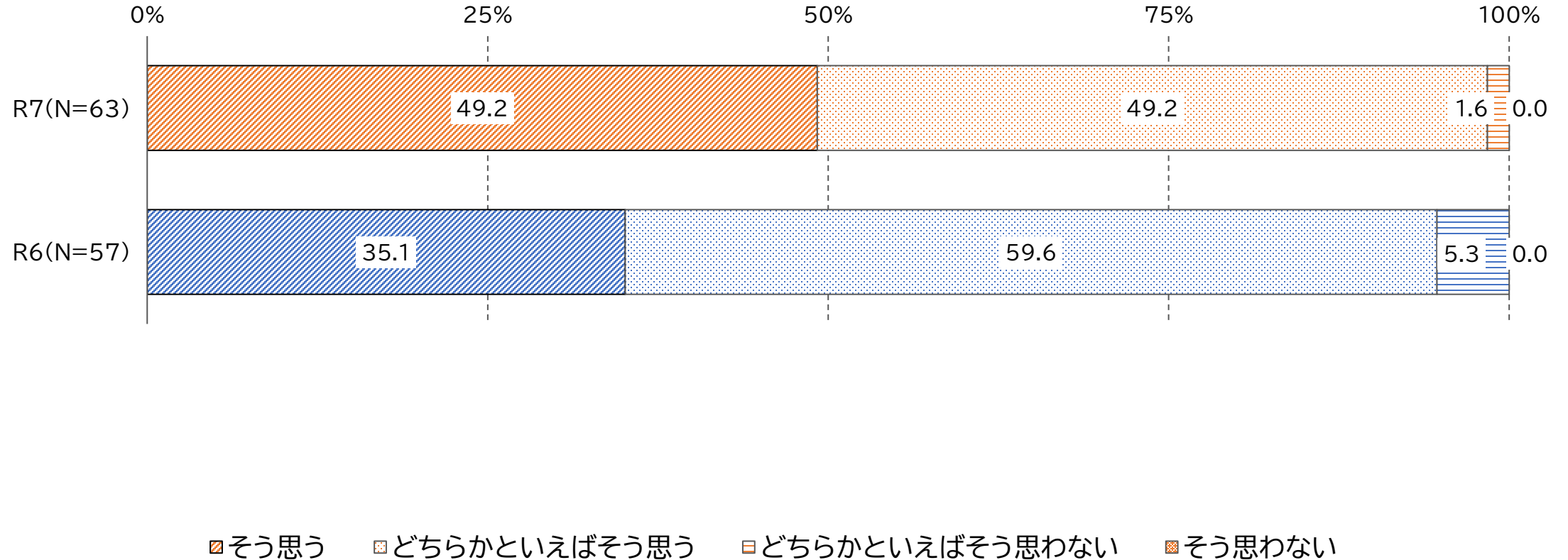
Q19.双方の課題を踏まえたビジョン協議

Q19.学校と企業・団体の双方の課題を踏まえた共通のビジョンを協議する場があった。(単一選択式)



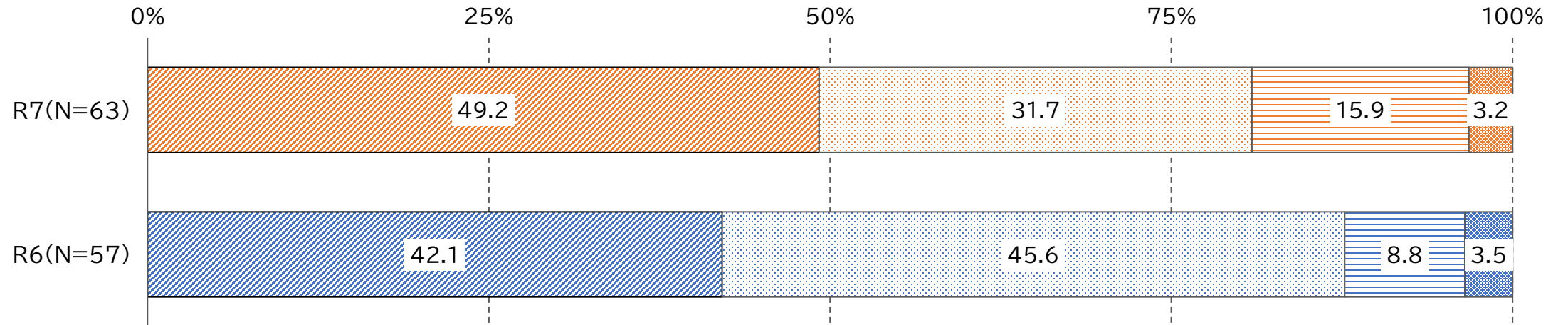
Q20.適切な役割分担

Q20.産学連携の取組を進める中で、貴団体が担う役割は適切だと思う。(単一選択式)



Q21.継続性(企業・団体側)

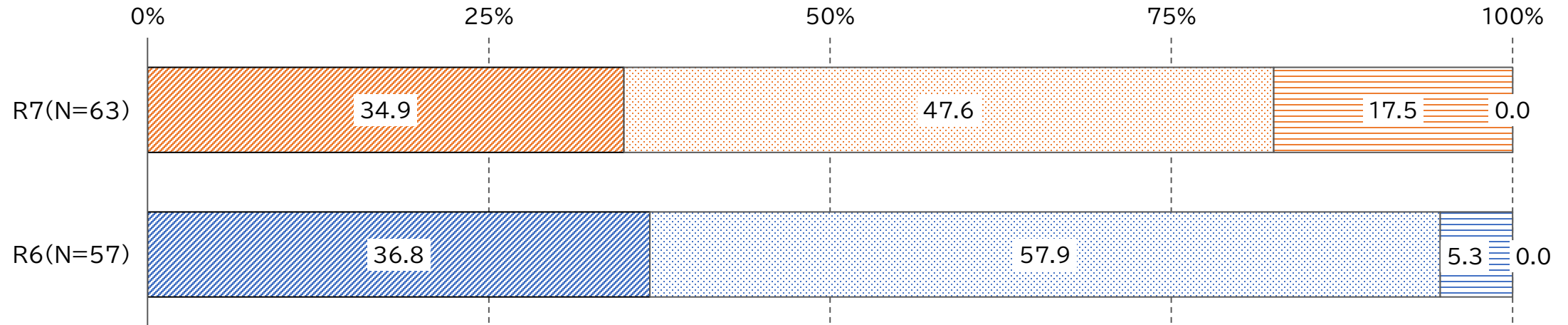
Q21.貴団体の担当者が変わっても、産学連携の取組を今後も継続できる。(単一選択式)



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

Q22.継続性(学校側)

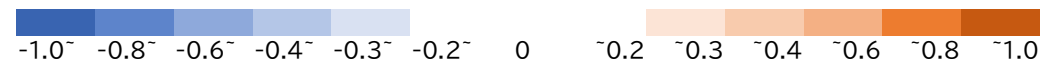
Q22.学校側の担当者が変わっても、産学連携の取組を今後も継続できる。(単一選択式)



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

相関行列

相関係数(絶対値0.2以上で着色)



		産業界用アンケート																
		Q4	Q6	Q7	Q9	Q10	Q11	Q13	Q14	Q15	Q16	Q17	Q18	Q19	Q20	Q21	Q22	
産業界用アンケート	産学連携歴	Q4	1.00	0.07	0.01	0.04	0.29	0.20	-0.03	0.39	0.15	-0.05	0.03	0.04	-0.05	0.06	0.00	0.15
	産学連携目的の重要性	Q6	0.07	1.00	0.59	0.24	0.45	0.37	-0.06	0.14	0.35	0.19	0.29	0.09	0.33	0.47	0.12	0.23
	産学連携による企業・団体目標やビジョンへの貢献度	Q7	0.01	0.59	1.00	0.40	0.60	0.71	0.16	0.44	0.57	0.53	0.57	0.50	0.56	0.65	0.13	0.03
	採用活動のしやすさ	Q9	0.04	0.24	0.40	1.00	0.42	0.55	0.25	0.39	0.43	0.50	0.35	0.47	0.39	0.30	0.20	0.18
	産学連携の継続意欲	Q10	0.29	0.45	0.60	0.42	1.00	0.71	0.12	0.59	0.56	0.54	0.52	0.56	0.52	0.68	0.35	0.24
	産学連携意義・必要性の認識	Q11	0.20	0.37	0.71	0.55	0.71	1.00	0.13	0.39	0.60	0.63	0.65	0.61	0.57	0.54	0.31	0.05
	互惠関係の成立	Q13	-0.03	-0.06	0.16	0.25	0.12	0.13	1.00	0.32	0.05	0.12	0.16	0.29	0.08	0.08	0.08	-0.08
	連携意義・必要性の認識	Q14	0.39	0.14	0.44	0.39	0.59	0.39	0.32	1.00	0.64	0.52	0.50	0.65	0.55	0.54	0.21	0.24
	連携先への理解	Q15	0.15	0.35	0.57	0.43	0.56	0.60	0.05	0.64	1.00	0.65	0.52	0.58	0.54	0.54	0.18	0.27
	連携先からの理解	Q16	-0.05	0.19	0.53	0.50	0.54	0.63	0.12	0.52	0.65	1.00	0.61	0.57	0.56	0.52	0.26	0.12
	良好な関係性	Q17	0.03	0.29	0.57	0.35	0.52	0.65	0.16	0.50	0.52	0.61	1.00	0.56	0.62	0.59	0.19	0.05
	課題感の反映	Q18	0.04	0.09	0.50	0.47	0.56	0.61	0.29	0.65	0.58	0.57	0.56	1.00	0.57	0.49	0.32	0.20
	双方の課題を踏まえたビジョン協議	Q19	-0.05	0.33	0.56	0.39	0.52	0.57	0.08	0.55	0.54	0.56	0.62	0.57	1.00	0.50	0.25	0.11
	適切な役割分担	Q20	0.06	0.47	0.65	0.30	0.68	0.54	0.08	0.54	0.54	0.52	0.59	0.49	0.50	1.00	0.37	0.25
	継続性(企業・団体側)	Q21	0.00	0.12	0.13	0.20	0.35	0.31	0.08	0.21	0.18	0.26	0.19	0.32	0.25	0.37	1.00	0.68
継続性(学校側)	Q22	0.15	0.23	0.03	0.18	0.24	0.05	-0.08	0.24	0.27	0.12	0.05	0.20	0.11	0.25	0.68	1.00	

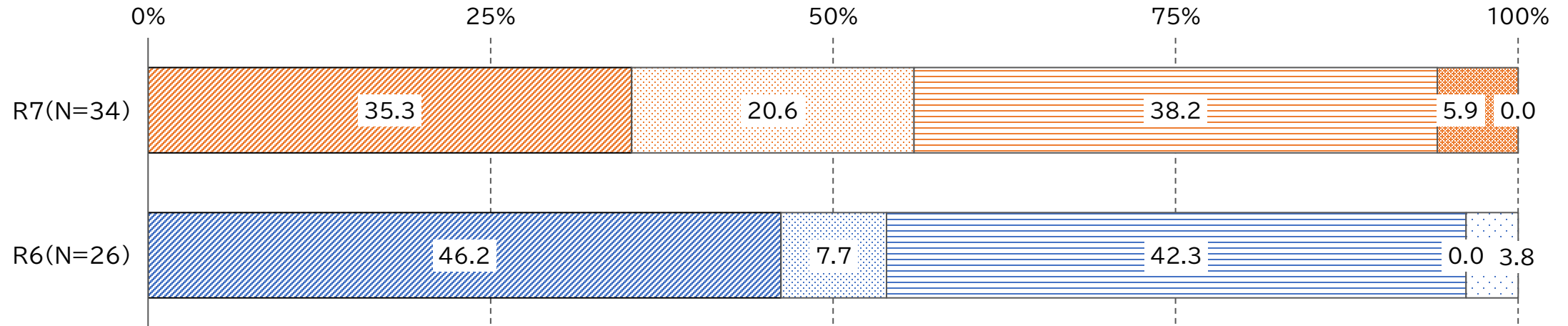
※いずれもポリコリック相関係数として算出。

※黄色:成果に相当する項目

4.自治体用アンケート

Q4.産学連携歴

Q4.貴自治体は、対象の学校と企業などが連携して行う教育活動(産学連携)に、いつから関わっていますか。
(単一選択式)

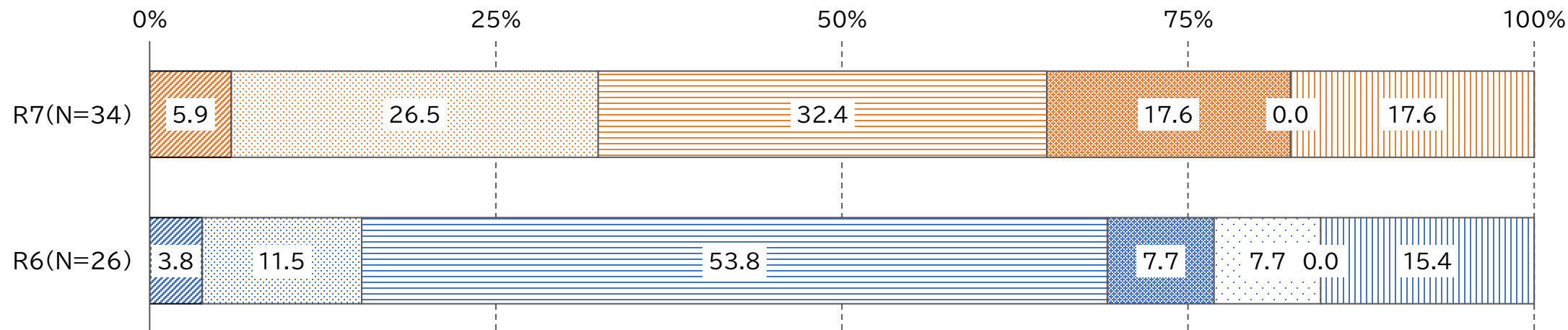


- 2022年度以降から実施(1~3年前から)
- 2017年度以前から実施(7年以上前から継続して実施)
- 2018年度~2021年度から実施(4~6年前から)
- いつからか不明
- その他

※R6は括弧内が異なり、「2022年度以降から実施(1~2年前から)」、「2018年度~2021年度から実施(3~5年前から)」、「2017年度以前から実施(6年以上前から継続して実施)」。

Q5.産学連携の目的

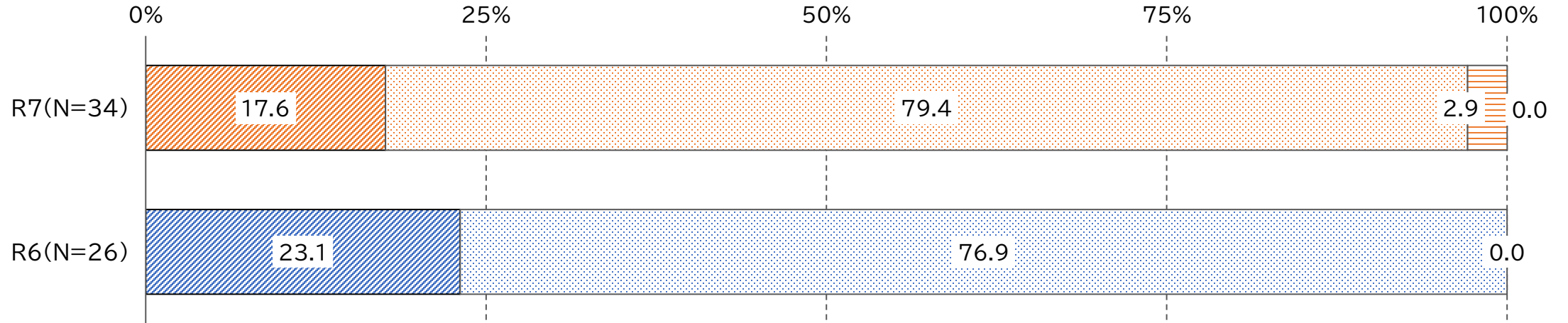
Q5.貴自治体が産学連携に取り組む最も大きな理由を1つ選択してください。
(単一選択式)



- 学校を存続させるため
- 地域産業の活性化のため
- 産業界が求める人材を育成するため
- 若者の地元定着を促進するため
- 地域の社会問題(少子高齢化、人口減少など)の解決に寄与するため
- 目的はまだ明確にできていない
- その他

Q6.産学連携目的の重要性

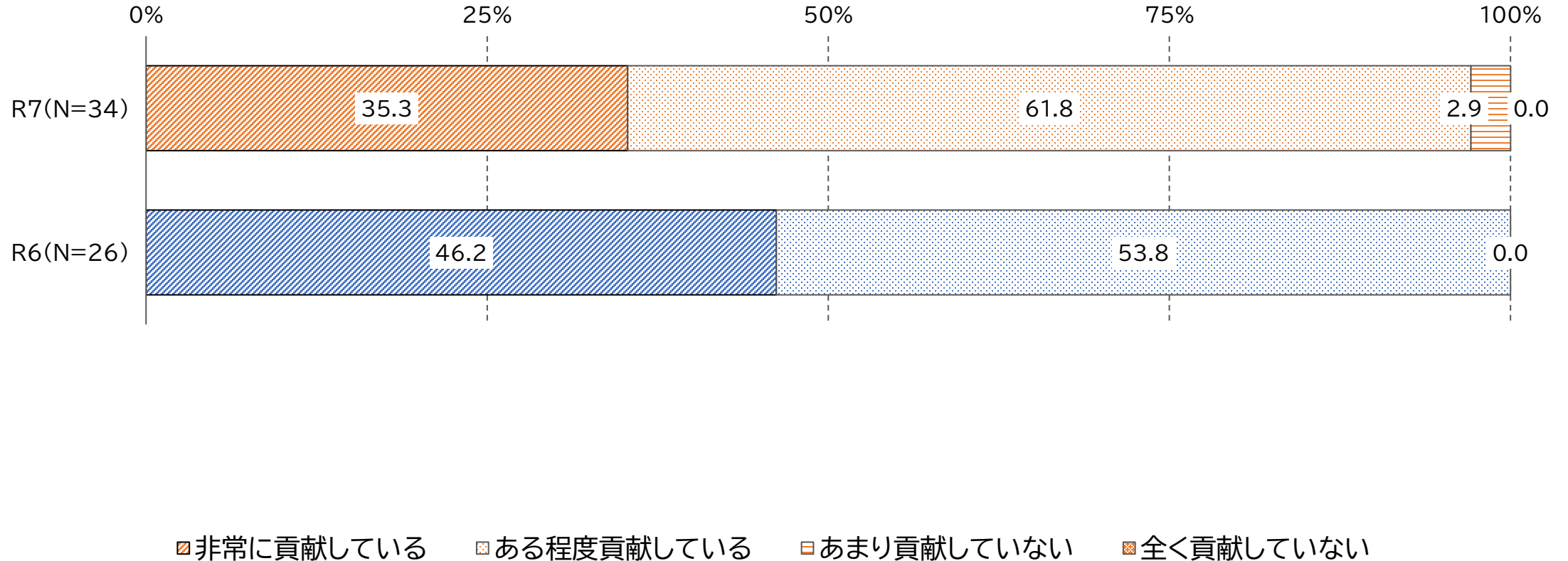
Q6.前の質問で挙げた目的について、どのくらい重要だと考えていますか。
(単一選択式)



- 貴自治体としての最重要課題である
- 確実に取り組むべき重要な課題である
- 優先度は高くないが、取り組むべき課題である
- 取り組む必要性は低い課題である

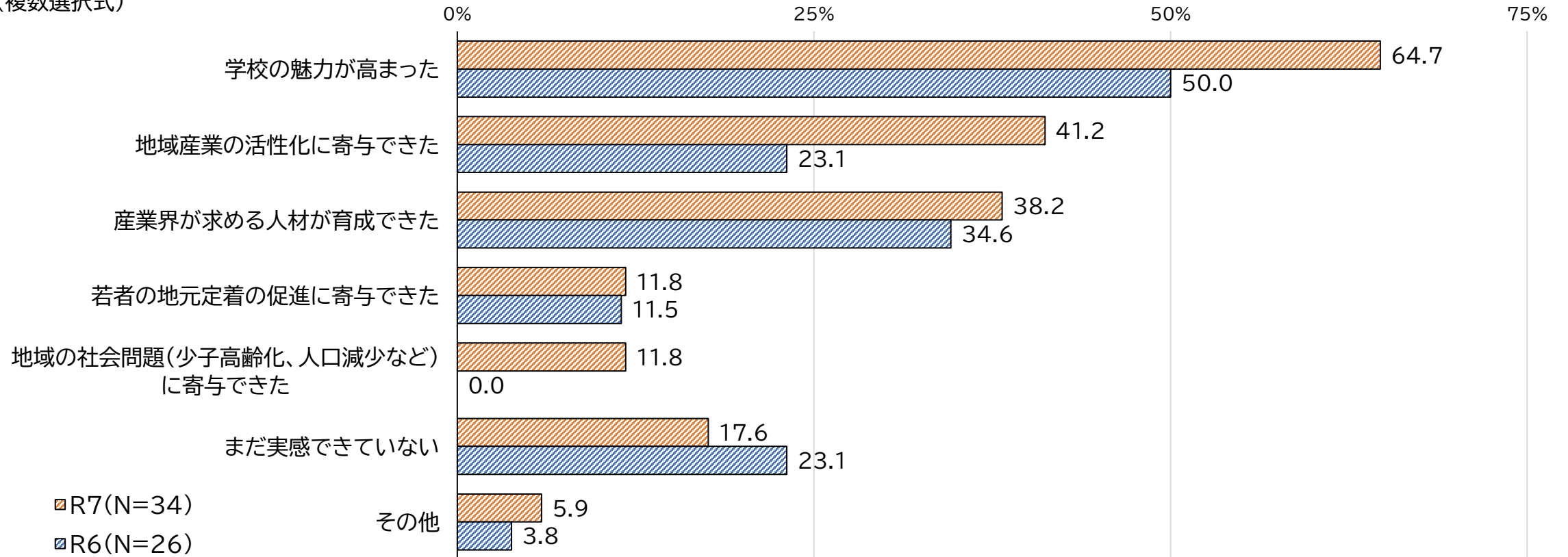
Q7.産学連携の自治体目標・ビジョンへの貢献度

Q7.産学連携の活動が、貴自治体の目標やビジョンに対してどれくらい貢献していると感じますか？
(単一選択式)



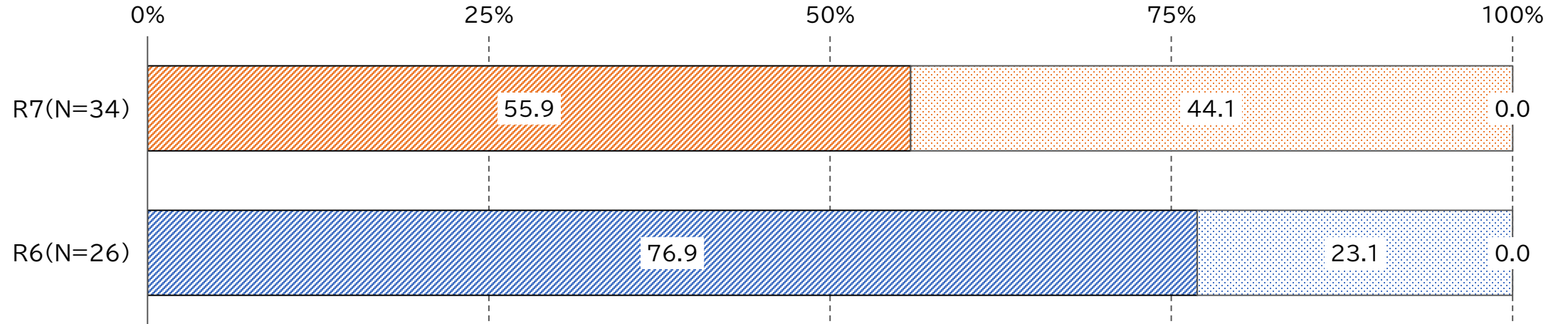
Q8.産学連携の効果

Q8.産学連携の取組を通じて、貴自治体として実感しているメリットを教えてください。
(複数選択式)



Q9. 産学連携の取組の継続意向

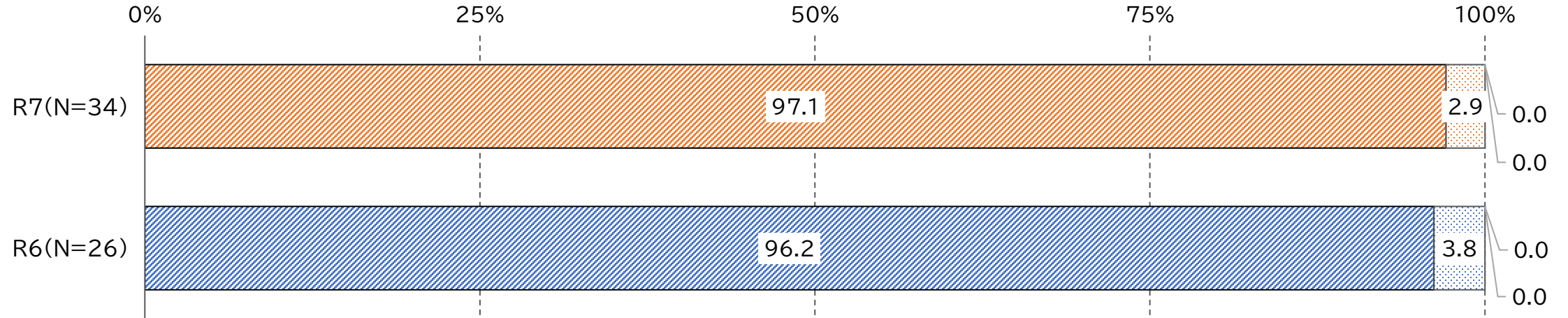
Q9. 今後も産学連携の取組を続けたいと考えていますか。(単一選択式)



■必ず続けたい ■できれば続けたい ■あまり続けたくない ■続けたくない

Q10.産学連携意義・必要性の認識

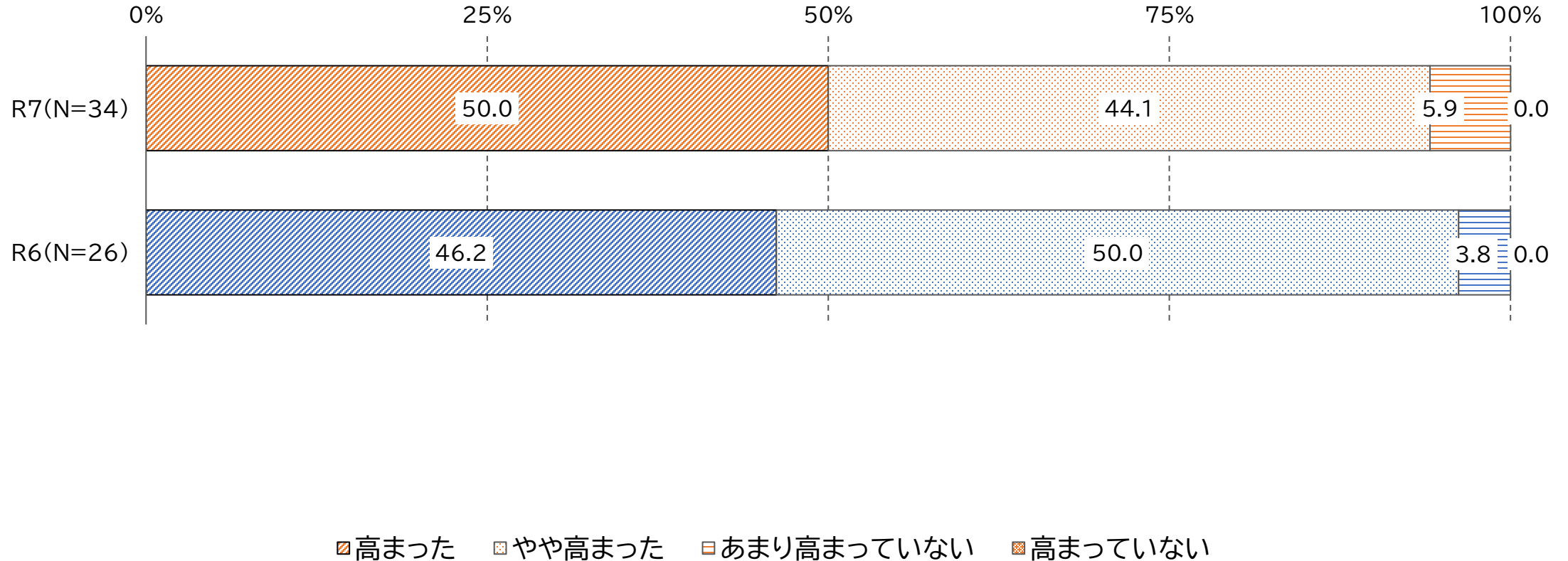
Q10.あなたは、産業界と学校との連携の意義や必要性をどの程度感じていますか。(単一選択式)



■とても感じている ■少し感じている ■あまり感じていない ■感じていない

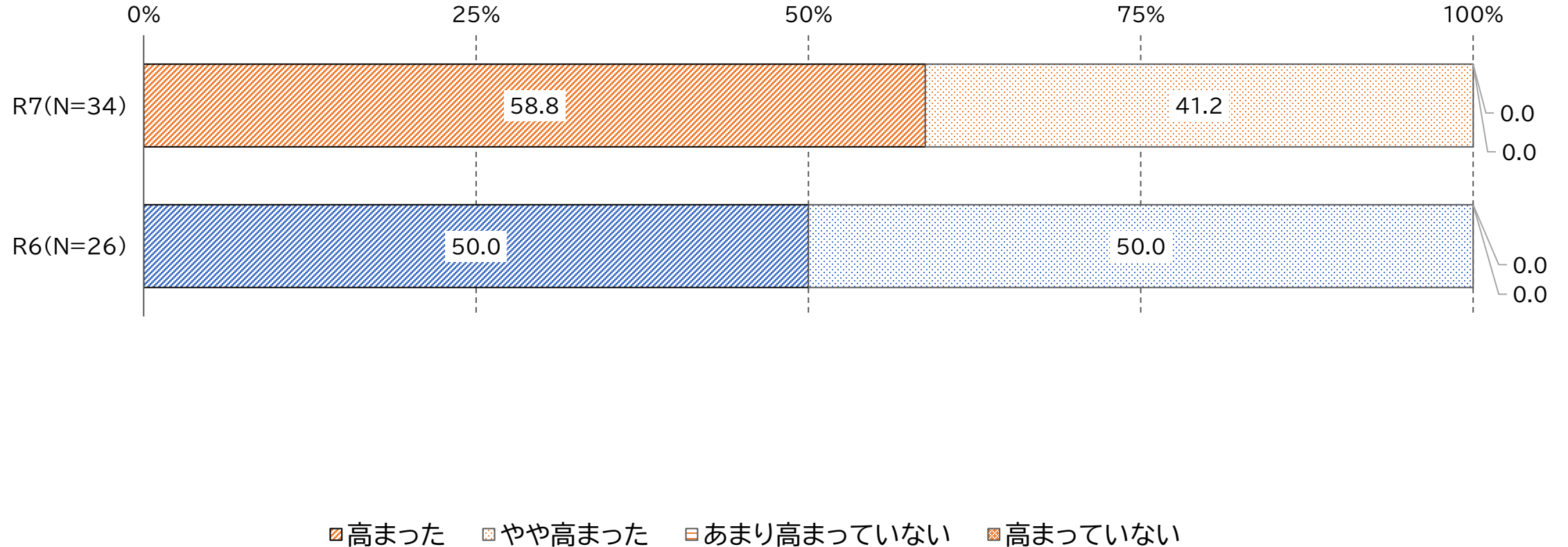
Q11.議会等からの理解

Q11.学校の産学連携を支援した結果、貴自治体の首長や議会等において、産学連携への理解は高まりましたか。
(単一選択式)



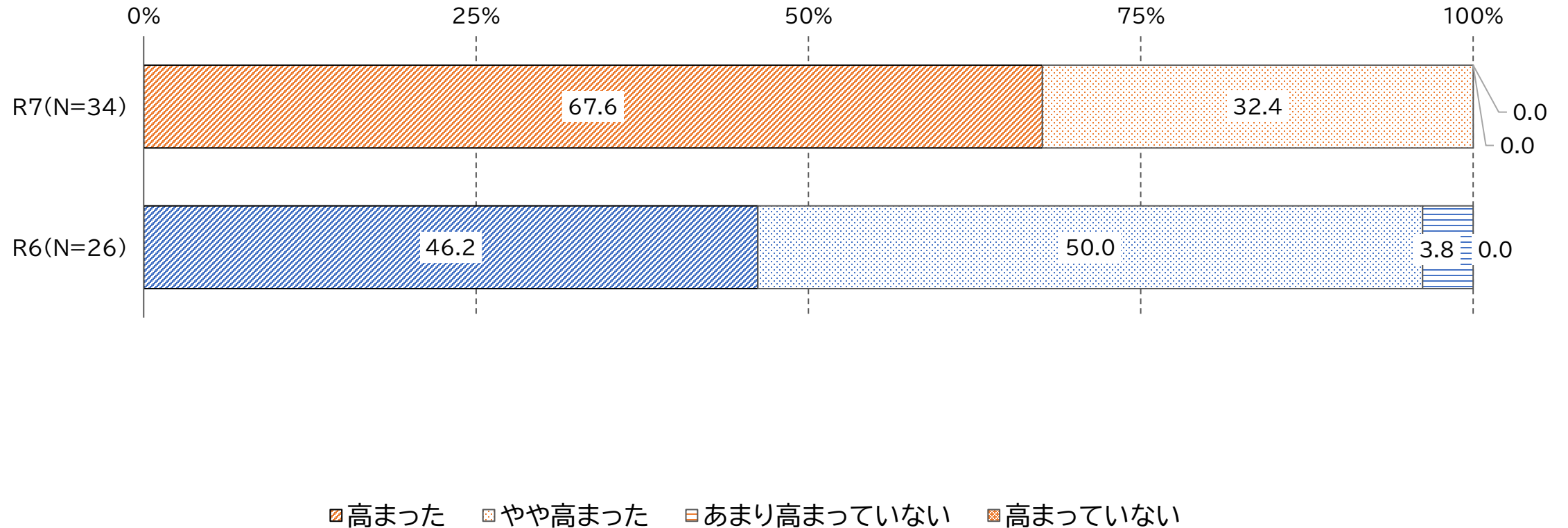
Q12.連携先(学校)からの理解

Q12.貴自治体としての産学連携の目的が、連携先の学校に十分伝わっている。(単一選択式)



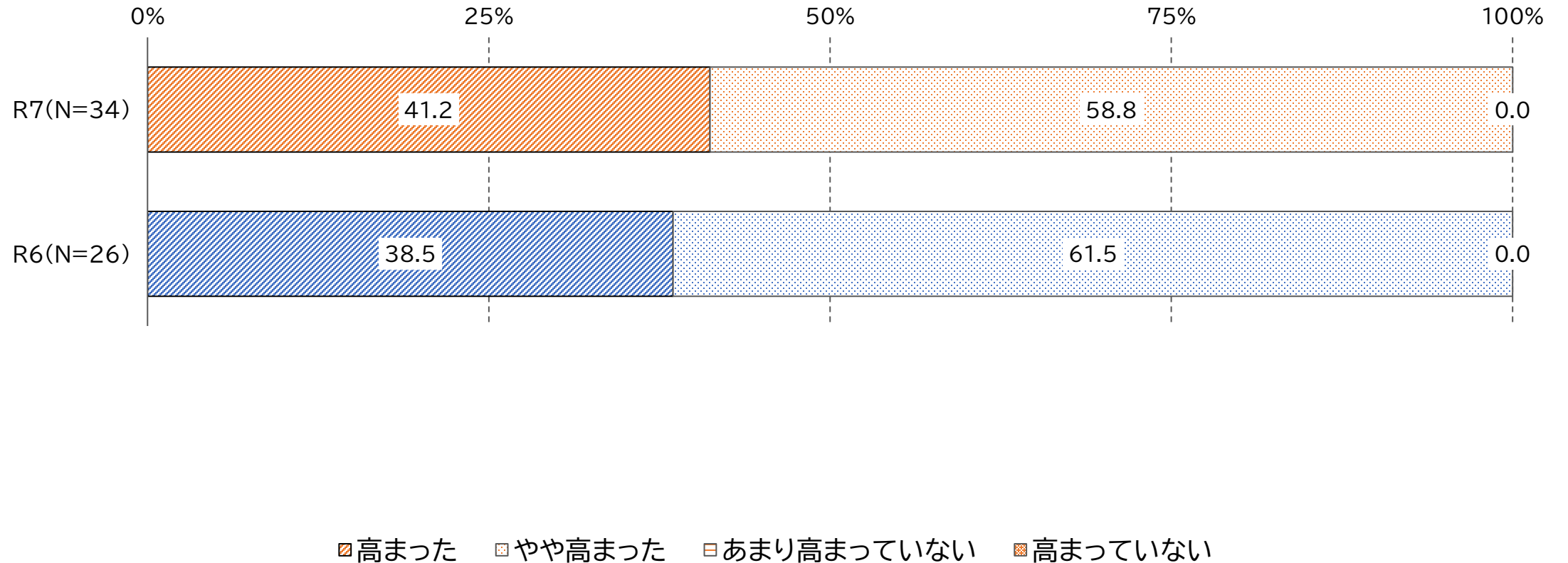
Q13.連携先(学校)への理解

Q13.学校としての産学連携の目的を十分に理解している。(単一選択式)



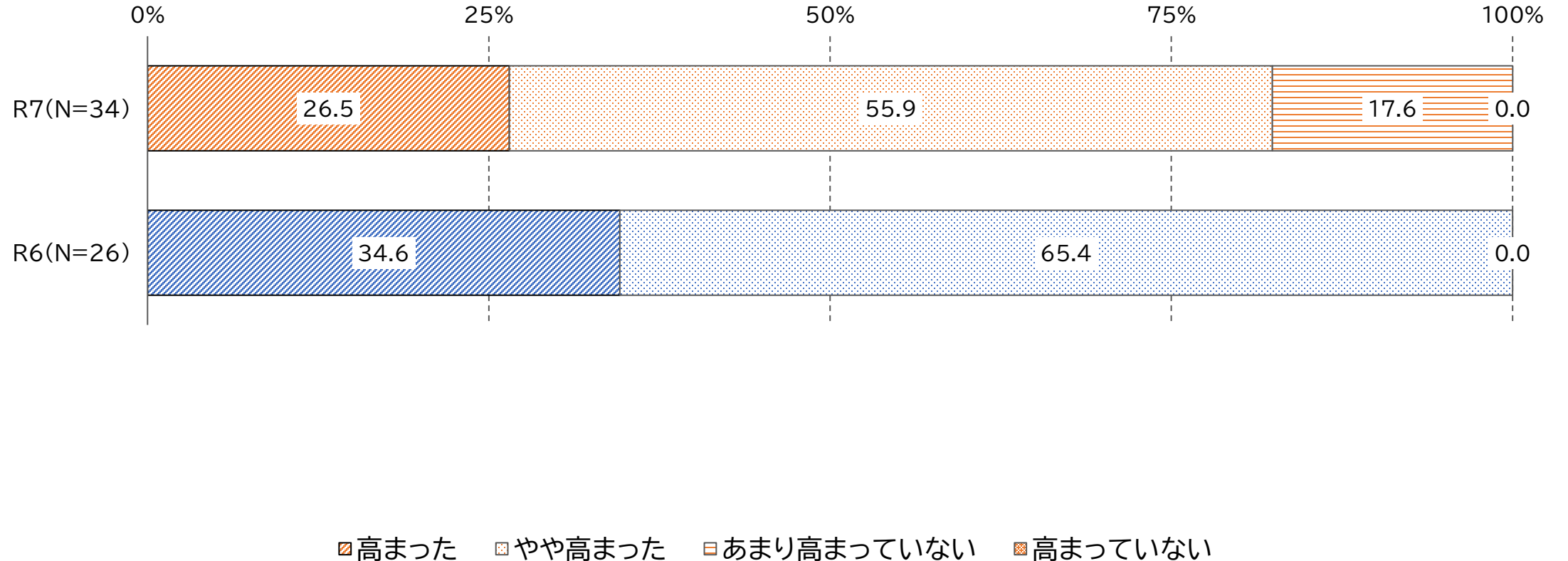
Q14.連携先(産業界)への理解

Q14.産業界としての産学連携の目的を十分に理解している。(単一選択式)



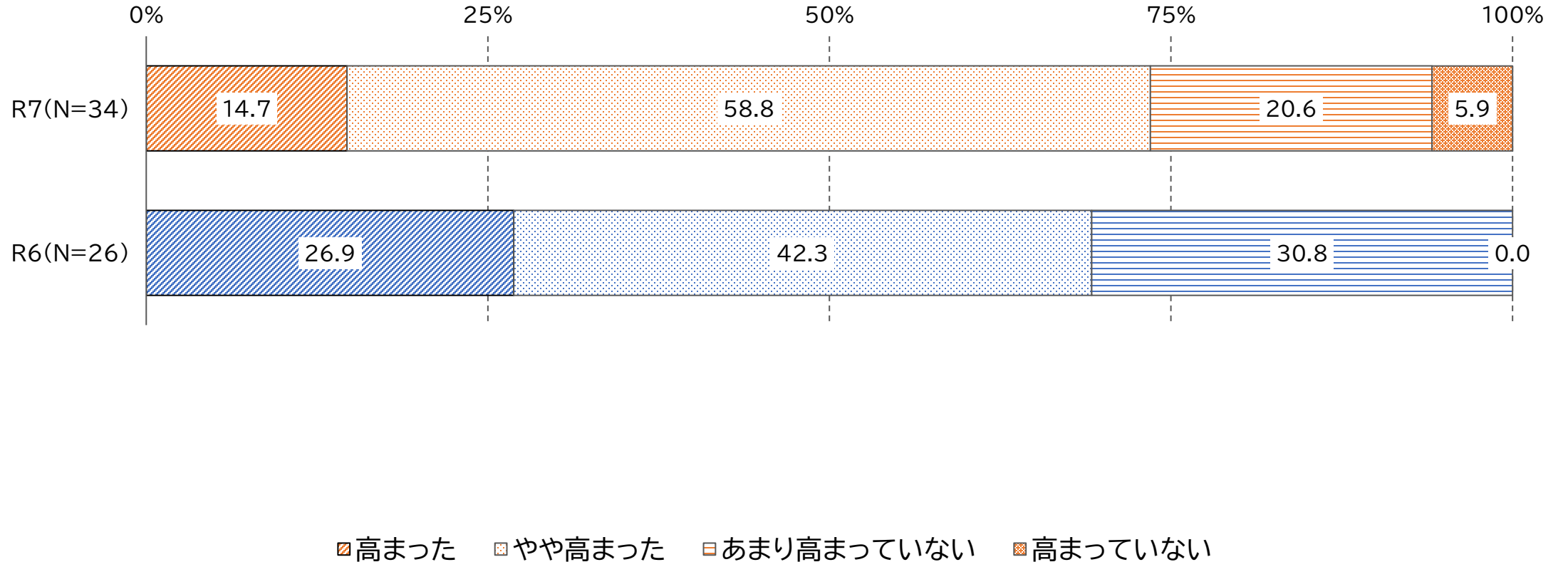
Q15.連携先(産学)への理解

Q15.学校と産業界が連携してどのような取組ができるのか、十分に把握できている。(単一選択式)



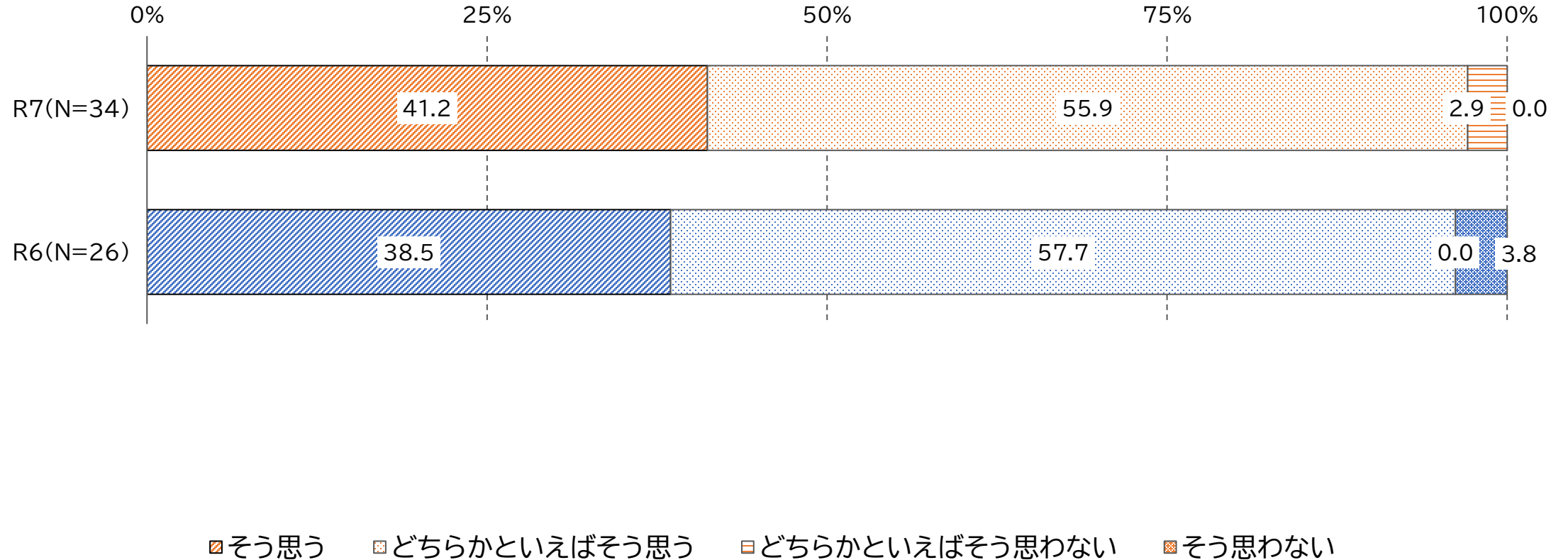
Q16.学校への積極提案

Q16.産学連携の取組内容について、学校に対して積極的に提案している。(単一選択式)



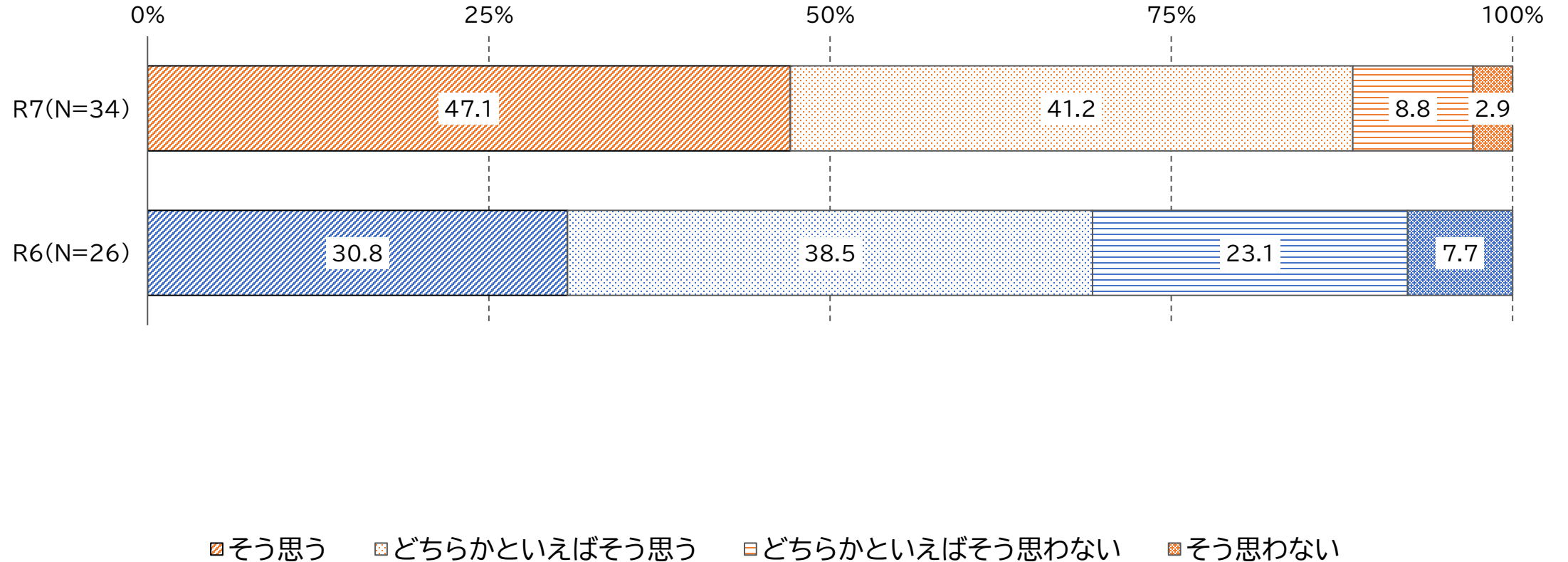
Q17.課題感の反映

Q17.現在の取組は、学校・産業界・自治体、それぞれの課題を踏まえた内容になっている。(単一選択式)



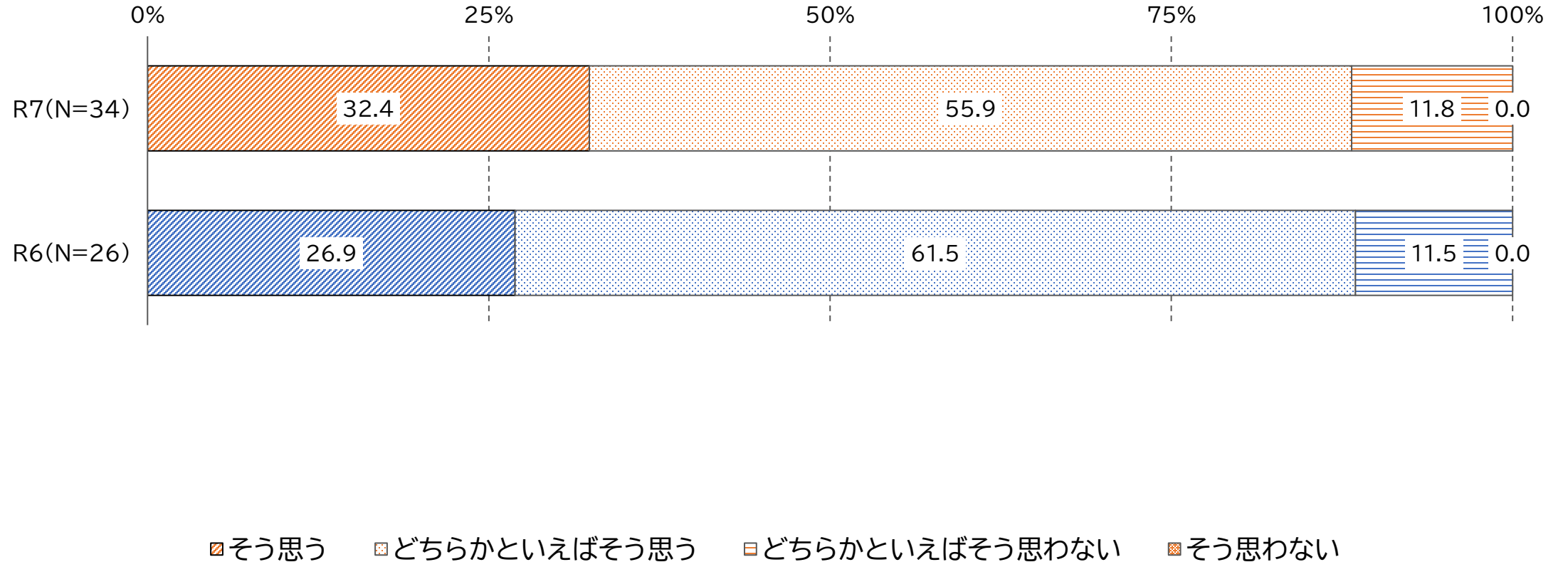
Q18.共通ビジョンの検討

Q18.学校と産業界、自治体の課題を踏まえた共通のビジョンを協議する場があった。(単一選択式)



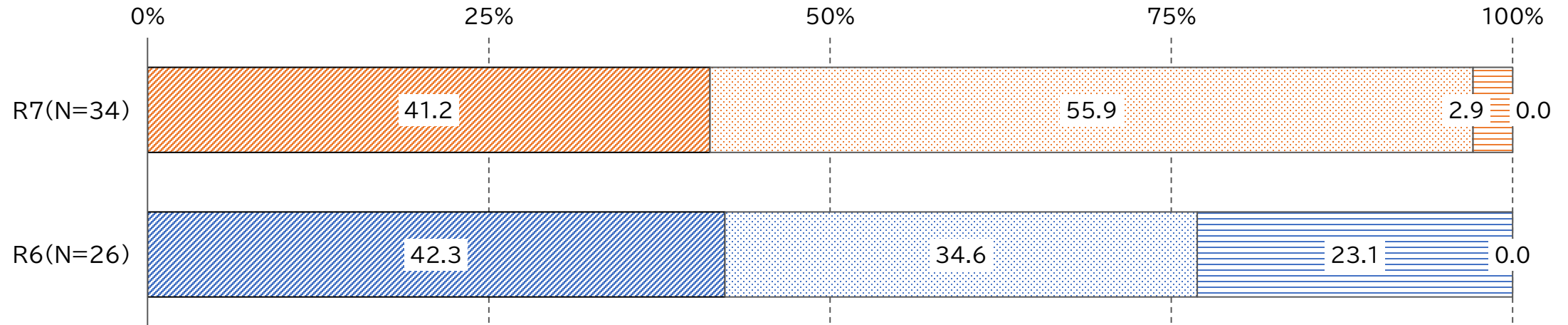
Q19.適切な役割分担

Q19.産学連携の取組を進める中で、貴自治体が担う役割は適切だと思う。(単一選択式)



Q20.継続性(自治体側)

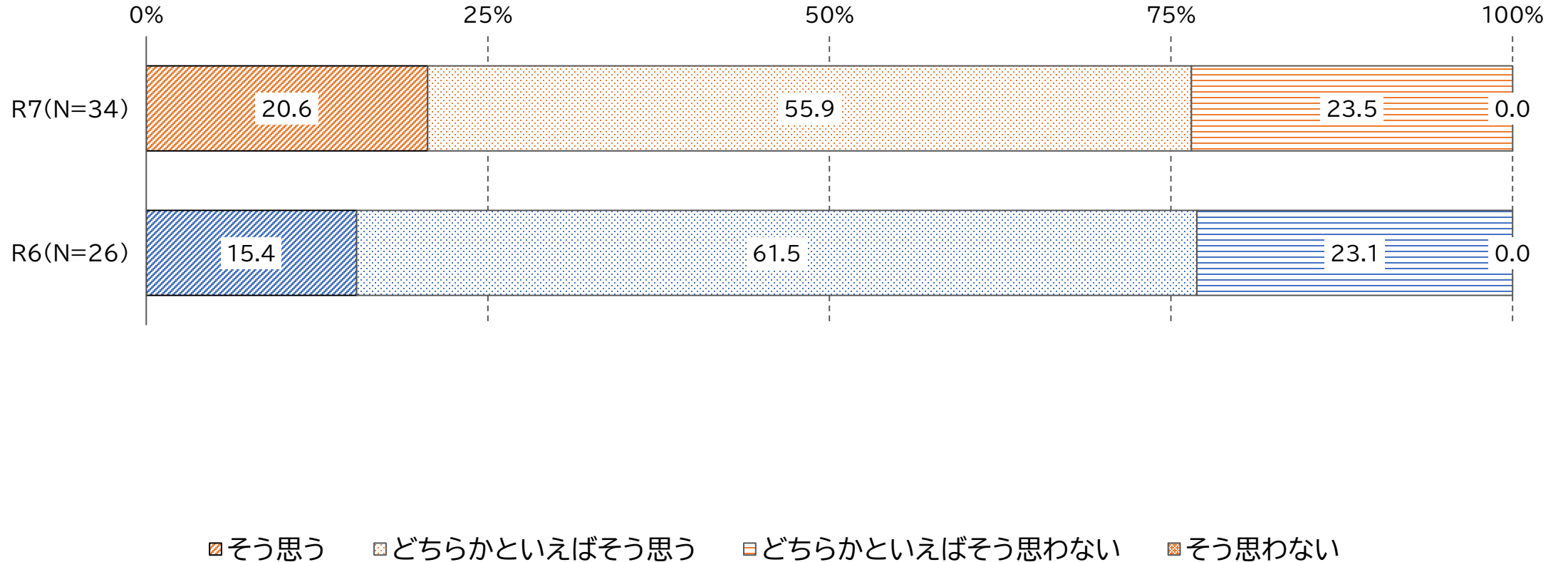
Q20.貴自治体の担当者が変わっても、産学連携の取組を今後も継続できる。(単一選択式)



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

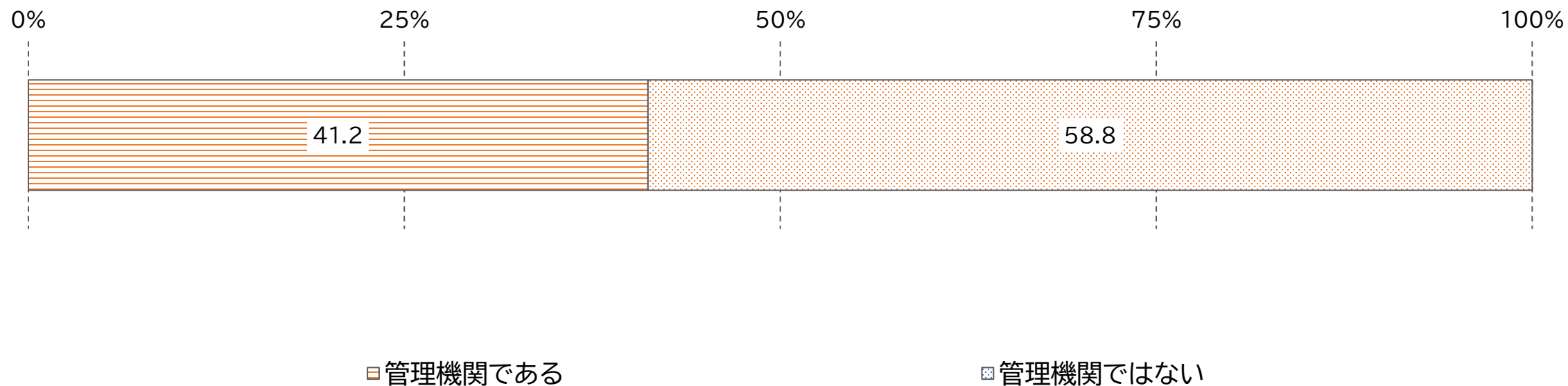
Q21.継続性(連携先側)

Q21.学校や産業界側の担当者が変わっても、産学連携の取組を今後も継続できる。(単一選択式)



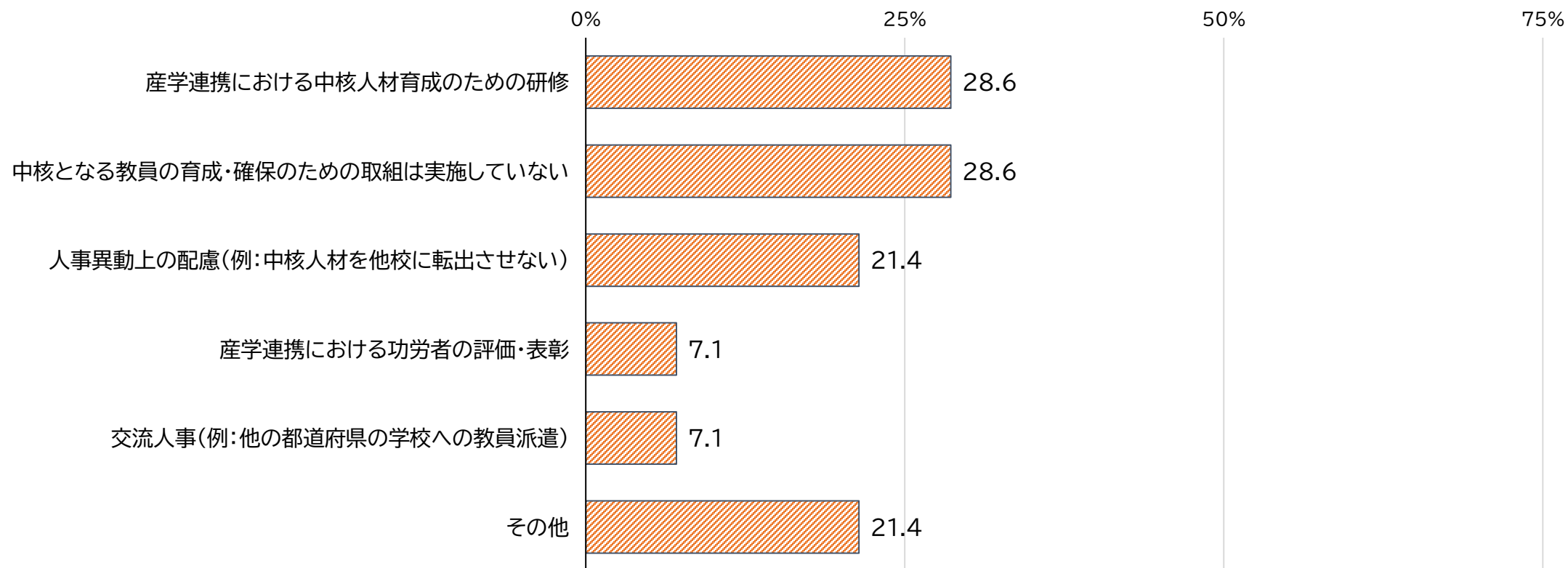
Q22.区分

Q22.貴自治体は、マイスター・ハイスクール事業(普及促進事業含む)における「管理機関」ですか。
(N=34)(単一選択式)



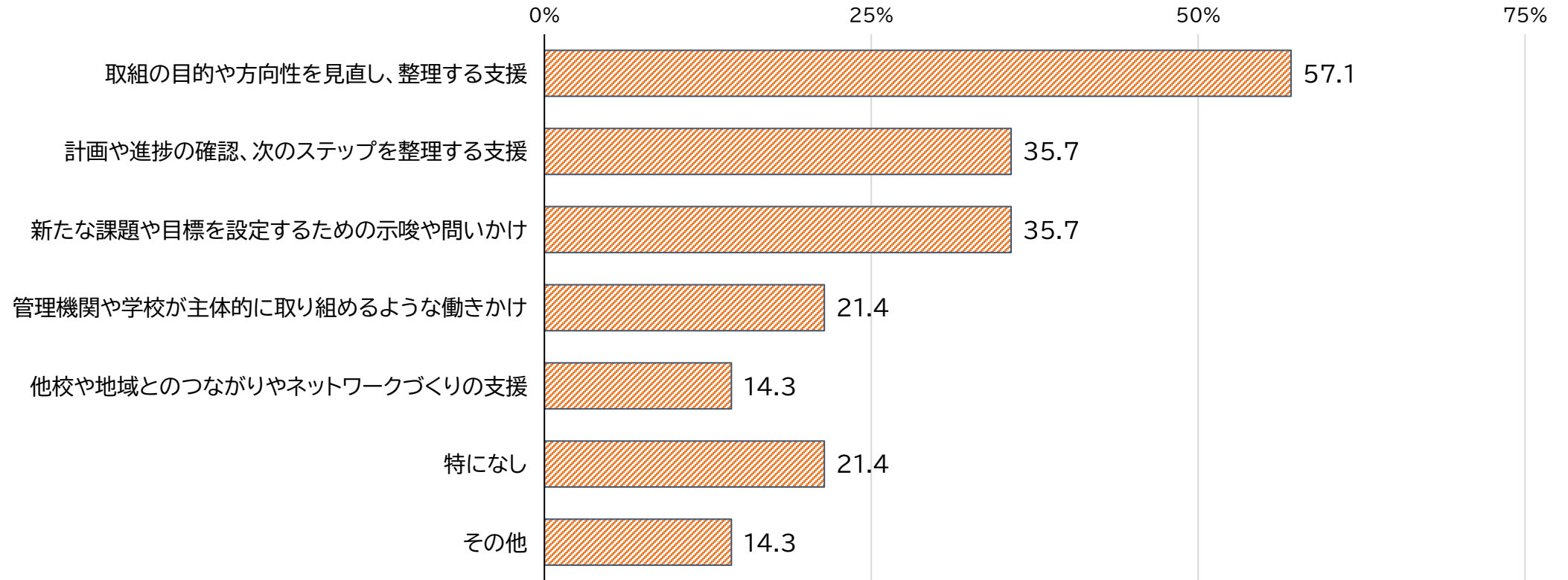
Q23.中核人材の確保

Q23. (教育委員会の場合、)産学連携において中核となる教員の育成・確保のため、実施している取組を教えてください。(n=14)(複数選択式)



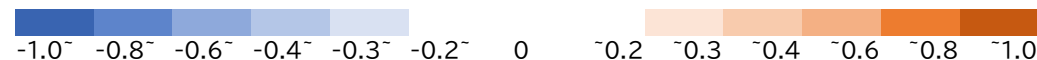
Q24. 伴走者の機能

Q24. (教育委員会の場合、)今年度の事業を進める上で、伴走支援事業者(株式会社ソフィア)による伴走支援の中で特に有効だったと思うものを教えてください。(n=14)(複数選択式)



相関行列

相関係数(絶対値0.2以上で着色)



		自治体用アンケート																
		Q4	Q6	Q7	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15	Q16	Q17	Q18	Q19	Q20	Q21	
自治体用アンケート	産学連携歴	Q4	1.00	0.05	0.47	0.49	0.19	0.39	0.47	0.17	-0.13	0.46	0.11	-0.13	0.01	0.27	0.15	0.13
	産学連携目的の重要性	Q6	0.05	1.00	0.30	0.40	0.17	0.16	-0.12	0.10	-0.07	0.08	0.12	0.13	0.16	0.03	0.14	0.13
	産学連携の自治体目標・ビジョンへの貢献度	Q7	0.47	0.30	1.00	0.53	0.30	0.56	0.50	0.56	0.44	0.47	0.40	0.42	0.41	0.56	0.51	0.39
	産学連携の継続意欲	Q9	0.49	0.40	0.53	1.00	0.27	0.22	0.20	0.52	0.23	0.40	0.27	0.35	0.39	0.58	0.22	0.31
	産学連携意義・必要性の認識	Q10	0.19	0.17	0.30	0.27	1.00	0.36	0.30	0.39	0.11	0.26	0.11	0.34	0.41	0.16	0.35	-0.02
	議会等からの理解	Q11	0.39	0.16	0.56	0.22	0.36	1.00	0.37	0.28	0.25	0.16	0.15	0.15	0.12	0.23	0.20	0.15
	連携先(学校)からの理解	Q12	0.47	-0.12	0.50	0.20	0.30	0.37	1.00	0.78	0.52	0.62	0.16	0.29	0.42	0.67	0.45	0.31
	連携先(学校)への理解	Q13	0.17	0.10	0.56	0.52	0.39	0.28	0.78	1.00	0.77	0.64	0.34	0.49	0.58	0.76	0.47	0.36
	連携先(産業界)への理解	Q14	-0.13	-0.07	0.44	0.23	0.11	0.25	0.52	0.77	1.00	0.63	0.40	0.56	0.25	0.58	0.46	0.29
	連携先(産学)への理解	Q15	0.46	0.08	0.47	0.40	0.26	0.16	0.62	0.64	0.63	1.00	0.43	0.37	0.35	0.49	0.56	0.18
	学校への積極提案	Q16	0.11	0.12	0.40	0.27	0.11	0.15	0.16	0.34	0.40	0.43	1.00	0.28	0.34	0.37	0.34	0.23
	課題感の反映	Q17	-0.13	0.13	0.42	0.35	0.34	0.15	0.29	0.49	0.56	0.37	0.28	1.00	0.60	0.60	0.43	0.22
	共通ビジョンの検討	Q18	0.01	0.16	0.41	0.39	0.41	0.12	0.42	0.58	0.25	0.35	0.34	0.60	1.00	0.62	0.47	0.29
	適切な役割分担	Q19	0.27	0.03	0.56	0.58	0.16	0.23	0.67	0.76	0.58	0.49	0.37	0.60	0.62	1.00	0.55	0.54
	継続性(自治体側)	Q20	0.15	0.14	0.51	0.22	0.35	0.20	0.45	0.47	0.46	0.56	0.34	0.43	0.47	0.55	1.00	0.48
継続性(連携先側)	Q21	0.13	0.13	0.39	0.31	-0.02	0.15	0.31	0.36	0.29	0.18	0.23	0.22	0.29	0.54	0.48	1.00	

※いずれもポリコリック相関係数として算出。

※Q10は回答の分散が極めて小さく(N=34のうち33名が同一回答)、推定が安定しないため、参考値扱い。

※黄色:成果に相当する項目